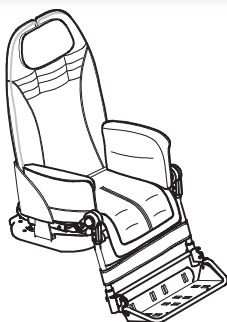


BUG

モジュラーシーティングシステム

シートユニット



CE

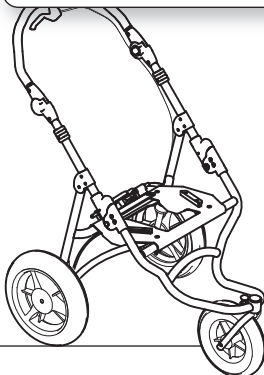
4輪ストローラーベース **869**



CE

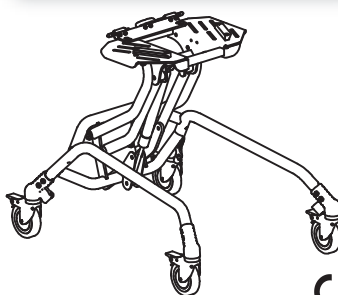


3輪ストローラーベース **901**



CE

昇降フィーダーベース **856**



CE

使用方法とメンテナンス ハンドブック

ORMESA®

この度はORMESA社のBUGをご購入いただきありがとうございます。

BUGは安全性に妥協せず、デザインと人間工学を組み合わせた製品です。

BUGは子供の成長に対応できるリクライニングとティルト機能を持つシーティングシステムです。シート部は平らな床に置くことができ、3種類のベースを選択することができます（屋外用として4輪ストローラーベースと3輪ストローラーベース、屋内用として昇降フィーダーベース）

製品をよく理解していただく為に、使用前にこのマニュアルをよくお読みいただくことをお勧めします。安全にお使いいただく方法と実用的なヒントが記載されていますので、製品を早く・よく理解していただく手助けとなります。

このマニュアルを読んだ後、まだ質問がある場合ORMESA社もしくは、日本の輸入元になる昭和貿易(株)まで電話もしくはファックス、メールにてお問い合わせください。

ORMESA

Luigi Menichini

Managing Director

TEL +39(0742)22927

FAX +39(0742)22637

e-mail info@ormesa.com

昭和貿易株式会社

大阪

TEL 06-6441-5612

FAX 06-6444-6006

<http://www.showa-boeki.co.jp/hd>

e-mail hd@showa-boeki.co.jp

東京

TEL 03-5623-5396

FAX 03-5623-5398



目 次

警告事項	3
保証	9
保管・輸送方法	9
使用してはいけない事例	10
舗道での段差越えの方法	11
BUG 4 輪ストローラーベース (869)	11
BUG 3 輪ストローラーベース (901)	12
BUG 4 輪ストローラーベースを車に乗せ移動する場合の使い方について (マイカー、バス、等)	13
製品シール・プレートについて	18
BUG とは	19
製品構成	19
4 輪・3 輪ストローラーベースのブレーキについて	20
昇降フィーダーベースのブレーキについて	20
製品が届いたら	21
梱包形態	21
安全に製品を持つ方法	21
Bug シートユニット	22
シートユニットの調整方法	23
シートの角度調整 (ティルト機構)	23
バックサポート部のリクライニング	24
バックサポート部の高さ調整	25
座シートの幅調整	26
レッグサポートの調整	27
フットプレートの調整	28
座シートの奥行調整	29
Bug 本体と 4 輪ストローラーベース(869)	30
Bug 本体と 4 輪ストローラーベースのスペック	31
4 輪ストローラーベースの使い方	33
ストローラーベースの開き方	33
ストローラーベースへのシートユニットの装着方法	34
シートユニットの対面シートへの変換方法 (FIG. A 参照)	35
シートユニットの取り外し方法	36
ストローラーベースの折りたたみ方法	37
押し手ハンドルの角度調整	38
前輪の直進ロック	38
Bug 本体と 3 輪ストローラーベース(901)	39
Bug 本体と 3 輪ストローラーベースのスペック	40
3 輪ストローラーベースの使い方	42
ストローラーベースの開き方	42

ストローラーベースへのシートユニットの装着方法	43
シートユニットの取り外し方法.....	44
ストローラーベースの折りたたみ方法.....	45
押し手ハンドルの角度調整.....	46
前輪の直進ロック	46
Bug 本体と昇降フィーダーベース(856).....	47
Bug 本体と昇降フィーダーベースのスペック	48
昇降フィーダーベースの使い方	50
昇降フィーダーベースへのシートユニットの装着方法.....	50
シートユニットの取り外し方法.....	51
シートの高さ調整.....	52
オプションの取付方法.....	54
ヘッドレスト（マルチ） 863	54
ヘッドレスト 852.....	56
レッグストラップ 817	58
レッグ&ヒップマフ 818.....	58
キャノピー 819	59
レインカバー 825.....	60
アングルストラップ 827.....	61
内転防止パッド 834.....	61
グラブバー 839	62
ベルト付ラテラルサポート 868	63
車載固定フック（4 箇所止め） 891	64
ベスト型 4 点式ベルト 853.....	64
メッシュバスケット 858.....	65
45° 腰ベルト 894	65
ラテラルサポート（ペア） 838.....	66
透明テーブル 824.....	67
ベスト型 5 点式ベルト 903.....	68
5 点式ベルト 906	69
日傘 854.....	71
フットレストカバー 892.....	74
キャリパーブレーキ 905.....	75
呼吸器搭載台 911.....	80
4 点式骨盤ベルト 920	82
フットボード 921.....	84
ボトルホルダー 922	87
クッションの取付方法.....	88
メンテナンス・洗浄と消毒	90
カスタマーサービスとスペアパーツ	91
再利用時の耐久性について	92



警 告

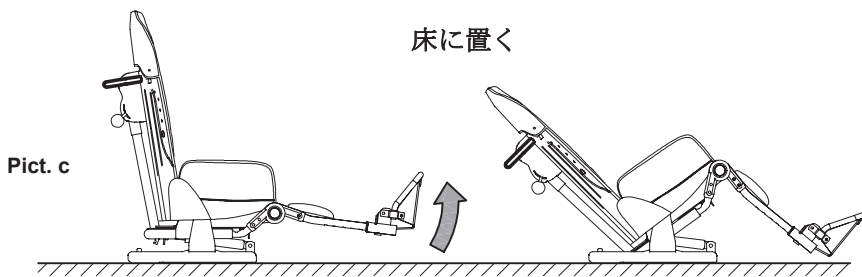
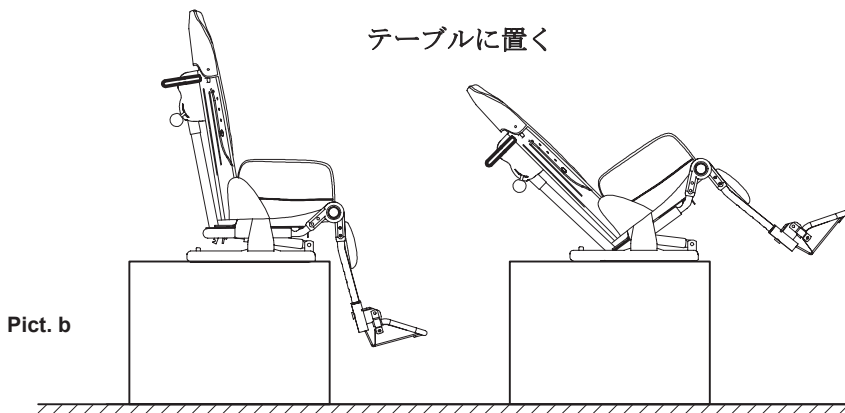
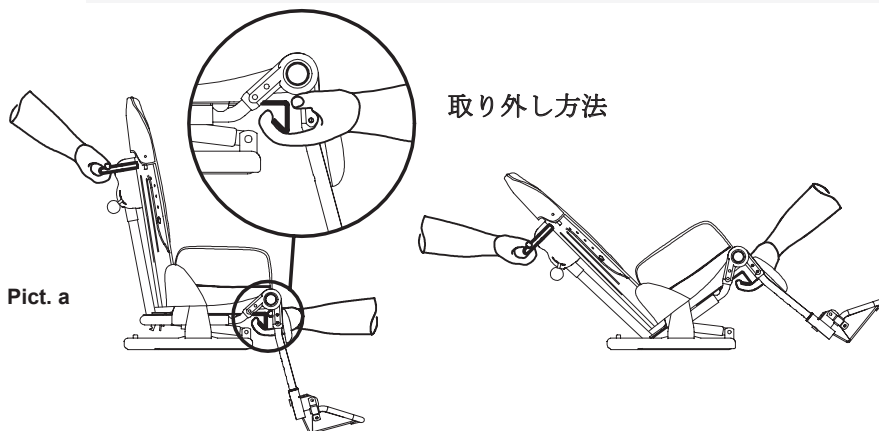
- この取扱説明書はユーザーの安全の為に書かれていますので使用前に注意深く記載された指示事項を読んで理解した上で製品をご使用ください。製品を使用またはメンテナンスする上でこのマニュアルは必要不可欠です。紛失することなく慎重に保管しておいてください。
- この取扱説明書は特定の販売店とユーザーを対象としています。使用されるお子様に関わるセラピスト・医師・専門家のアドバイスも参考としてください。
- この取扱説明書は製品が販売された時点の製品情報となっております。**ORMESA社**は情勢の変化や製品改良に伴うマニュアルの改訂を行う権利を有します。
- この製品の使用に際しては、使用されるお子様に関わる医師または専門家によってチェックされなければなりません。
- BUGは取扱説明書P31～32とP40～41とP48～49に記載された仕様に準じた身体寸法と重量の範囲内で移動と座位保持を目的に設計されています。**基準を越えた条件での使用はしないでください。**
- **BUGは2サイズから選択できます。**お子様が成長した場合、より大きなサイズに変更してください。
- 4輪ストローラーベースと3輪ストローラーベースは屋外用、昇降フィーダーベースは屋内用として設計されています。**屋内用を屋外で使用しないでください。**
- 屋外用ストローラーベースの直進ロックは起伏の多い道路状況で走行の安定の為にのみ使用してください。他全てのケースでは操作性が悪くなる為、直進ロックは使わないでください。
- 屋外用ストローラーベースに搭載したBUGは、操作・移動させる為に十分な身長と力を持った介助者によってのみ移動を行ってください。
- 日常において、使用前にはブレーキの効き具合、車輪・フレームの極端な傾き、背板・フットプレート部が固定されているかを確認してください。
- 使用前に、全ての調節箇所が緩みなく固定されているかを確認してください。
- ブレーキをかける際は、平面な路面で左右両側ともブレーキをかけてください。
- 各部調整を行う際は必ずブレーキをかけて調整してください。
- 本体シートカバーはイタリアUNI9177基準のクラス1 IMに合致する難燃性です。しかしオプションを含むそれらの素材は耐火性ではないので、火の近くから製品を遠ざけておいてください。
- シートの難燃性は、糸の特性として持っているものであり、追加的に加工を施したものではありません。

BUG のシートユニットは平らな場所に置くことができます。

図 **a,b,c** のような状態でシートを置いてください。



- 1) 子供がシートに乗っていない状態で行ってください。
- 2) この場合、子供は **BUG** 以外の他の機器で安全を確保してください。
- 3) 床置きの場合(図. **C**)のように足部をシートを外す前に可変させること
をお勧めします。

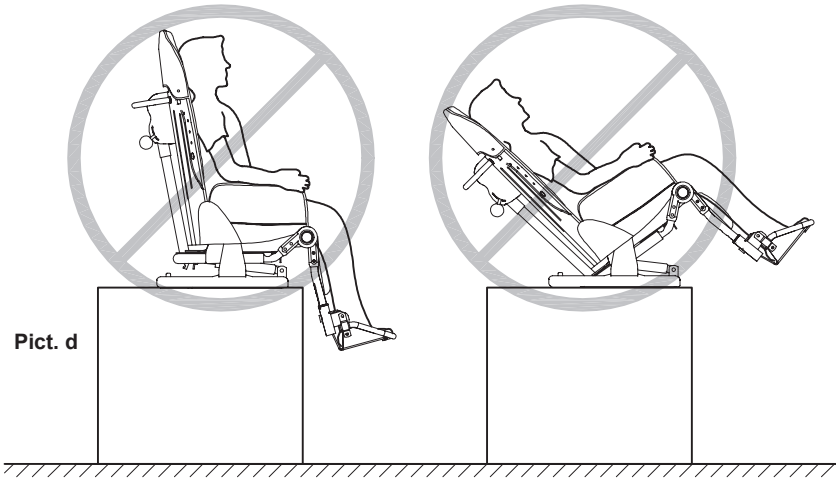




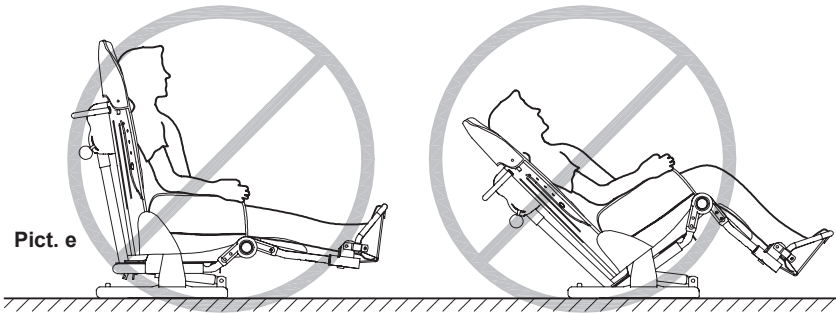
警告

決して子供をシートに座らせないでください (図 d,e)

4 輪・3 輪ストローラーベースもしくは昇降フィーダーベースにセットしてから子供をシートに乗せてください。



Pict. d



Pict. e



使用前には常にシートユニットが完全にフレームに固定されているかを確認してください。

(取扱説明書P34,43,50をよく読んで確認してください)

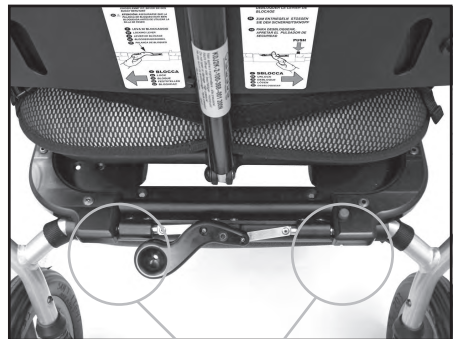
警告!

ロックレバーでシートをロックする前にロックレバーのピンがきちんと挿入されるかを確認してください。

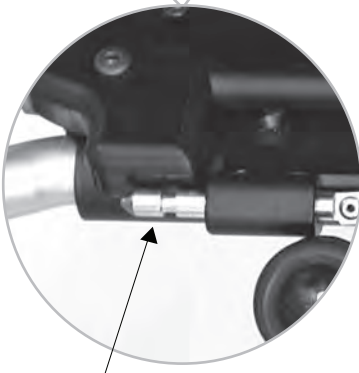
NO



YES



後方から見た写真



ロックレバーのピンが入っていない状態でロックしているシートは固定されていません!!



ロックレバーのピンが入っている状態でロックしているシートは固定されています

BUG はメカニカルな医療機器 (Medical Devices) です:



P90-91 「メンテナンス・洗浄と消毒」のページで示される指示に従って定期的なメンテナンスと掃除を行い製品が正常に動き、良い状態であることを確認してください。

メンテナンスを怠った場合、保証の対象からはずれることがあります。



P90-91 「メンテナンス・洗浄と消毒」のページで示される以外の修理に関しては福祉機器を扱う専門業者により行うようにしてください。

専門業者以外による修理による破損によっては保証の対象からはずれることがあります。



製品のいかなる改造も認めておりません。それはオルメサによってのみ行われます。改造等によっては保証の対象からはずれることがあります。



純正パーツ以外による修理は認めておりません。

純正パーツ以外のパーツを用いた修理は保証の対象からはずれることがあります。



製品にダメージが見られたり、製品の安全に疑いが見られた場合、直ちに使用を停止し、メーカーもしくは輸入元、販売店に連絡してください。



BUG 4輪ストローラーベースは、車輛へ搭載し移送する際の安全条件を満たす為、ISO7176-19とANSI RESNA WC/19の基準に準じています。



BUG 4輪ストローラーベースを車輛に搭載し固定するための車載固定フック (891) の組立ては、取扱説明書P13～17に記載されていますので、慎重によく読んで指示どおりにお使いください。



保証

製品の保証は1年となります。製品に問題が生じた場合、購入した販売店に連絡してください。製品のメンテナンスにつきましては常に純正のパーツを使用してください。純正以外のパーツを使用していた場合は保証対象とならないことがあります。

ORMESA社および販売店は以下の場合では責任は生じません:

- 不適当なユーザーによる破損
- パーツ、オプションの不適当な組み立て
- 無許可の改造
- 日常使用による消耗部品（シートやタイヤ等）
- 取扱説明書に記載される製品仕様の基準を越える重量・サイズ、輸送等による間違った使用による破損
- 取扱説明書で示す定期メンテナンスの誤った使用と不足に起因するもの
- 天災など他不可抗力による過失にあたらぬ事例
- 取扱説明書に記載の指示事項に従わなかった場合

消耗品は保証の対象に含まれません（タイヤやシートなど）



保管・輸送方法

製品の保管・輸送時には、保証期間が切れるまでは、ORMESA社の梱包資材によって保管・輸送を行うこと

- 車輦による輸送時は車載固定フックによって十分な固定を行ってください。
- 飛行機や車での移動時には、折りたたんだ際にフレームや構造に、負荷がかからないようにしてください。

製品は乾燥した環境で梱包した状態で保管してください

- 直射日光を長時間浴びる環境もしくは、雨などにさらされる悪天候の状態では保管される等、悪条件下で保管されない限り、製品には特定の影響はありません。例えば海に近い環境では空気に塩分が含まれている為、塗装やスライドパーツ部分等に腐食をもたらすケースがあります。このようなケースでは、取扱説明書「メンテナンス・洗浄と消毒」のページで示されている指示事項の後に、フレームを乾燥させることをお勧めします。



使用してはいけない事例

- でこぼこな路面や急な斜面または階段等で子供を乗せて移動しないでください

- 子供に遊ぶ目的等で製品を使用させないでください。
- 熱い容器や物は、容器等がひっくり返ったりカバーを損傷させたりする恐れがありますのでトレイには置かないでください。
- 使用中は車いすの安定性が損なわれないようにプッシュハンドルに体重をかけないでください。
- 子供を車いすに乗せ一人にしたまま離れないでください。
- 坂道で車いすを止めたまま車いすから離れないでください。

車輪交換の際、車いすの安定性が損なわれ転倒の危険性がある空気タイヤを交換用タイヤとして使わないでください。

- BUGのフットプレート部には人を乗せず、後輪のある本体フレーム部にも人を乗らせないでください。
- フットサポート部やフットプレートを持って製品を持ち上げないでください。（障害物を乗り越えるために）
- 階段を登ったり降りたりするために製品を使わないでください。製品構造は、その目的の為に設計されていません。
- 熱による製品カバー等の変色を避ける為、決して長時間において直射日光の当たる場所や熱のある場所に置いておかないでください。
- 車輪を片方だけ舗道や段差に乗せて走行しないでください。（4輪ストローラーベースは P11を参照）（3輪ストローラーベースはP12を参照） 転倒の恐れがあります。
- シートをフルチルトやフルリクライニングした状態で段差や急な斜面を乗り越えないでください。12°の登坂角度でチルトやリクライニングを倒したまま走行すると転倒の恐れがあります (P 11-12参照)
- 製品のパーツが破損もしくは紛失している場合、製品を使用しないでください。他のパーツ等を使用した場合、保証やCEマークの適用が無効となりますので純正のパーツのみ使用してください。



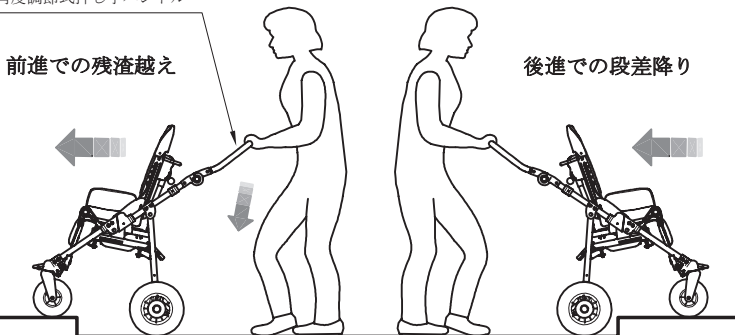
舗道での段差越えの方法

BUG 4輪ストローラーベース 869

注意!

介助者用角度調節式押し手ハンドル (P38 参照) を適正な高さに合わせてください。
段差を越える際に過度な力をかけず操作を容易にします。

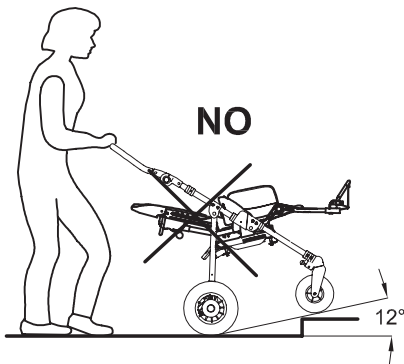
角度調節式押し手ハンドル



NO



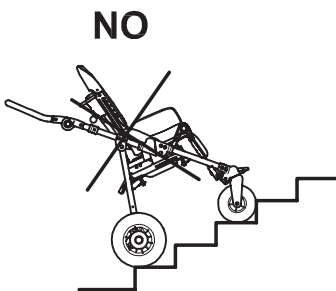
NO



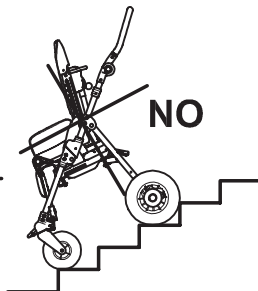
NO



NO



NO

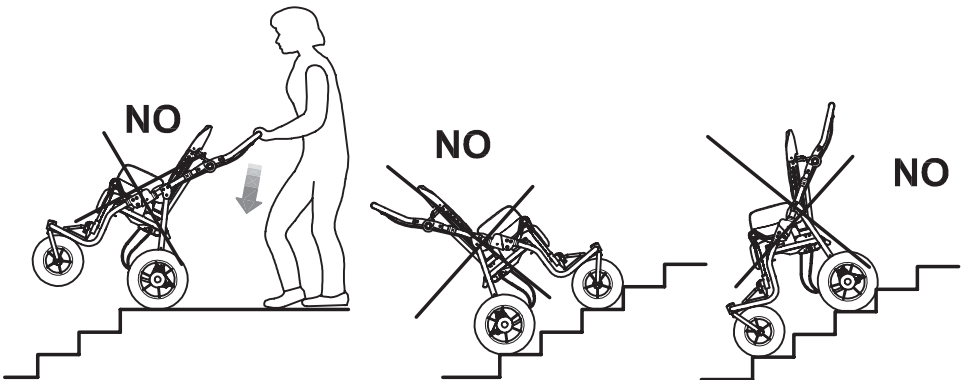
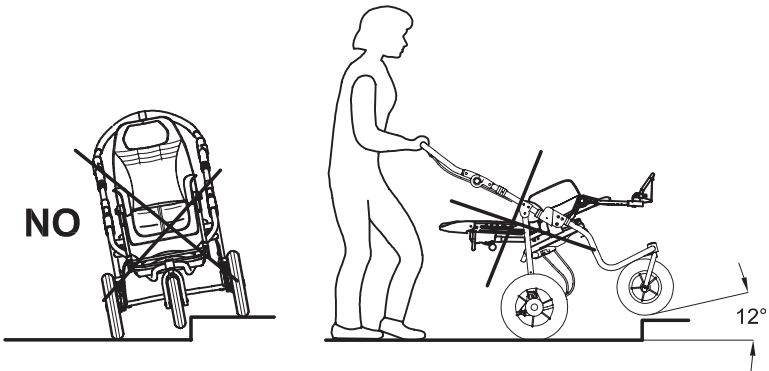


BUG 3輪ストローラーベース 901

注意!

介助者用角度調節式押し手ハンドル (P38 参照)を適正な高さに合わせてください。
段差を越える際に過度な力をかけず操作を容易にします。

角度調節式押し手ハンドル





BUG 4輪ストローラーベースを車に乗せ移動する場合の使い方について(マイカー、バス、等)

BUG 4 輪ストローラーベースは輸送の安全条件として定めている ISO7176-19 と ANSI RESNA WC/19 基準に従っています。

安全に使用する為に P14～17 の警告と指示事項を注意深く読んでください。

- 車いすは車輛の正面方向に向いていなければなりません (P16のfig. 4参照). ISO 7176-19の6.3.4 コンプライアンスによると、後方対面式が設備され承認された大型なアクセシブル車輛を排除しません。
- 子供の体重は少なくとも**22kg**以上なくてはなりません。なぜなら ISOとANSI/RESNA基準は、車いすに22kgかそれ以上の荷重をかけたクラッシュテストが定められているからです。
- 輸送車輛はISO 7176-19の基準に従って車いす輸送の承認を受けなければなりません。
- 子供はISO 7176-19か ISO 10542で承認された安全ベルトかショルダーベルトを装着しなければなりません。(ISO基準に合致したベルト). 安全ベルト単独での使用はお勧めできません。例えばオプションの姿勢保持ベルト 828, 853, 894, 903,906は輸送システムとして使用できるベルトではありませんが、併用して使うことができます。
- 車いすは 1) ISO10542-2に対応した車輛に備えられた4本のベルトと4ヶ所固定システムと 2) BUGオプション891の車載固定フックによって、背もたれと足台をアップライト位置に直した状態で固定されなければならない (P14 fig1-2とP15 fig3とP16 fig4を参照)



注意!

ORMESA はISO 10542-2に完全に対応した「WTORS」システム(車いすと同乗者両方の抑制システム)の使用を推奨します

- 子供が車のシートへ移乗した時はいつでも、空いた車いすは貨物スペースもしくは車輛の中に固定し保管してください。
- ベルト固定の効果を保つ為には、車いすの構成要素(例えばアームサポートや車輪やフレーム等)によってベルトは体から離れてはいけません (P17 fig 5-6参照)
- 肩ベルト部の通し方は肩越しに合わせなければなりません (P17 fig. 5参照)
- ベルトのつけ方は快適さを保ちつつ出来るだけタイトに、ベルトがよじれないようにつけてください。
- 同乗者のケガのリスクを下げるために、トレイ等のオプション類は取り外し、車の中に別に固定し保管してください。

車いすは、車の衝突に関連する事が起きた場合、再使用する前にメーカーや輸入元や特定の販売店によって製品を確認してから使用してください。

ORMESAの許可なしに、どのような改造、891車載固定フックの変更、車いすのパーツや部材の変更等、禁じられた改造・修理を行った場合、保証とCEマークが無効となります

- 1) P15に示されている指示に従って、車載固定フック（4箇所止め）を本体ストローラーベースに固定とその位置確認（4輪ストローラーベースにのみ869車載固定フックは取付可能）

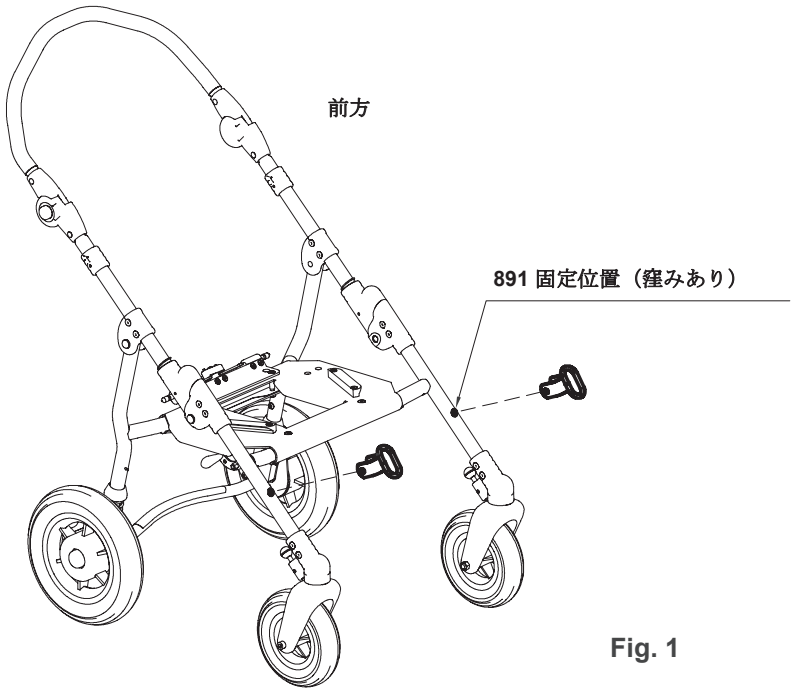


Fig. 1

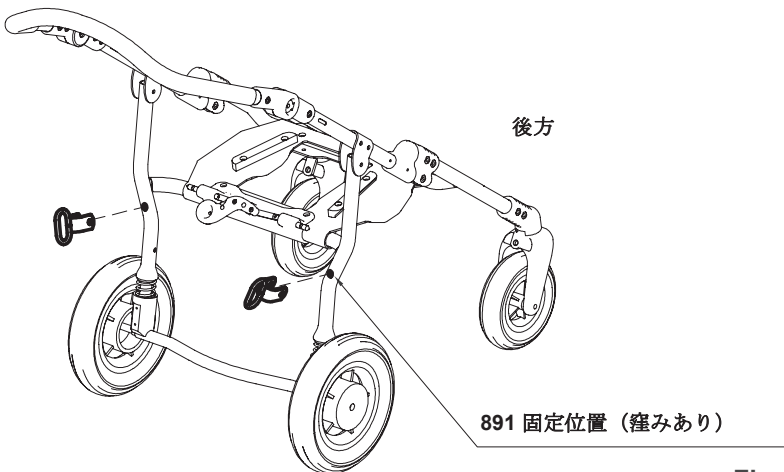


Fig. 2

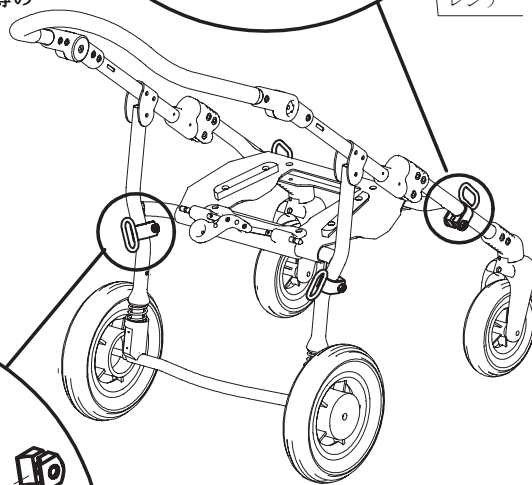
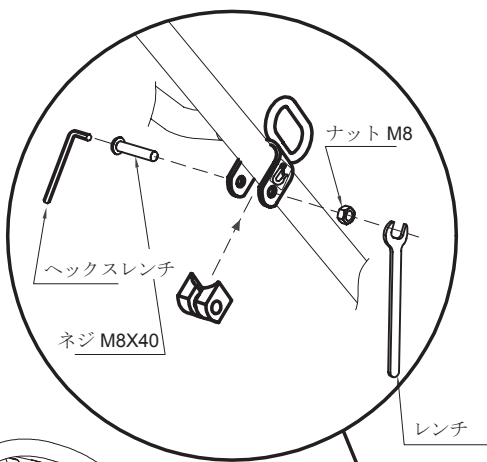
2) 車載固定フックの取付の方法

注意:

- ISO 10542 に適した車輛についている 4ヶ所止めベルトでの車いすの固定は P16 の指示を見てください。
- 子供は ISO 7176-19 か ISO 10542 に認められた座席用安全ベルトとショルダーベルトの両方を着けなければなりません。

姿勢保持ベルト（BUG のオプションである 828,853,894,903,906 等）は、この安全基準とは別に姿勢保持としてのみ使用することができます。

- 輸送する車輛は現行法に従って車いすを運ぶ為にふさわしくねければなりません。
- メンテナンスマニュアルと使用方法に関する 10 ページで示される注意事項と指示をよく読んでください。そして 4 輪ストローラーベースへの取付は、車いすを供給した販売店等の専門業者によって行ってください。



VIEW FROM BEHIND

CRASH TESTED
ISO 7176-19 and ANSI RESNA WC/19
CRASH TESTED

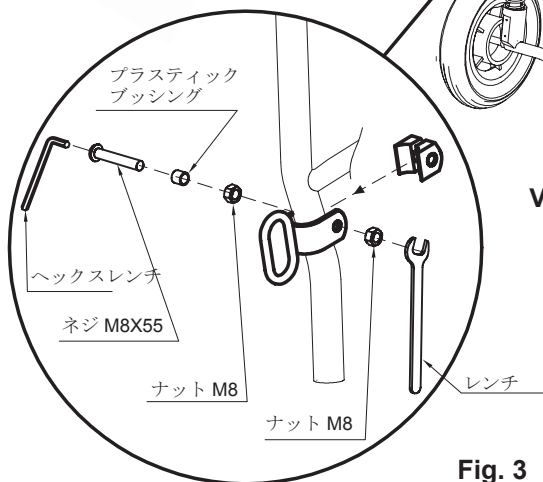
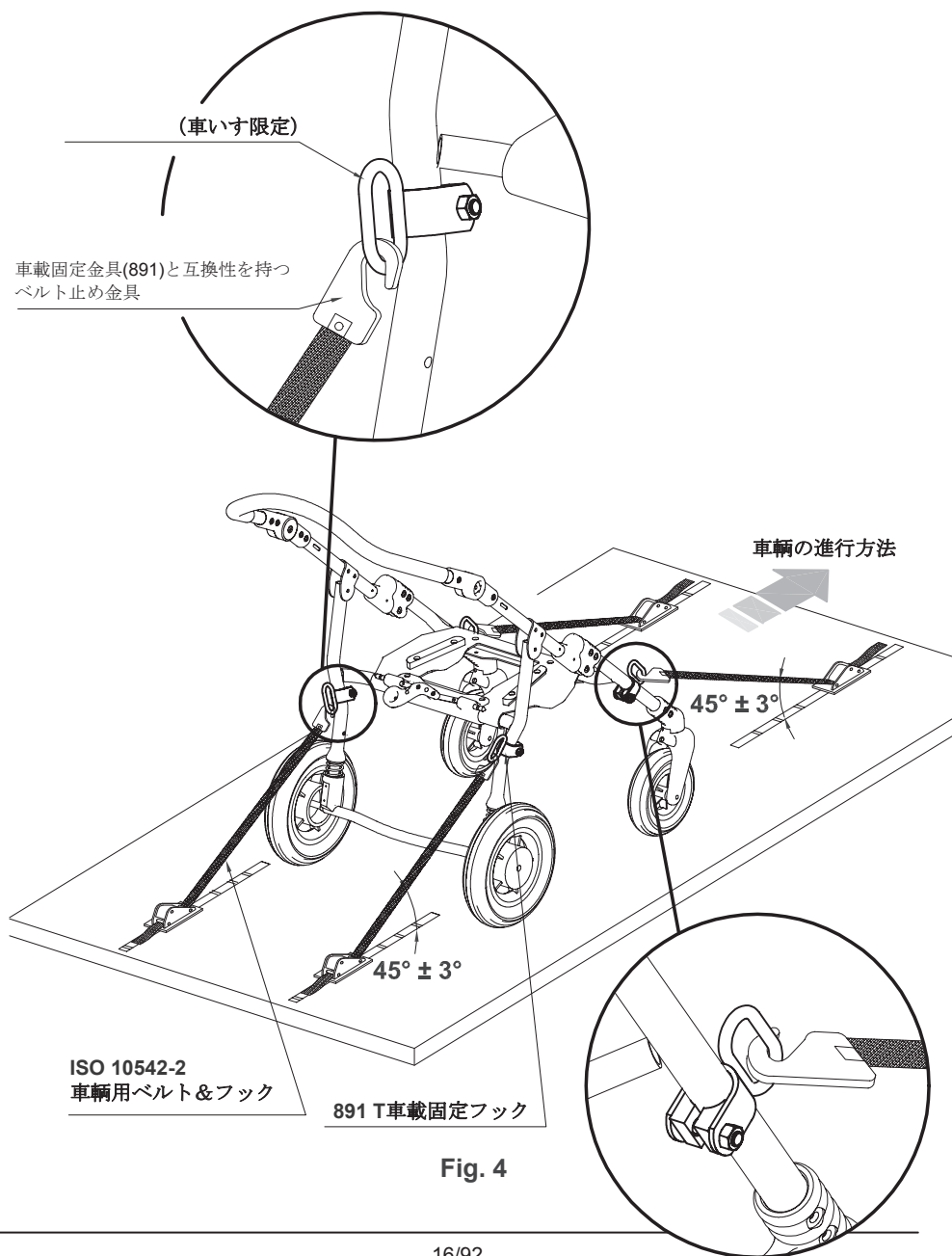


Fig. 3

3) 車いすの車輻への固定の方法

図で示すように車輻の移動方向に置かれた車いすへ車側の4ポイントベルトを車いすの車載固定フック(891)の4ヶ所のリング部分に引っ掛けてください。



4) 車いす使用者への固定ベルトの正しい位置決め

注意! 車いす固定用の骨盤ベルトは骨盤前方低く止められなくてはなりません。その為の骨盤ベルトの制限角度は水平位置から 30° から 75° 以内のFig5に示されているような位置が好ましいです。

注意! BUGのオプションベルト、ハーネス、ベストは移動における固定用として使う事を目的としていません。しかし、追加的に使用する事に差し支えありません。

YES
肘掛とフレーム
の下の位置

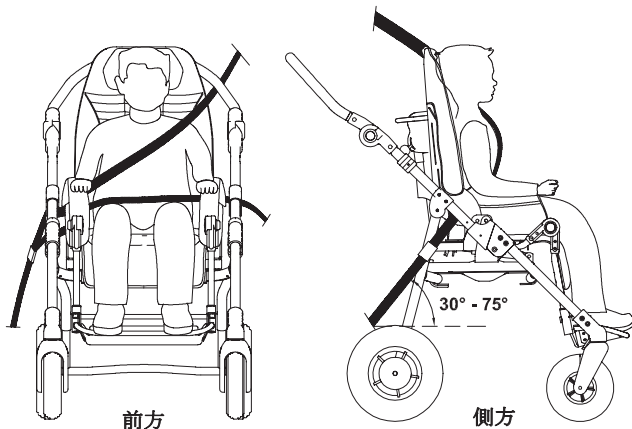


Fig. 5

NO
肘掛とフレーム
の上の位置

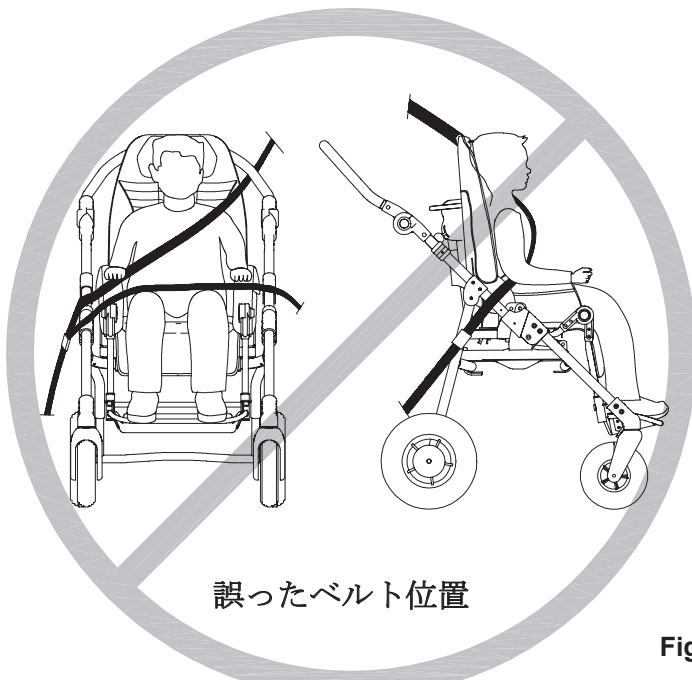
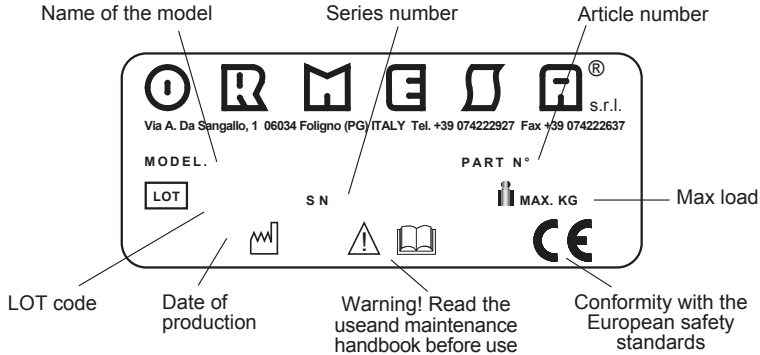


Fig. 6

製品シール・プレート



この CE マークは BUG シートユニットと 856、869、901 の 3 種のベースフレームが欧州連合の安全規格と医療装置としての EEC 指令 93/42 に適うものであることを保証しています。



ISO 7176-19 基準に従った車いす輸送にふさわしい車輛に装備されている ISO 10542 認可の 4 ポイントベルトで車いすを固定するための引っ掛け箇所

IT ⚠ ATTENZIONE!
ACCERTARSI CHE LA LEVA DI BLOCCAGGIO SIA INSERITA, PRIMA DI USARE IL PASSEGGINO.

EN ⚠ WARNING! ENSURE THAT YOU HAVE LOCKED THE SEAT SECURING LEVER, BEFORE USING THE PUSHCHAIR.

FR ⚠ ATTENTION! ASSUREZ-VOUS QUE LE LEVIER DE BLOQUE SOIT BLOQUEE AVANT D'UTILISER LA POUSETTE.

DE ⚠ ACHTUNG! VERGESSEN SIE SICH, DASS DER FESTSTELLHEBEL EINGEKLEMT IST, BEVOR SIE DEN BUGGY BENUTZEN.

ES ⚠ ATENCIÓN! ASEGURARSE QUE LA PALANCA DE BLOQUEO ESTE BIEN BLOQUEADA ANTES DE UTILIZAR LA SILLA DE PASEO.

IT LEVA DI BLOCCAGGIO
EN LOCKING LEVER
FR LEVIER DE BLOQUE
DE BLOCKIERUNGSEBEL
ES PALANCA DE BLOQUEO

IT **BLOCCA**
EN LOCK
FR BLOQUE
DE FESTSTELLEN
ES BLOQUEAR

IT SPINGERE IL PULSANTE DI SICUREZZA PER SBLOCCARE LA LEVA

EN PUSH THE SAFETY PUSH-BUTTON TO UNLOCK THE LOCKING LEVER

FR POUSSER LE DISPOSITIF DE SECURITE A FIN DE DEBLOQUER LE LEVIER DE BLOQUE

DE ZUM ENTRIEGELN STOSSEN SIE DEN SICHERHEITSKNOPF

ES PARA DESBLOQUEAR, APRETAR EL PULSADOR DE SEGURIDAD

PUSH

IT **SBLOCCA**
EN UNLOCK
FR DEBLOQUE
DE LÖSEN
ES DESBLOQUEAR

IT ⚠ ATTENZIONE
LEGGERE E COMPRENDERE LE ISTRUZIONI PER L'USO E LA MANUTENZIONE

EN ⚠ WARNING! READ AND UNDERSTAND THE USE AND MAINTENANCE INSTRUCTIONS

FR ⚠ ATTENTION! LIRE ET COMPRENDRE LES INSTRUCTIONS POUR L'UTILISATION ET L'ENTRETIEN

DE ⚠ SORGFÄLTIG! BITTE LESEN SIE DIE GEBRAUCHSANWEISUNG SORGFÄLTIG DURCH UND BEACHTEN SIE DIE ENTSPRECHENDEN HINWEISE

ES ⚠ ATENCIÓN! LEER Y COMPRENDER LAS INSTRUCCIONES DE USO Y MANTENIMIENTO

BUGとは

BUG はモジュラー機能によって簡単に調整ができ、特別な調整とサポートが必要な身体に障害を持つ子供のための座位姿勢保持装置です。

BUGとそのアクセサリ類の使用は、医師またはセラピストの処方が必要とします。

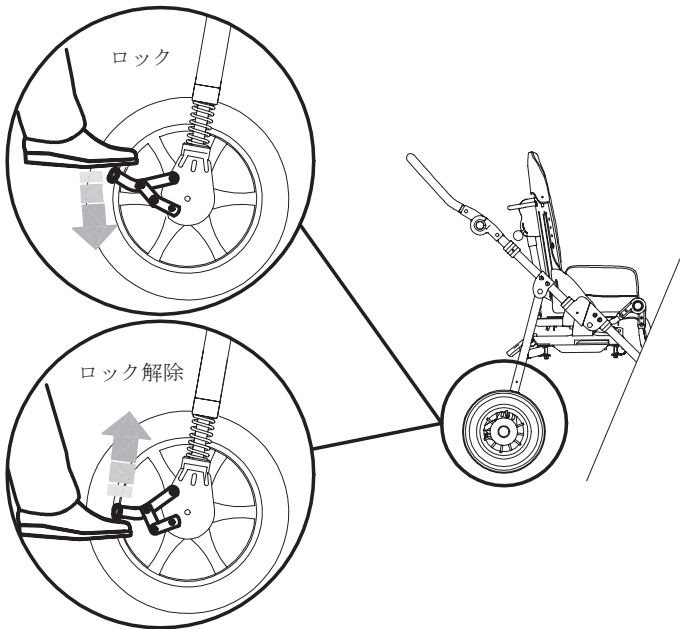
BUG は子供の成長に広く対応するために大きい超背幅があります。ティルト機構とリクライニング機構はシートユニット部に備えられており（ベースフレームではない）、3つの異なるベースフレームにシートユニットを搭載しても同じ姿勢を保ちます。

- 869 屋外用 4輪ストローラーベース
- 901 屋外用 3輪ストローラーベース
- 856 室内用 昇降フィーダーベース

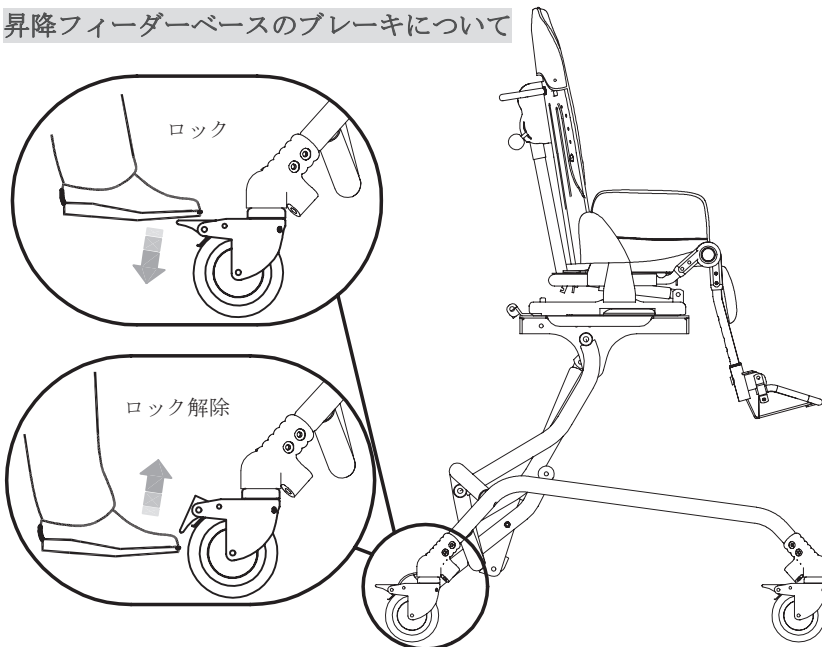
製品構成

- **ベースフレーム**：折りたたみ機構、軽量（アルミニウム）、でコンパクト、押しやすく良い操作性（コンパクト、タイヤが 4 輪ストローラーベースの外にはみ出ません）。製品は専門機関において国際法に則った安全性、耐久性、安全テストをパスしています。（TÜV-Germany, CERAH-France, TRL-UK）。
- **バックサポート**：ハードシェルで強度があり、40°のリクライニング角度まで倒すことができます。S サイズで 10cm、M サイズで 15cm の高さ調節ができ、背板にはオプションを取り付けるためのスロットがあります。
- **ヘッドサポート**：子供の頭部はヘッドレストオプションが無くても、ティルト調整時においても常に支持されるようにバックサポート（背もたれ部）の内部に来るようにデザインされています。
- **シート**：座幅と座奥行はそれぞれ各 10cm の調整ができ、S サイズは対面シートにできます。
- **ティルトシステム**：ティルトシステムはシート部に組み込まれています。よってシート部を外したり、移動させた後でティルト角度が変わらず、姿勢を直す必要がありません。ティルト操作は介助者によって片手だけで簡単かつ楽に調整ができます。無段階にティルトが静かに心地よく動きます。四輪ストローラーベースの場合、Size1-2(S サイズ)は 0° ～35°、Size3-4(M サイズ)では 7° ～30° まで傾ける事ができます。
- **レッグサポート**：高さ、角度の調節が可能です。子供の姿勢の変化に対応する為に、角度調整のヒンジ位置は子供の膝と運動生理学的に同じ位置にあります。
- **フットサポート**：跳ね上げ、屈曲・高さ・角度調整ができます。
- **クッション**：人間工学的にデザインされ、クッション部分のみの取り外しが可能で、パッド等を入れることができます。
- **ノンパンクタイヤ**：屋外用 4 輪ストローラーベースは、前輪 17cm、後輪 25cm(Size1-2 /S サイズ)、後輪 30cm(Size3-4/M サイズ)。屋外用 3 輪ストローラーベースは、前輪 17cm、後輪 30cm で直進ロックとショックアブソーバーが装備されています。キャリパードラムブレーキは 3 輪ストローラーベースでは標準、4 輪ストローラーベースではオプションとして選択できます。屋内昇降フィーダーベースは 10cm のブレーキ付自在車輪が装備されています。
- **サイズ**：Size1-2/S サイズが座幅 20cm～30cm、Size3-4/M サイズが座幅 25～36cm と広いサイズを 2 種類のシートでカバーします。

4輪・3輪ストローラーベースのブレーキについて



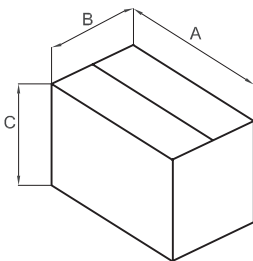
昇降フィーダーベースのブレーキについて



製品が届いたら

梱包形態

(梱包サイズ)



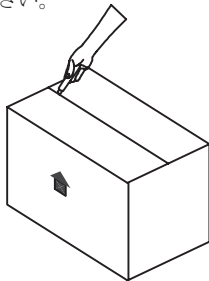
BUG 869 4 輪ストロー ラーベース		A cm	B cm	C cm	VOLUME m ³	WEIGHT kg
	Size 1-2	95	65	48	0.296	24
BUG 901 3 輪ストロー ラーベース	Size 1-2	70	60	95	0.399	26
	Size 3-4	75	65	110	0.536	28
BUG 856 屋内用昇降 ベース	Size 1-2	75	65	68	0.331	30
	Size 3-4	75	65	88	0.429	35

Bug の取り出し方

1

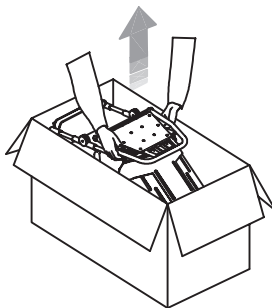
注意!

カッター等の刃物で強く押しつけて箱の中の製品に傷をつけないように注意してください。



2

箱の中からシートユニットとベースフレームを取り出す



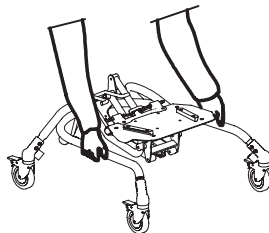
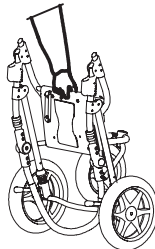
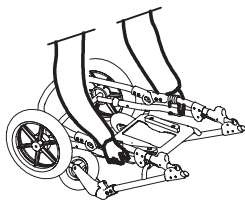
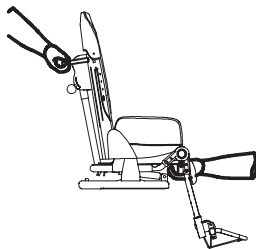
安全に製品を持つ方法

シートユニット

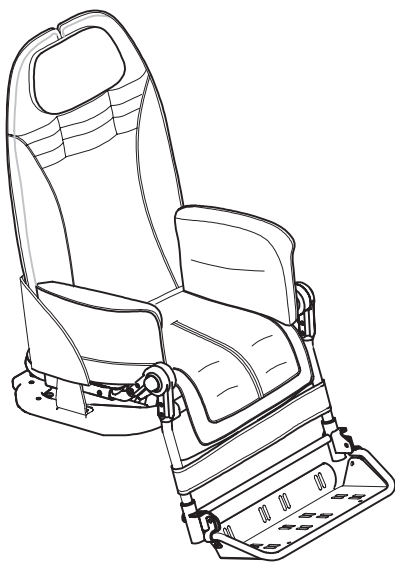
869 ベース

901 ベース

856 ベース



BUGシートユニット



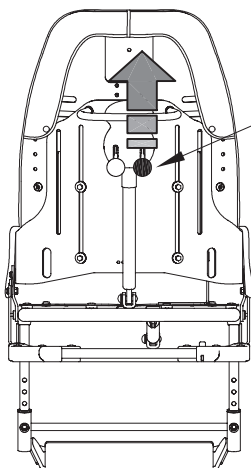
869,901,856 ベースに搭載するシートユニットの調整方法を以下に記載します。

シートユニットの調整方法

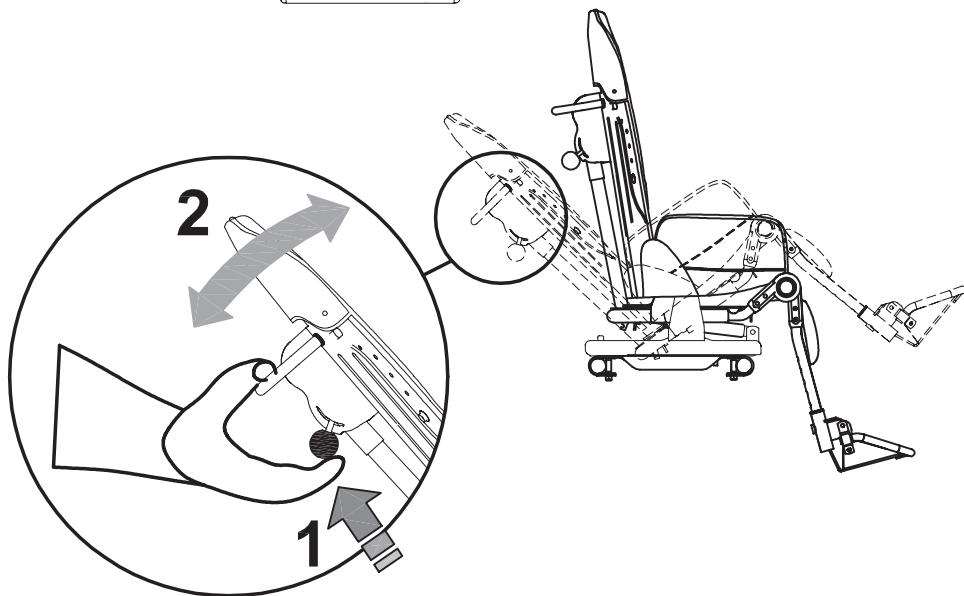
シートの角度調整 (ティルト機構)

1. 赤色のノブを引っ張り上げてください
2. ティルト機構を動かして適切なポジション・角度でノブを離してください

後ろから見た図



赤色ノブ
シートのティルト機構を調節する
ためのノブ



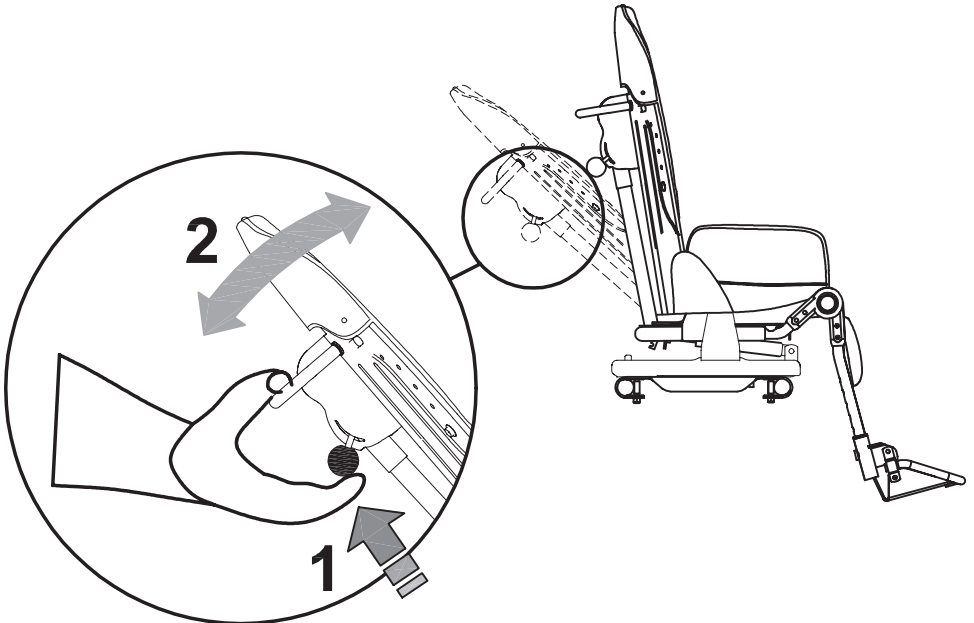
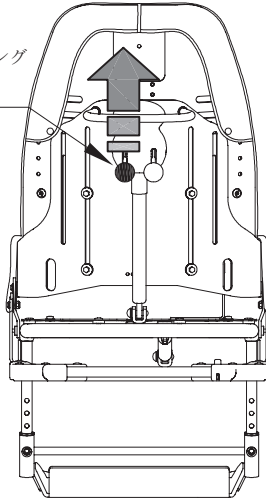
バックサポート部のリクライニング

1. 黒色のノブを引っ張り上げてください
2. リクライニング機構を動かし適切なポジション・角度でノブを離してください

後ろから見た図

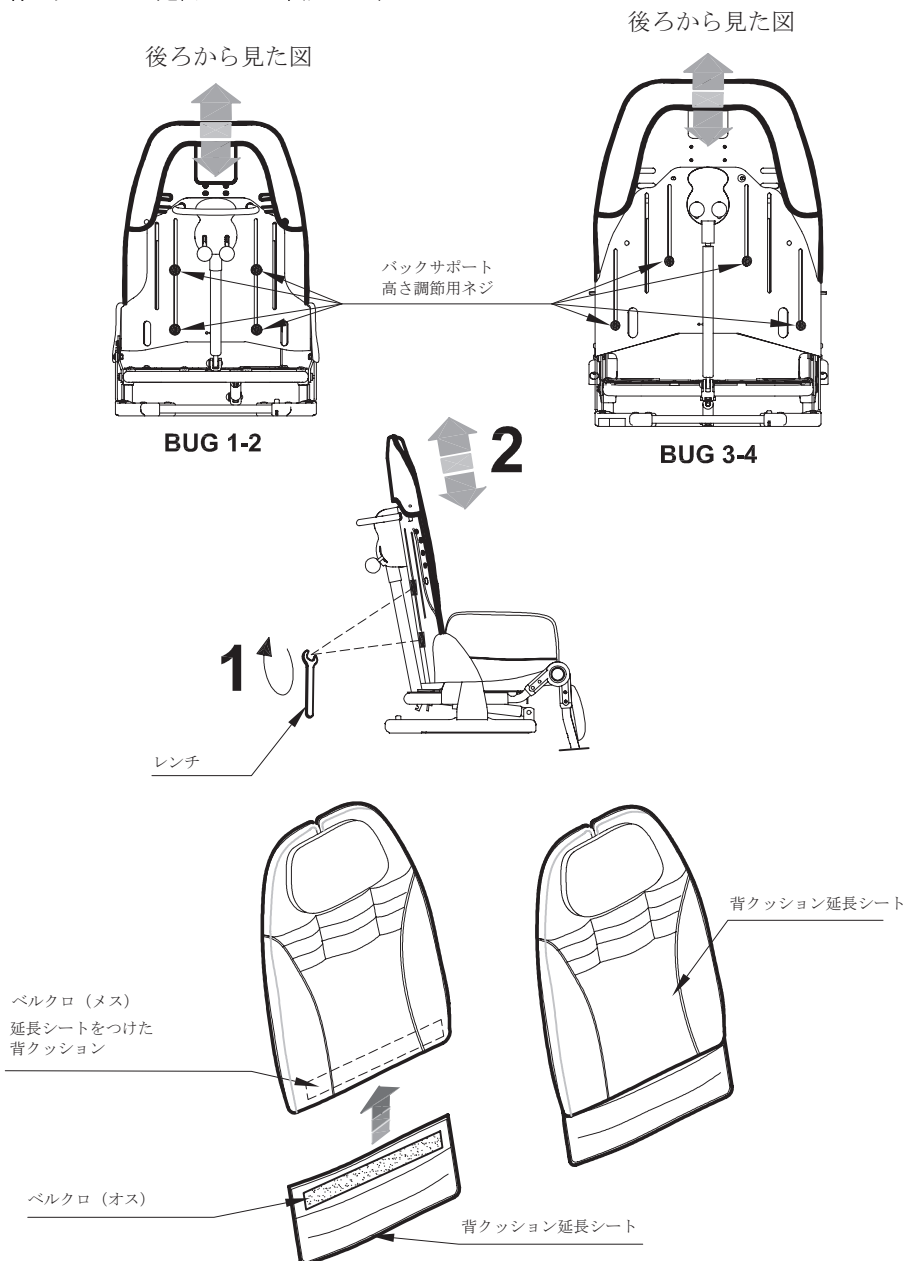
黒色ノブ

背もたれ部分のリクライニング
を調節するためのノブ

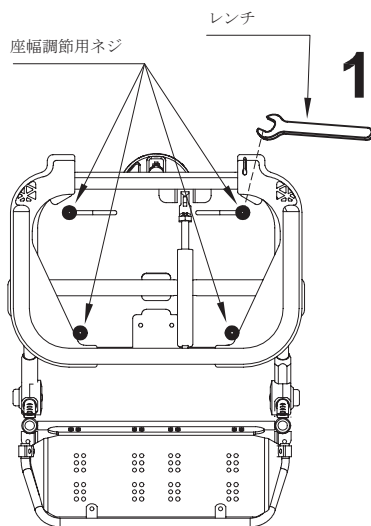
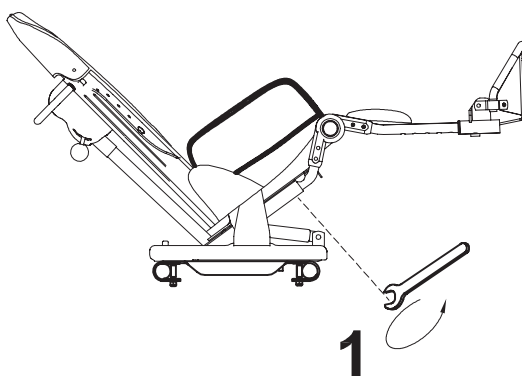


バックサポート部の高さ調整

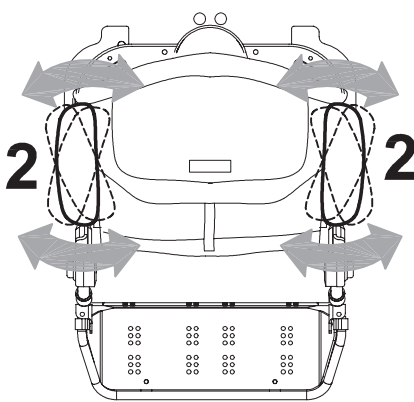
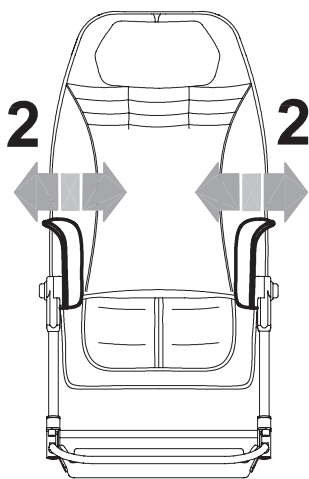
- 付属の工具でバックサポート（背もたれ）の後方にある4つのネジを緩める
- 希望の位置までバックサポート（背もたれ）をスライドさせる
- ネジを締めて高さを固定する
- 背クッションの延長シートを固定します



座シートの幅調整



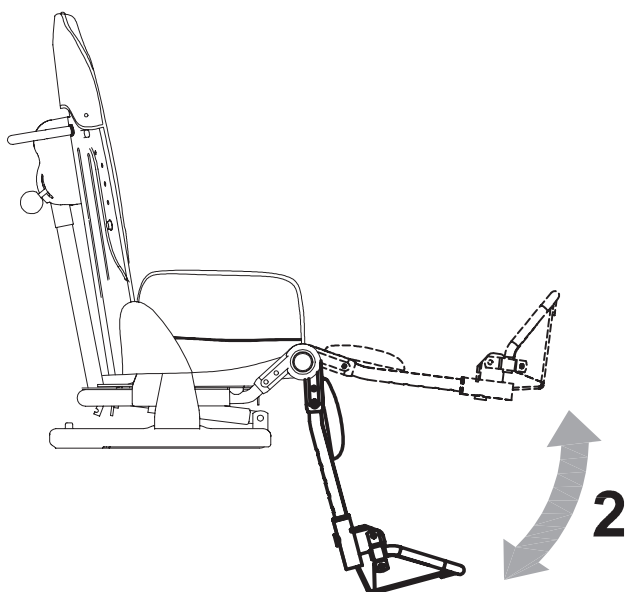
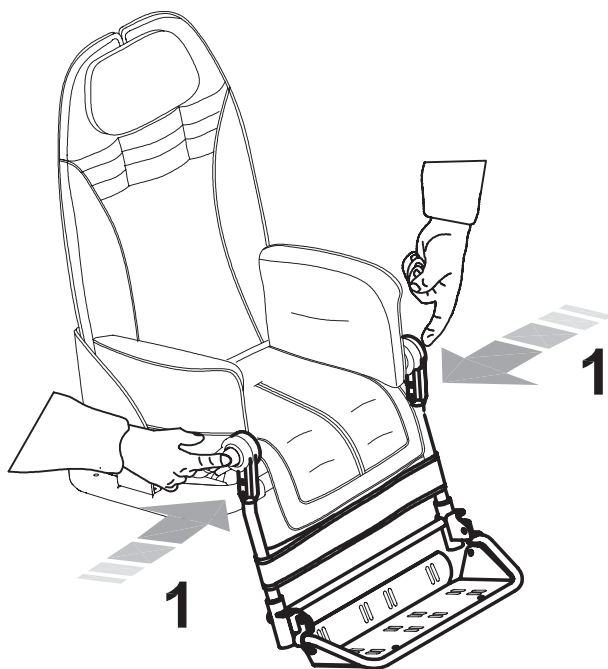
下から見た図



上から見た図

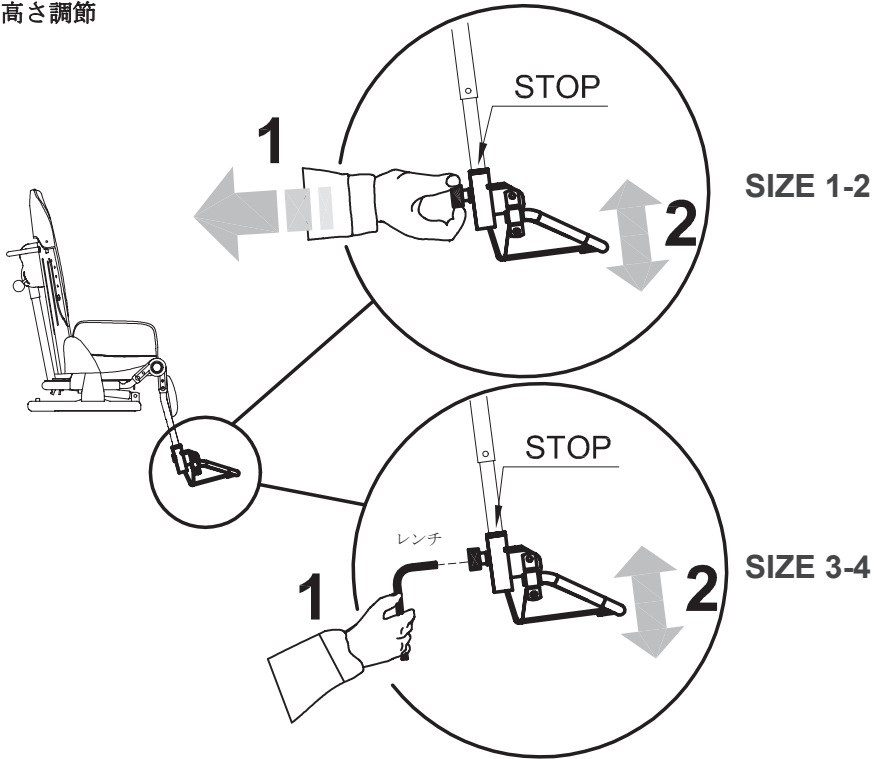
レッグサポートの調整

角度の調整は両サイドにあるボタンを2つ同時に押して調整します

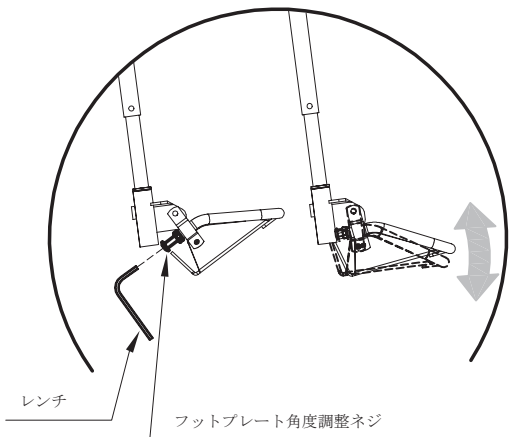


フットプレートの調整

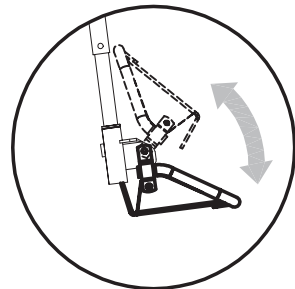
a) 高さ調節



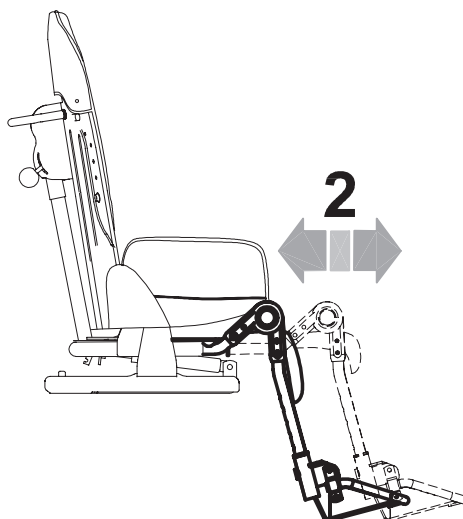
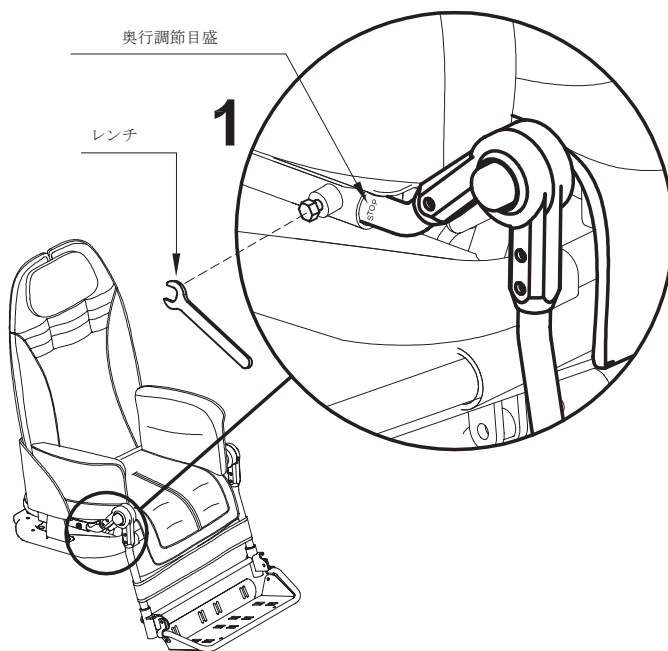
b) 角度調節



c) 跳ね上げ

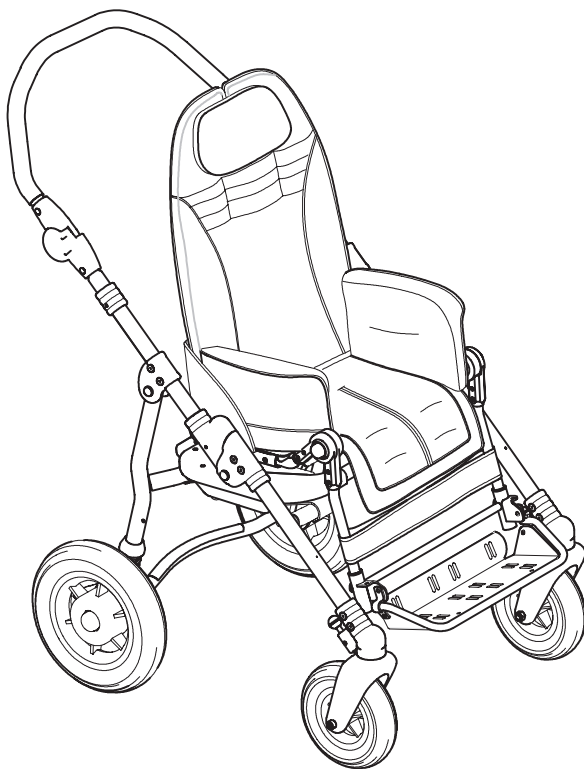


座シートの奥行調整

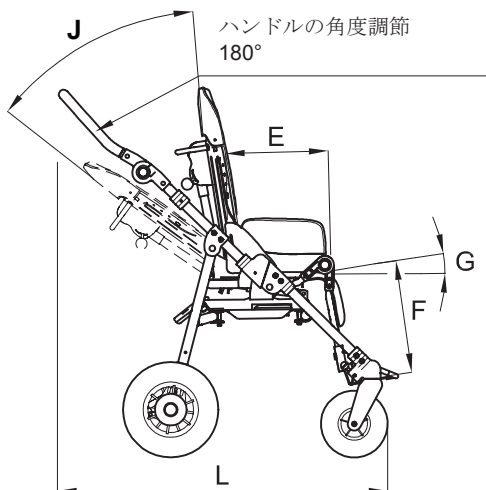
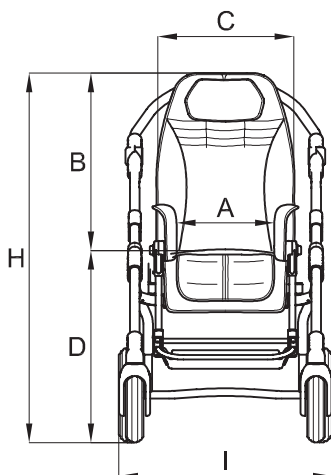


Bug seat

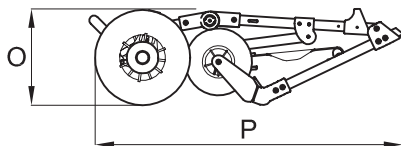
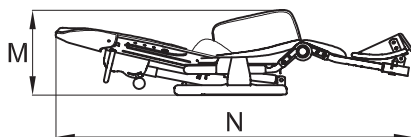
屋外用 4 輪ストローラベース 869



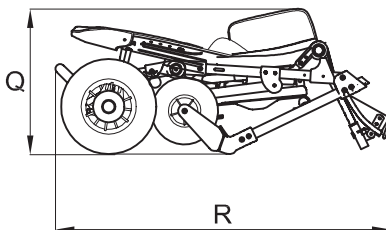
BUG本体と4輪ストローラーベースのスペック



折りたたみ時
(シートなし)



折りたたみ時



- 車輪:

前輪: 直進ロック付, 17 cm (7インチ)

後輪: ショックアブソーバー付, 25 cm (10インチ) (sizes 1-2/S),
30 cm (12インチ) (size 3-4/M)

-ブレーキ: 独立パーキングブレーキ

各部の最大～最小寸法

仕様 (cm / kg)

サイズ	耐荷重 (Kg)	A (cm)	B (cm)	C (cm)	D (cm)	E (cm)	F (cm)	G 角度	J 角度
1-2	35	20-30	52-62	37	52	20-30	14-30	0°-35°	35°
3-4	45	25-36	60-75	44	55	30-40	30-40	5°-30°	40°

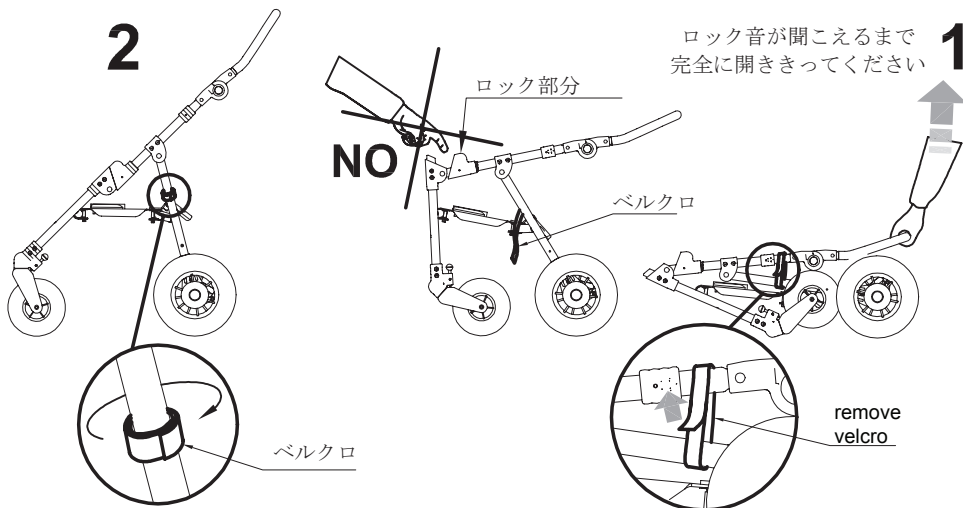
サイズ	H (cm)	I (cm)	L (cm)	M (cm)	N (cm)	O (cm)	P (cm)	Q (cm)	R (cm)
1-2	101-111	57	67-81	29	88	28	81	44	81
3-4	113-127	62	79-92	34	112	30	93	52	94

サイズ	フレーム重量 (Kg)	シート重量 (Kg)	総重量 (Kg)
1-2	9.5	8.5	18
3-4	10.5	11.5	22

4輪ストローラーベースの使い方

ストローラーベースの開き方

a) シートユニットなし

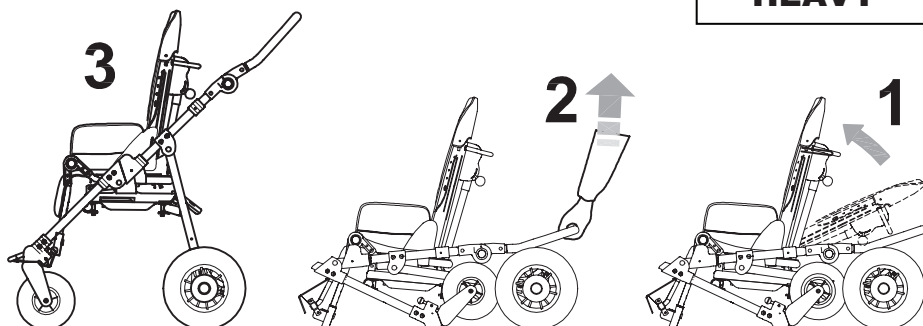


確実にフレームをロックして下さい

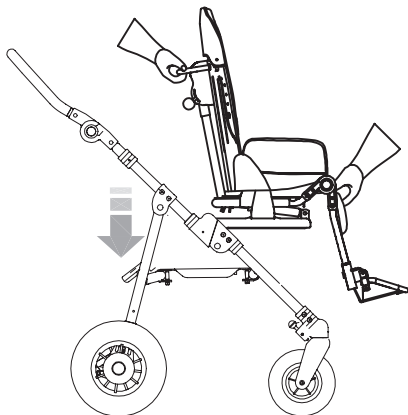
b) シートユニットあり



ベースフレームを開く前に、背もたれ部の位置を起してください



ストローラーベースへのシートユニットの装着方法

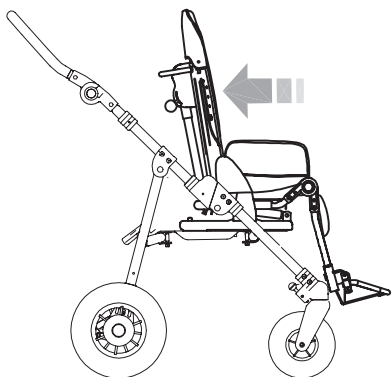
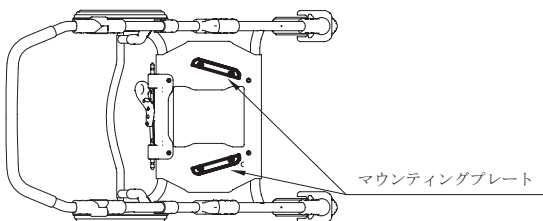


1

ブレーキをかけた後、シートをマウンティングプレート上に置きます (Fig. A)

FIG. A

上からみた図



2

マウンティングプレートに載せたシートを後方に押しスライドさせます

3

ロックレバーをかけます (FIG. B)
安全ボタン (赤) がカチッと音がなりロックされた事を確認してください

後ろから見た図

ロックレバー

安全ボタン (赤)

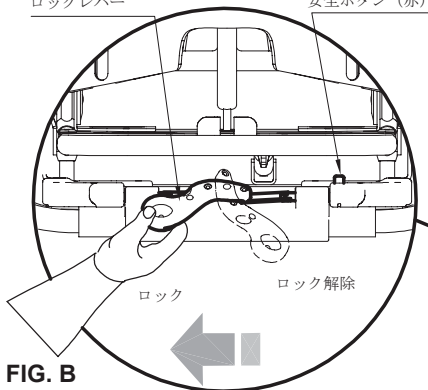
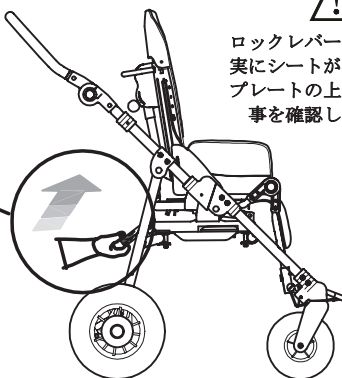


FIG. B



ロックレバーをかける前に確実にシートがマウンティングプレートの上に置かれている事を確認してください。



シートユニットの対面シートへの変換方法 (FIG. A)

(SIZE 1-2/S サイズのみ変換できます。 SIZE 3-4/M サイズ は変換できません)

- 1- 4本のネジを外します
- 2- わずかにフレームを折りたたみシート板をとり外します
- 3- シート板を180°回転させます
- 4- わずかに畳んだフレームにシート板を再び取り付けます
- 5- フレームを広げきった状態でFIG.Bのようにネジで固定します

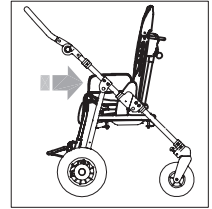


Fig.A

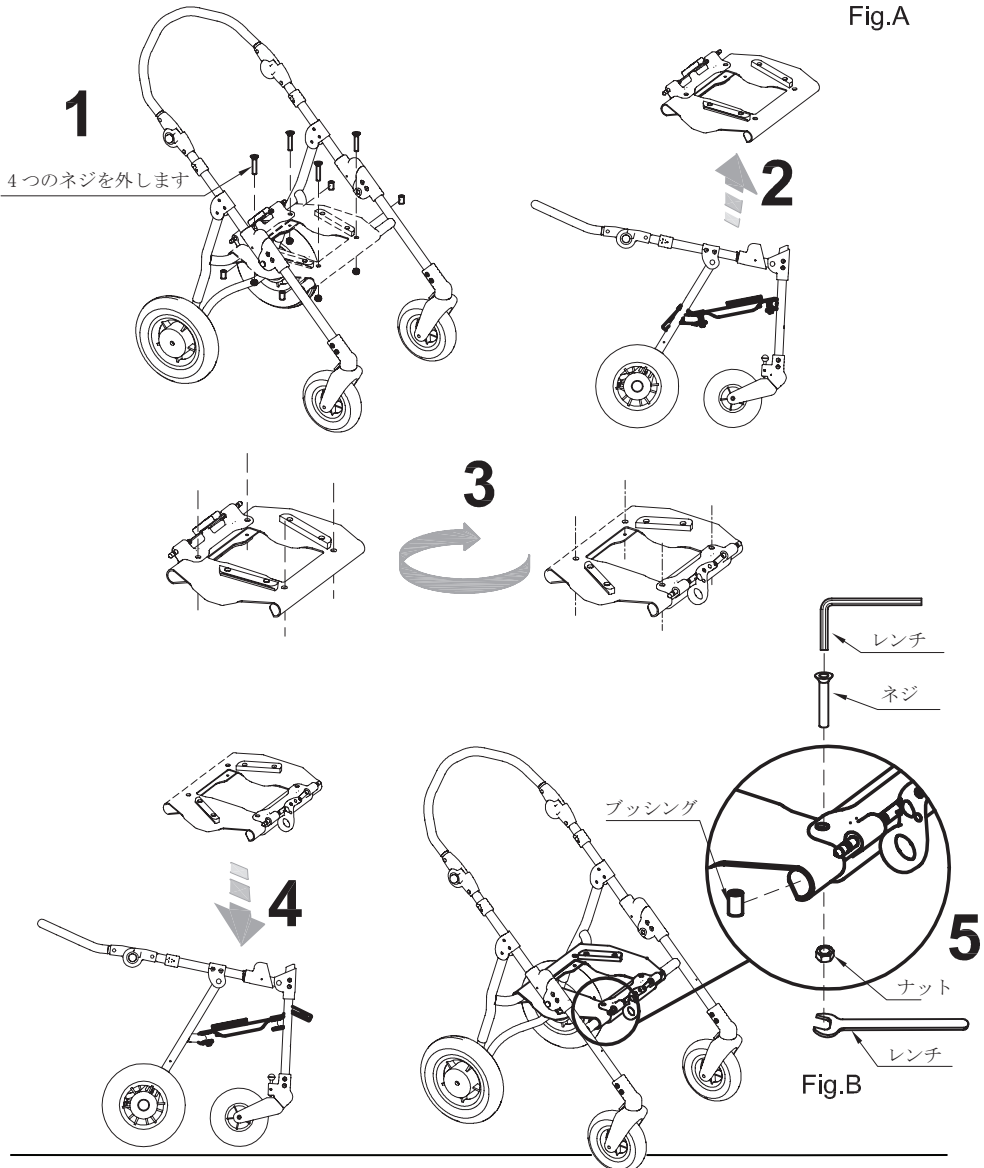


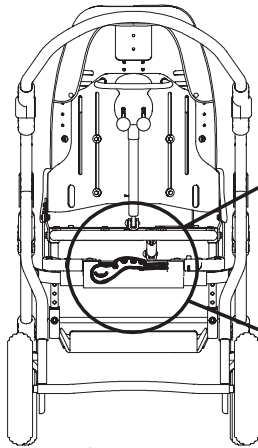
Fig.B

シートユニットの取り外し方法



最初にブレーキをかけてください

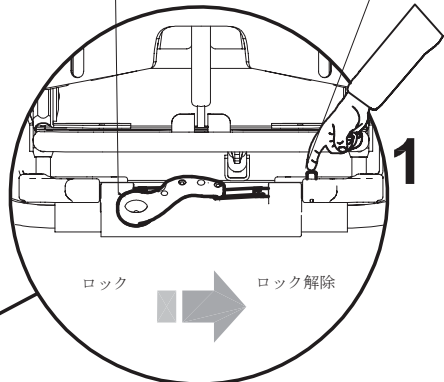
- 1- 安全ボタン（赤）を押します
- 2- 同時にロックレバーを左から右へ回します
- 3- シートユニットを前方へスライドさせます



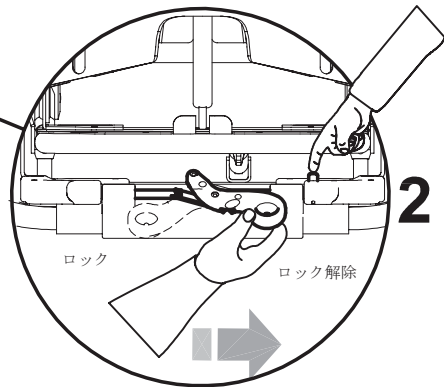
後方から見た図

ロックレバー

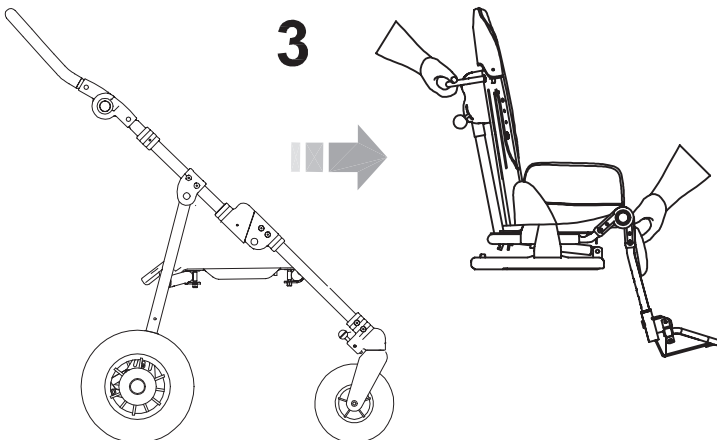
安全ボタン（赤）



1



2

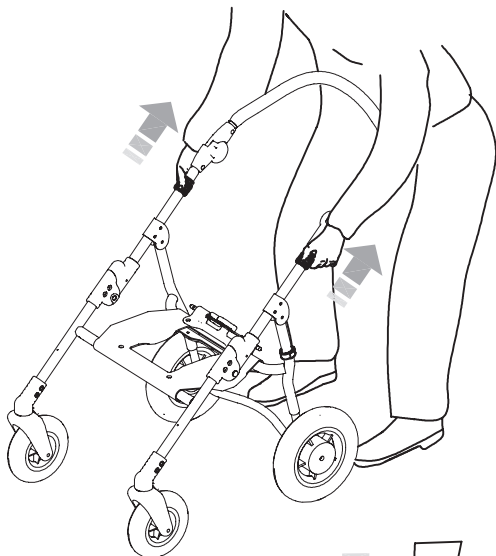


3

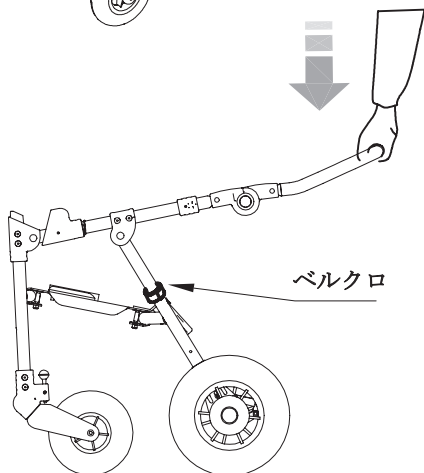
ストローラーベースの折りたたみ方法



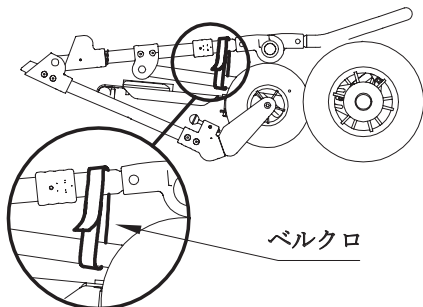
シートユニットなしで折りたたむことを
お薦めします



1 両手で黒色のロックを引っ張り上げます



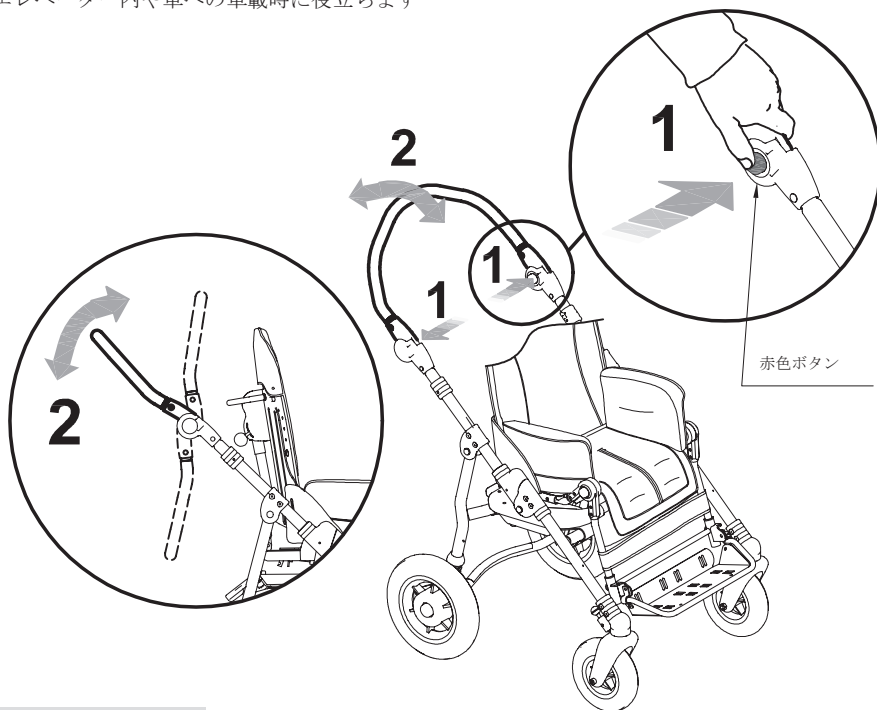
2 ゆっくりとハンドルを下げます



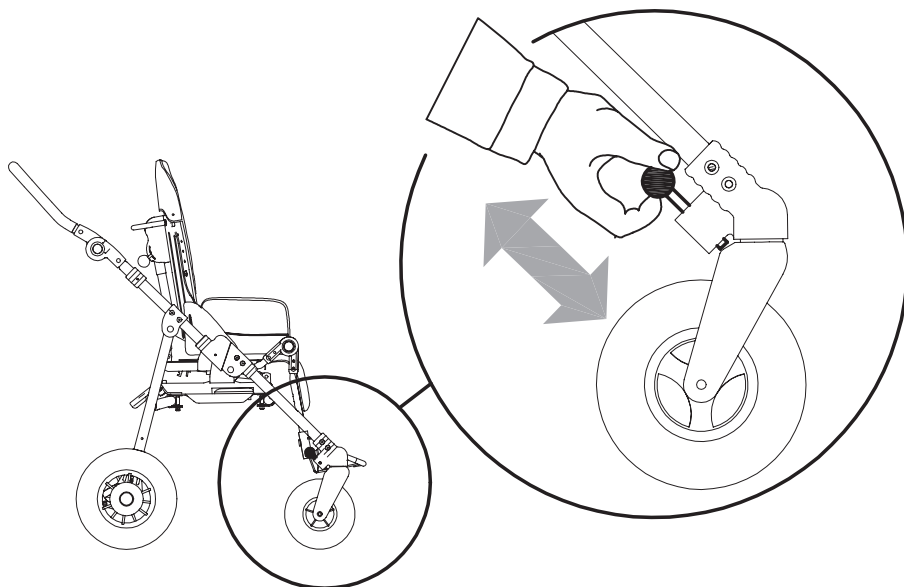
3 フレームが折り畳みます

押し手ハンドルの角度調整

エレベーター内や車への搭載時に役立ちます

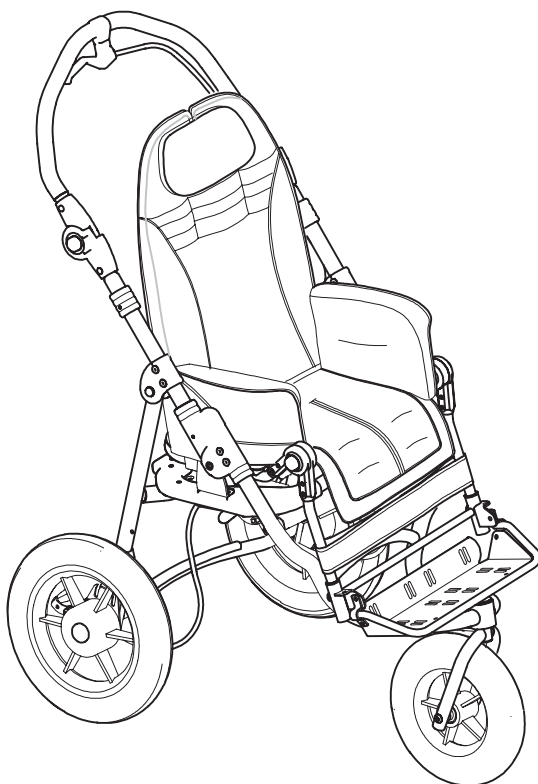


前輪の直進ロック

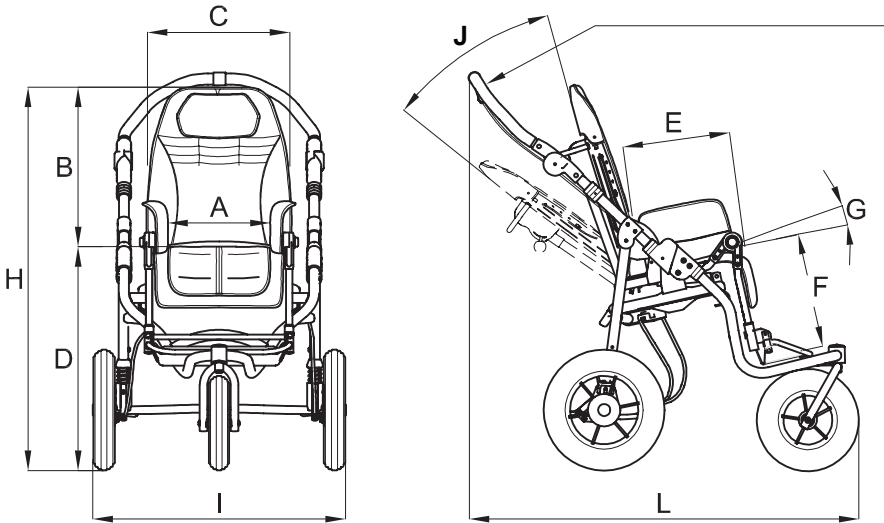


Bug seat

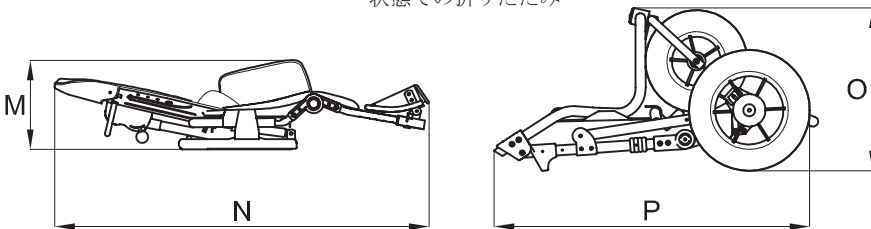
屋外用 3 輪ストローラベース **901**



BUG本体と3輪ストローラーベースのスペック



シートユニットを外した
状態での折りたたみ



- 車輪 :
前輪 : 直進ロック付, 25 cm (10インチ);
後輪 : ショックアブソーバー付, 30 cm (12インチ)
- ブレーキ : パーキングブレーキ
- ハンドブレーキ : (下り斜面やジョギング時の減速ができます)

各部の最大～最小寸法

仕様 (cm / kg)

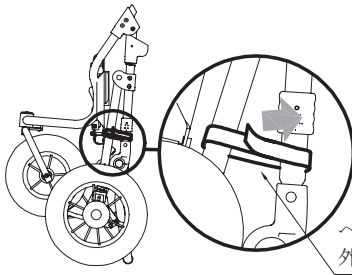
サイズ	耐荷重 (Kg)	A (cm)	B (cm)	C (cm)	D (cm)	E (cm)	F (cm)	G 角度	J 角度
1-2	35	20-30	52-62	37	51	20-30	14-30	14°-49°	35°
3-4	45	25-36	60-75	44	57	30-40	30-40	13°-38°	40°

サイズ	H (cm)	I (cm)	L (cm)	M (cm)	N (cm)	O (cm)	P (cm)
1-2	103-113	63	78-106	29	88	38	79
3-4	117-132	69	98-127	34	112	40	96

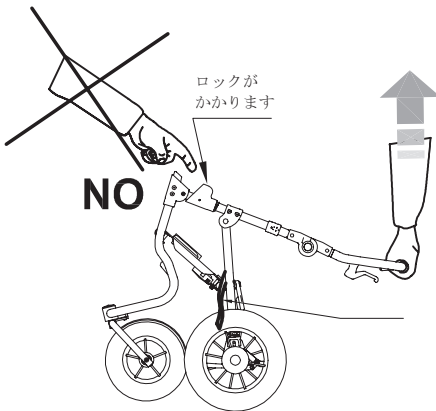
サイズ	フレーム重量 (Kg)	シート重量 (Kg)	総重量 (Kg)
1-2	10.5	8.5	19
3-4	11.5	11.5	23

3輪ストローラーベースの使い方

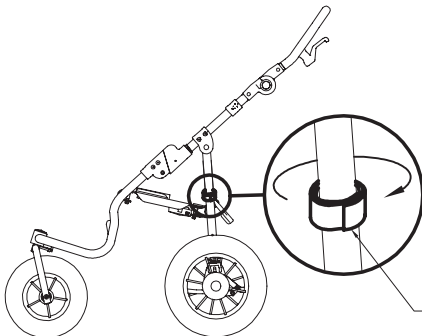
ストローラーベースの開き方



1 ベースフレームを立たせた状態で置いてください



2 ハンドルを上方向へ持ち上げます



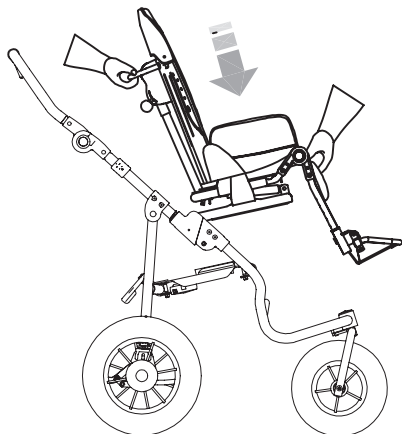
3 ロック音が聞こえたら完全に開ききった状態

ベルクロで止める



確実にフレームをロックしてください

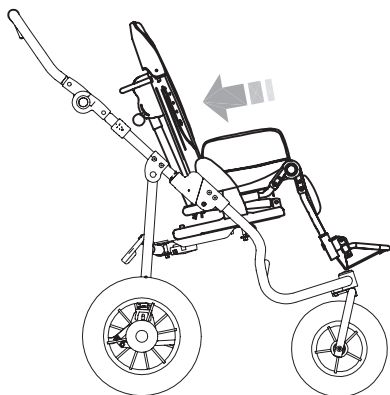
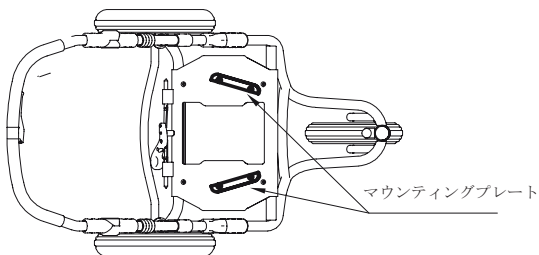
ストローラーベースへのシートユニットの装着方法



- 1** ブレーキをかけた後、シートをマウンティングプレート上に置きます (Fig. A)

FIG. A

上からみた図



- 2** シートを後方に押しマウンティングプレート上をスライドさせます

- 3** ロックレバーをかけます (FIG. B)
安全ボタン (赤) がカチッと音になりロックされた事を確認してください

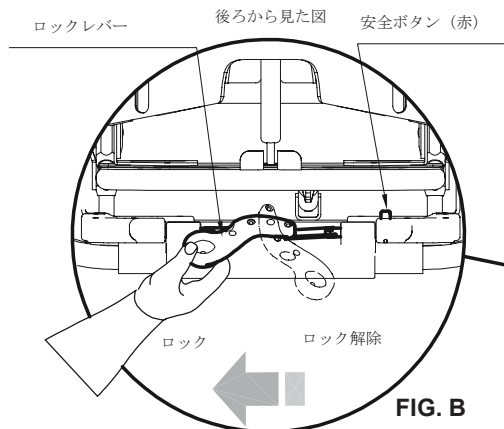
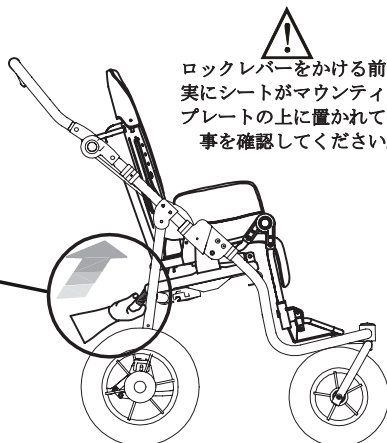


FIG. B



⚠
ロックレバーをかける前に確実にシートがマウンティングプレートの上に置かれている事を確認してください。

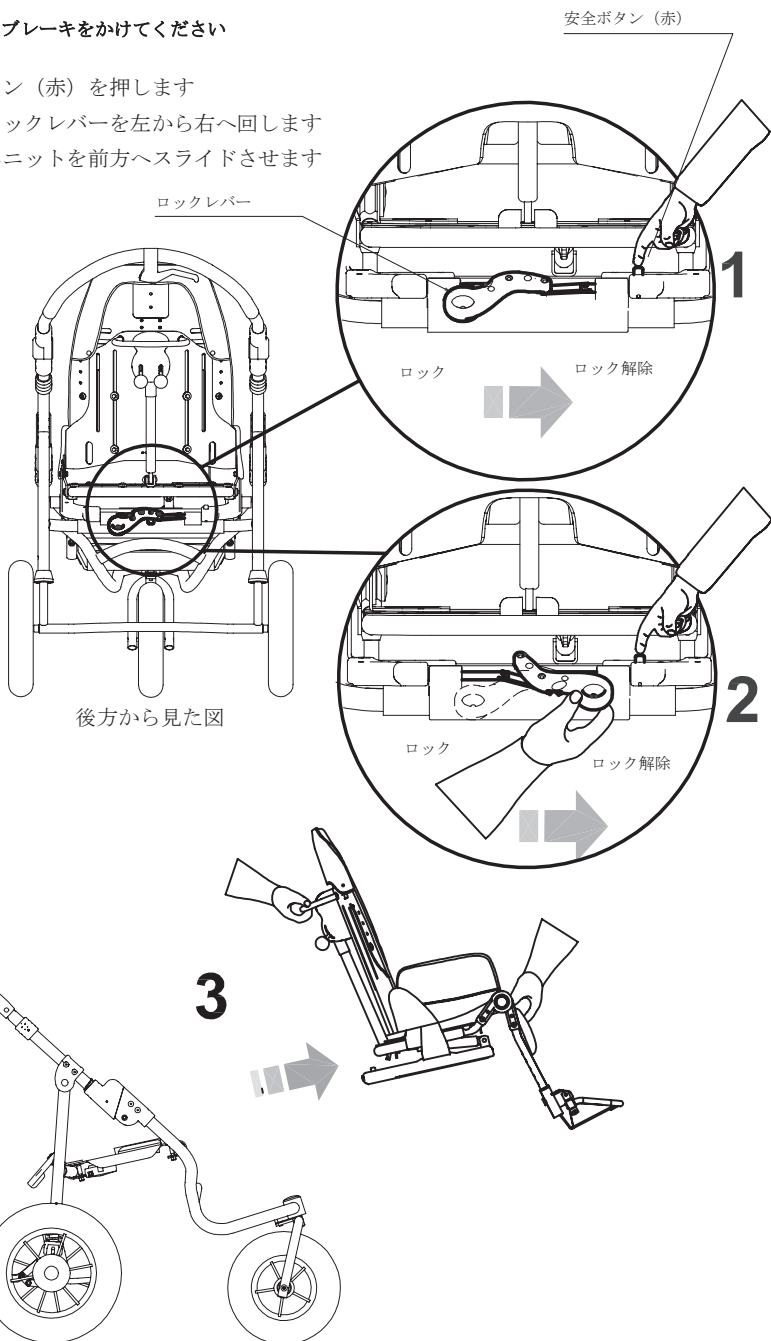
3 輪ストローラーベース 901 はシートの対面取付ができません

シートユニットの取り外し方法



最初にブレーキをかけてください

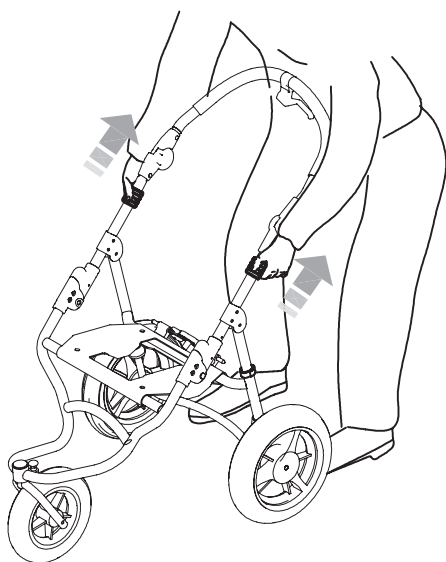
- 1- 安全ボタン（赤）を押します
- 2- 同時にロックレバーを左から右へ回します
- 3- シートユニットを前方へスライドさせます



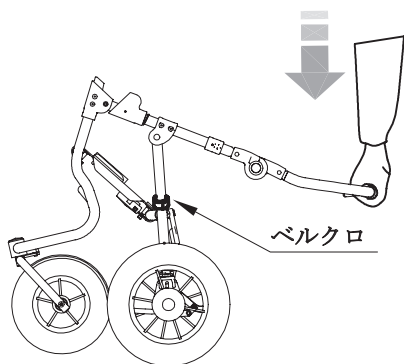
ストローラーベースの折りたたみ方法



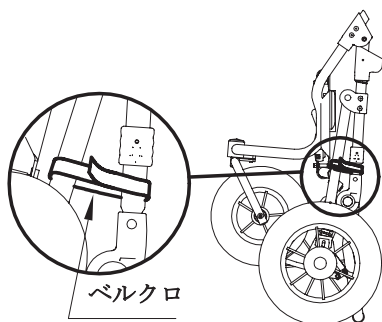
シートユニットなしで折りたたむことを
お薦めします



1 両手で黒色のロックを引っ張り
上げます



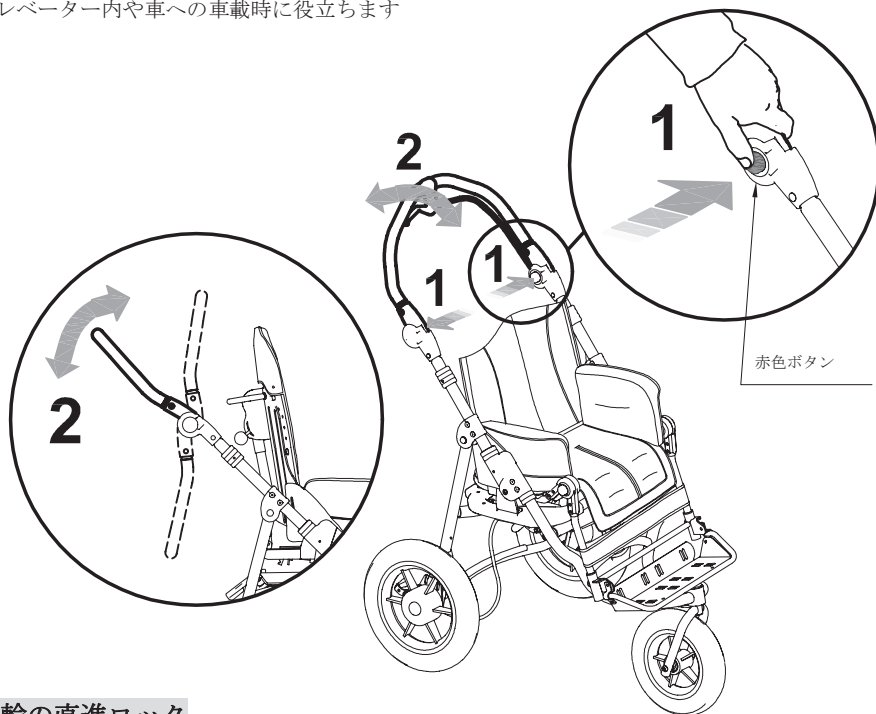
2 ゆっくりとハンドルを下げます



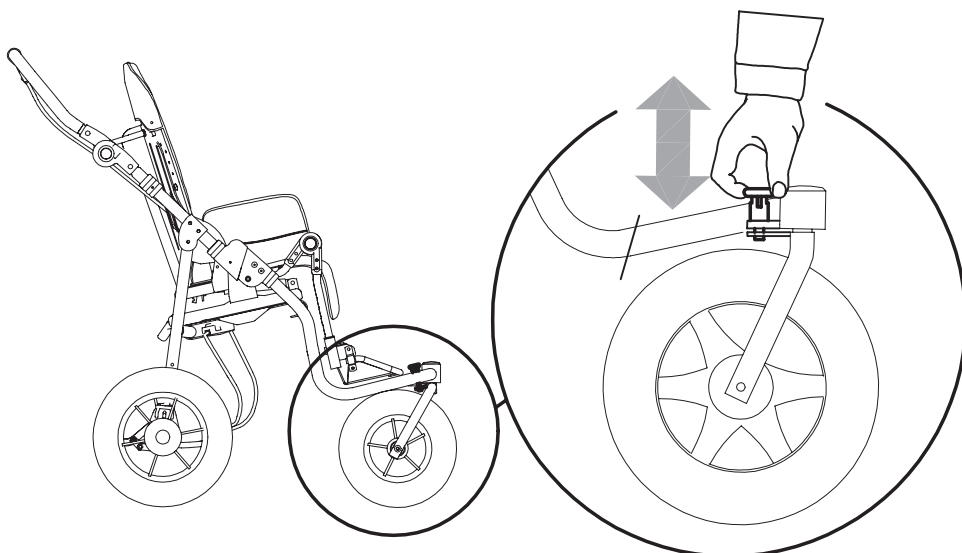
3 フレームが折り畳みます

押し手ハンドルの角度調整

エレベーター内や車への車載時に役立ちます

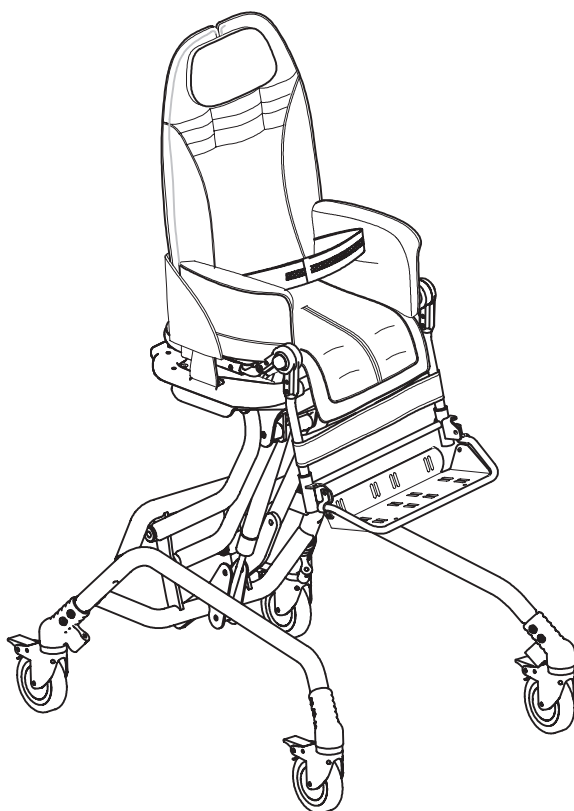


前輪の直進ロック

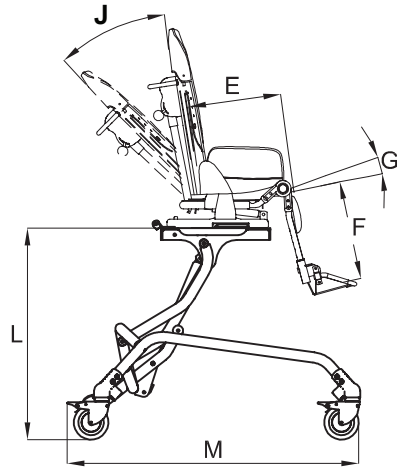
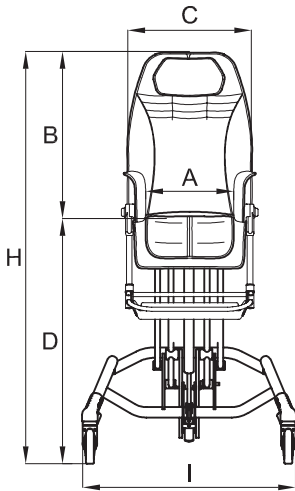


Bug seat

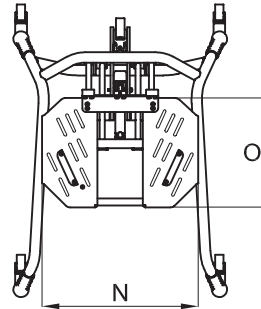
昇降フィーダーベース 856



BUG本体と昇降フィーダーベースのスペック



-車輪, 10 cm (4 インチ), ブレーキ付自在車輪
-各部の最大～最小寸法



仕様 (cm / kg)

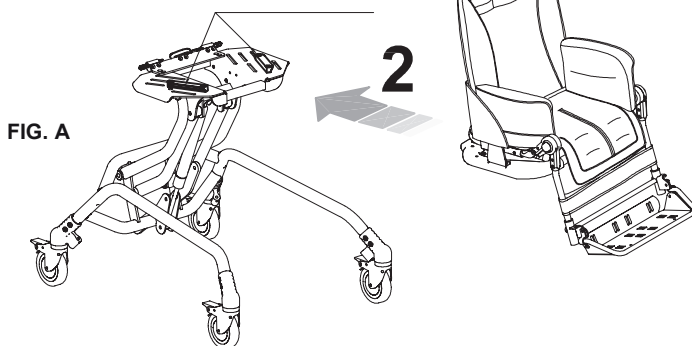
サイズ	耐荷重 (Kg)	A (cm)	B (cm)	C (cm)	D (cm)	E (cm)	F (cm)	G 角度	J 角度
1-2	35	20-30	52-62	37	47-73	20-30	14-30	0°-35°	35°
3-4	45	25-36	60-75	44	47-73	30-40	30-40	0°-25°	40°

サイズ	H (cm)	I (cm)	L (cm)	M (cm)	N (cm)	O (cm)	フレーム重量 (Kg)	シート重量 (Kg)	総重量 (Kg)
1-2	99-135	56	35-61	79	40	25	14.5	8.5	23
3-4	107-148	62	35-61	83	45	32	15.5	11.5	27

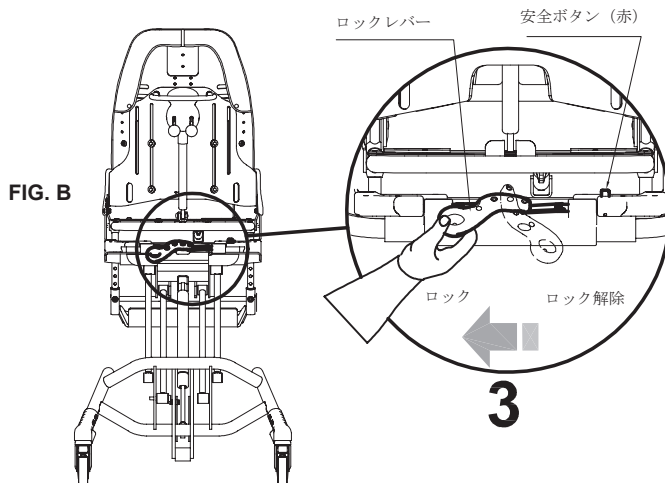
昇降フィーダーベースの使い方

昇降フィーダーベースへのシートユニットの装着方法

- 1 ブレーキをかけた後、シートをマウンティングプレート上に置きます (FIG. A)
- 2 シートを後方に押しマウンティングプレート上をスライドさせます
- 3 ロックレバーをかけます (FIG.B) 安全ボタン (赤) がカチッと音になりロックされた事を確認してください



ロックレバーをかける前に確実にシートがマウンティングプレートの上に置かれている事を確認してください。

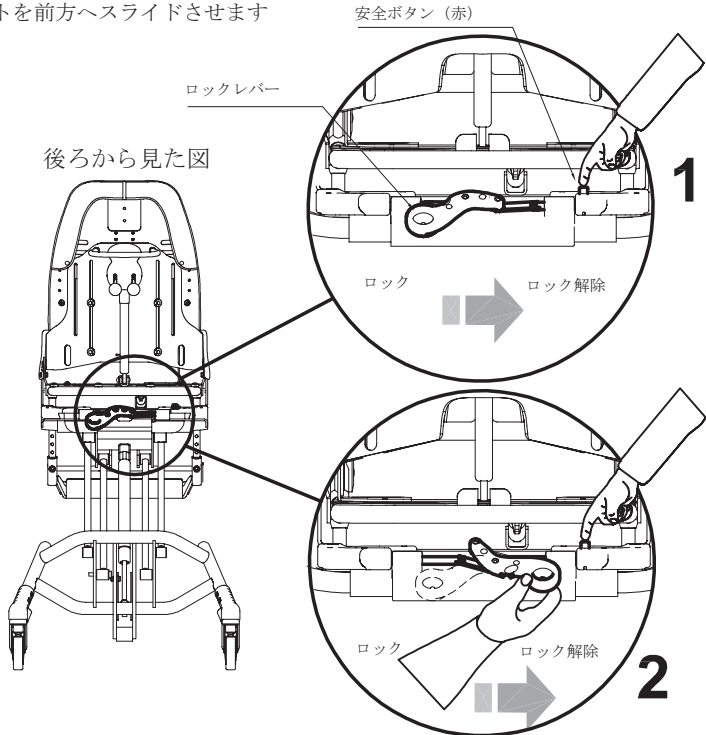


シートユニットの取り外し方法

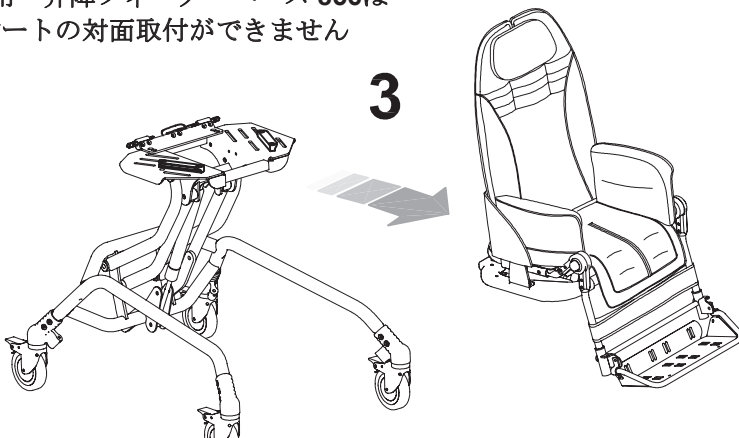


最初にブレーキをかけてください

- 1- 安全ボタン（赤）を押します
- 2- 同時にロックレバーを左から右へ回します
- 3- シートユニットを前方へスライドさせます



屋内用 昇降フィーダーベース 856は
シートの対面取付ができません



シートの高さ調整

a) 人が乗った状態での調整

後方ペダル
(高さ調節用)



後方ペダルで、ご使用者が
使いやすいシート高に調節
します



b) 人が乗っていない状態での調整



前方ペダルで、ご使用者が
使いやすいシート高に調節
します



ACCESSORIES

オプションの取付方法

ヘッドレスト (マルチ)

863

高さ・幅・角度・前後調節タイプ

1. FIG. Aのように付属のヘッドパッドを取り外します
2. 4本のネジで背板にヘッドレストを固定します (FIG.B)
3. 背クッションを取り付けます (FIG. C)
4. 付属のパッドをヘッドレスト中央に取り付けます (FIG.D)

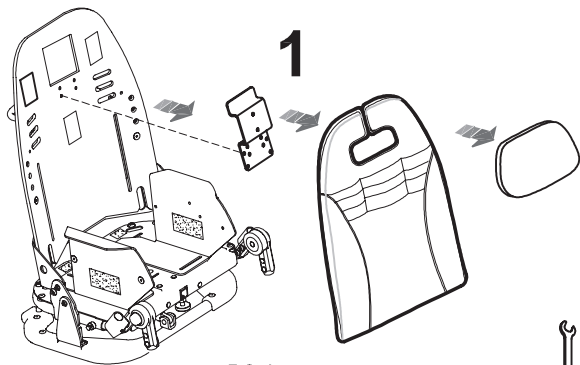


FIG. A

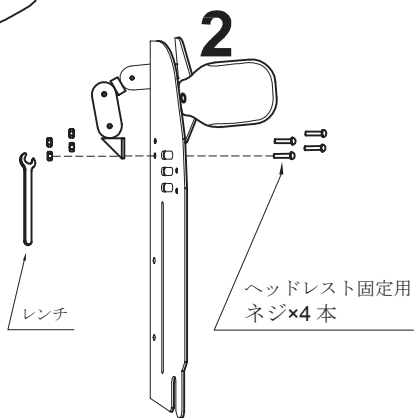


FIG. B

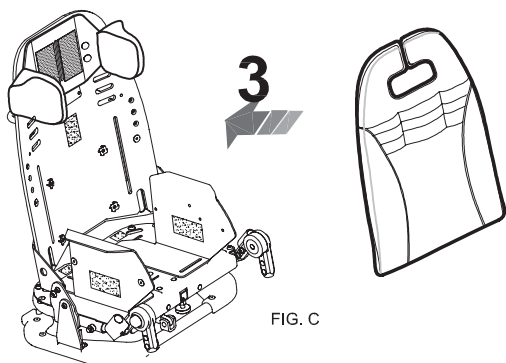


FIG. C

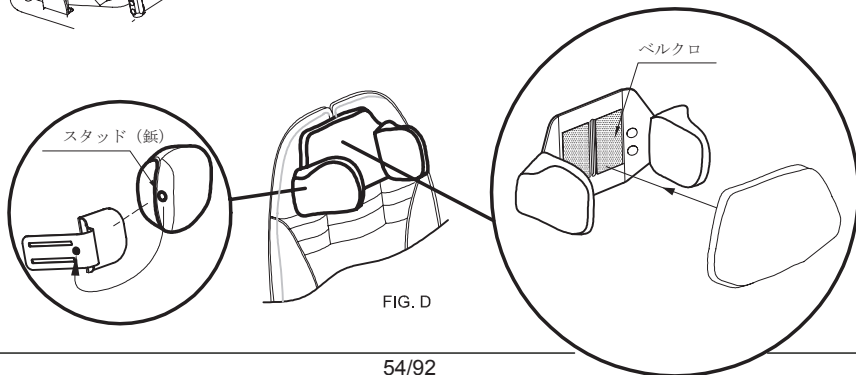
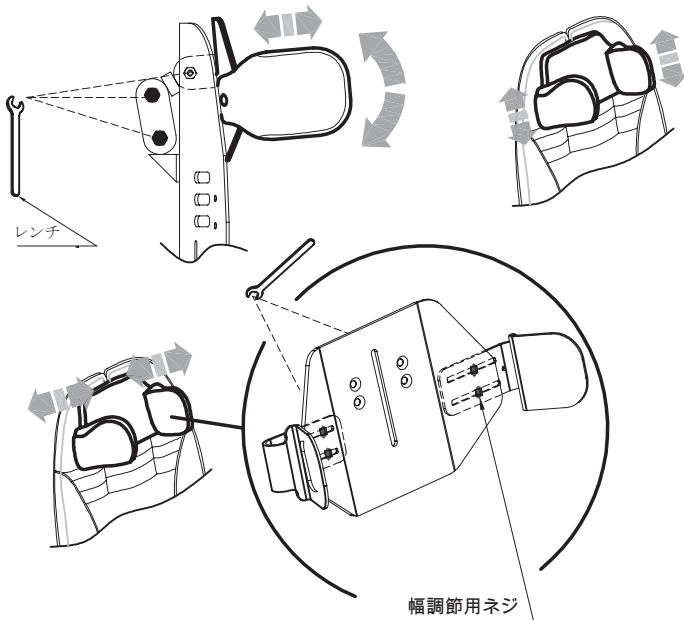


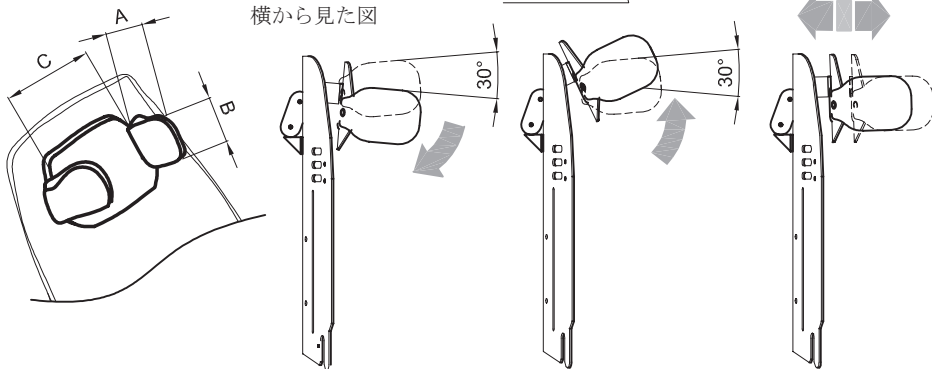
FIG. D

ヘッドレストの位置を調節するために、付属のスパナレンチでヘッドレストの後に位置するネジをわずかにゆるめてください。

横から見た図



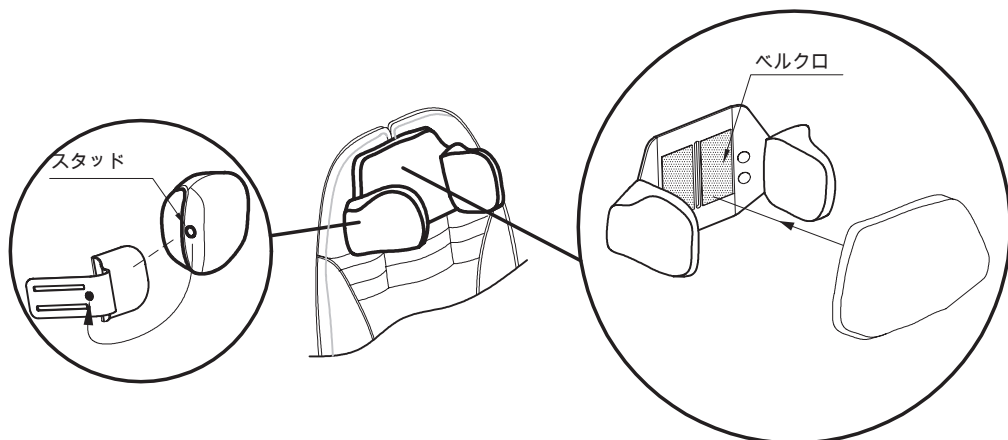
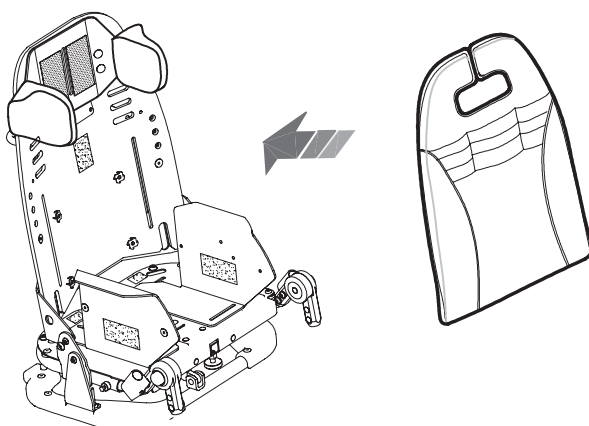
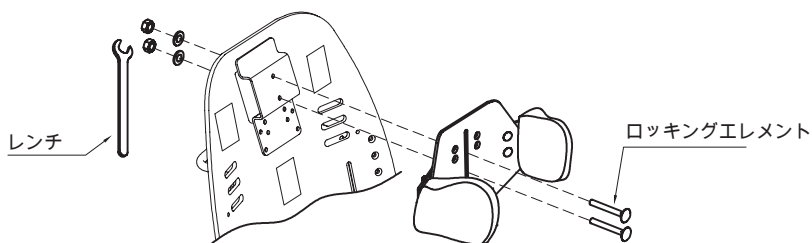
横から見た図



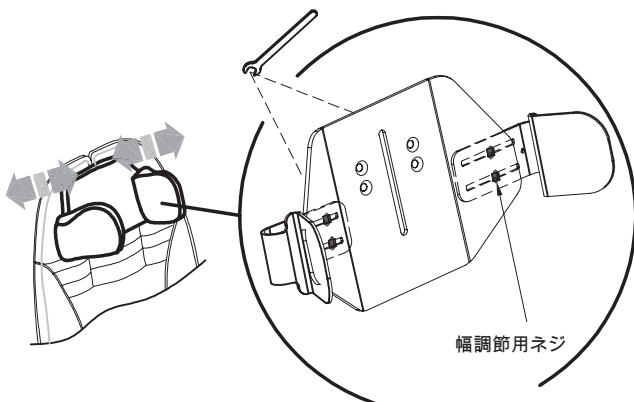
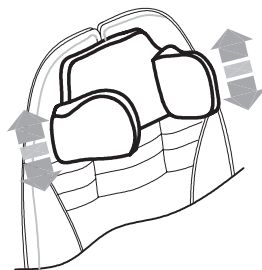
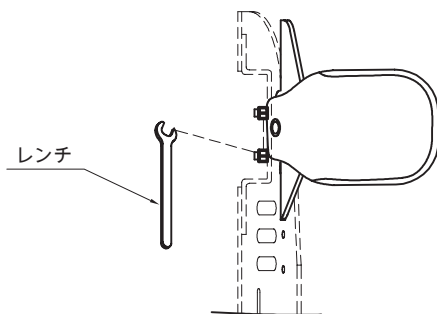
BUG	ヘッドレスト		
	A (cm)	B (cm)	C (cm)
S(1-2)	8	10	12-17
M(3-4)	11	12	14-20

2つの寸法が記載されているものは調整できる最小と最大の数値です

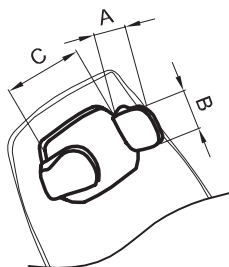
ヘッドレスト 852 高さ・幅調節タイプ



横からみた図



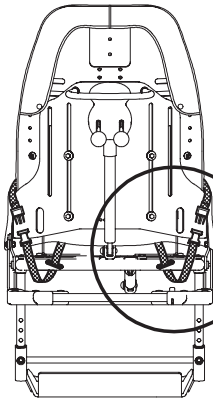
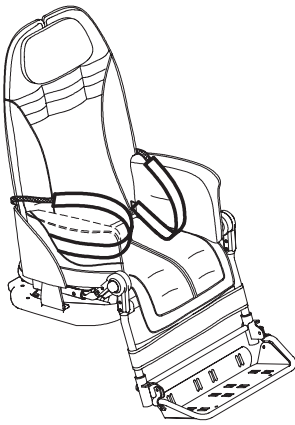
BUG	ヘッドレスト		
	A (cm)	B (cm)	C (cm)
S(1-2)	8	10	12-17
M(3-4)	11	12	14-20



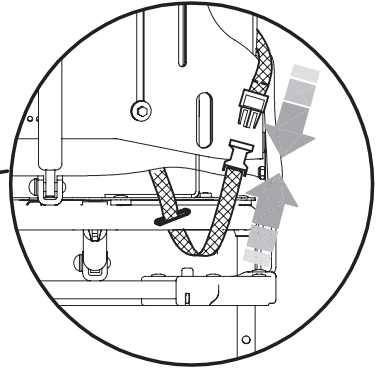
2つの寸法が記載されているものは調整できる最小と最大の数値です

レッグストラップ

817

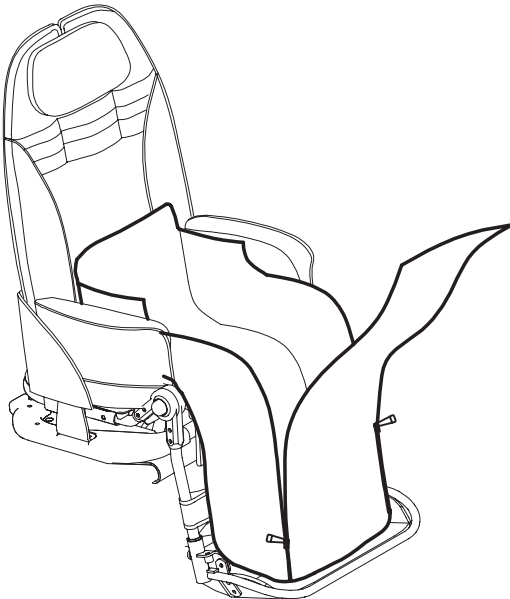


後ろからみた図

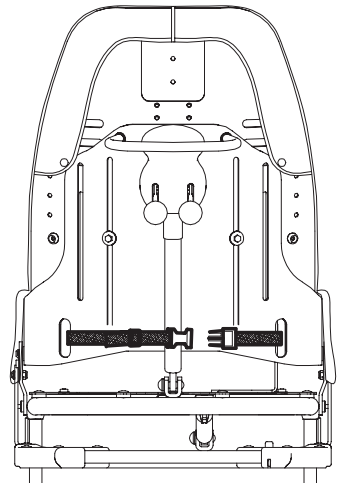


レッグ&ヒップマフ

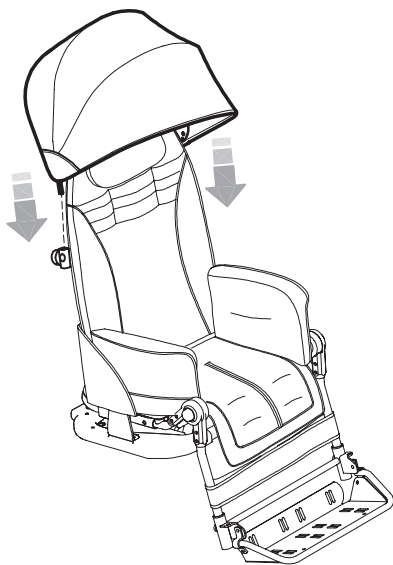
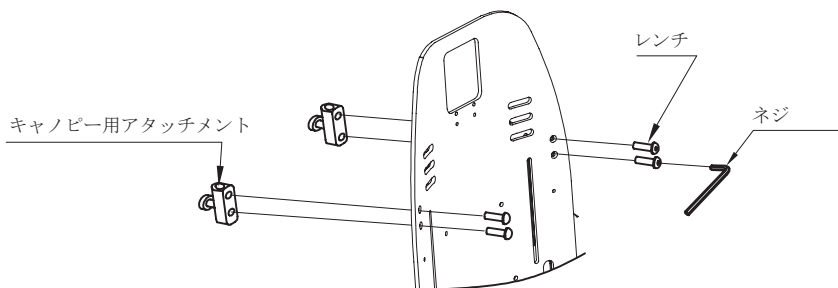
818



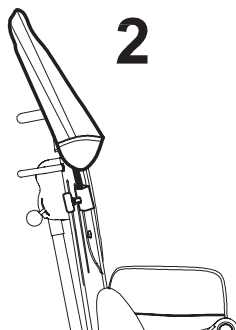
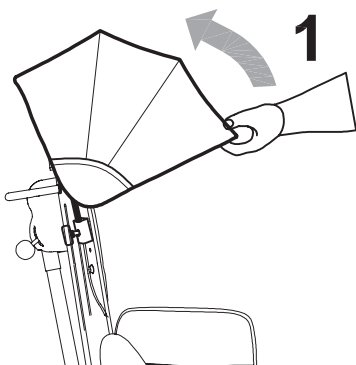
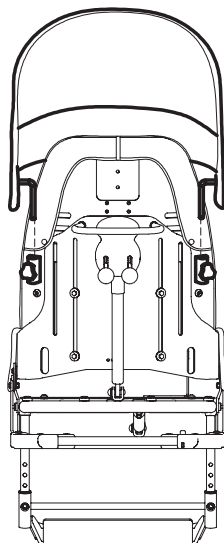
後ろからみた図



キャンピー 819



後ろからみた図

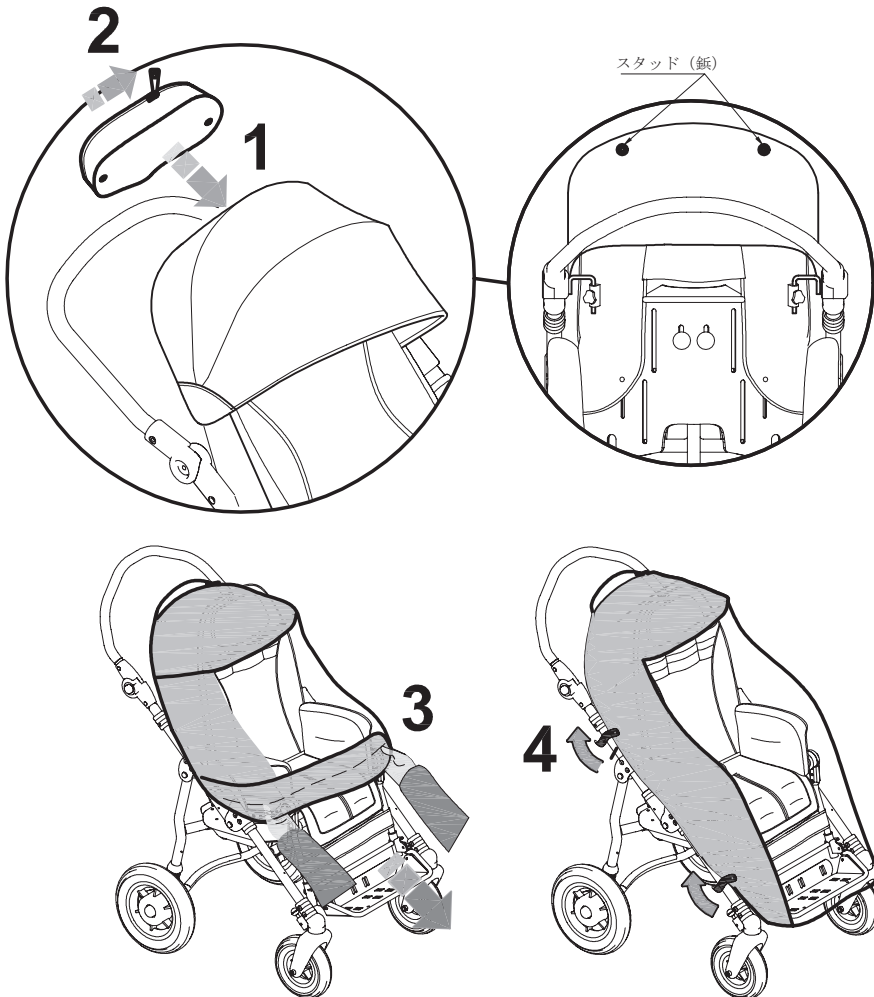


レインカバー 825

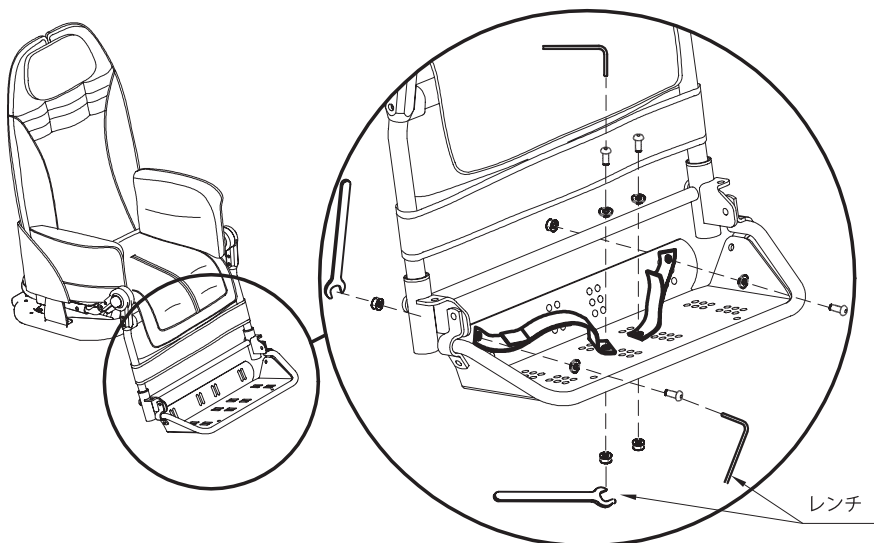
レインカバーはキャノピーを取り付けた状態で使用できます。

- 1- キャノピーの後ろにある2つのボタンでレインカバーのポーチを付けてください。
- 2- ポーチのジッパーを開きます。
- 3- レインカバーがBUG本体を覆うようにポーチからレインカバーを広げてください。
- 4- ボタン付ストラップをフレームに巻きつけて固定してください。

キャノピーを後ろから見た図



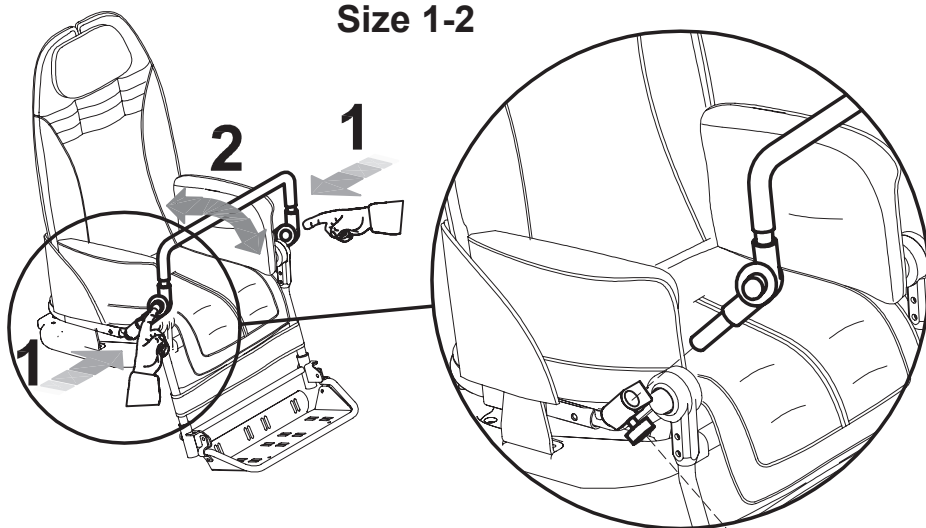
アンクルストラップ 827



内転防止パッド 834

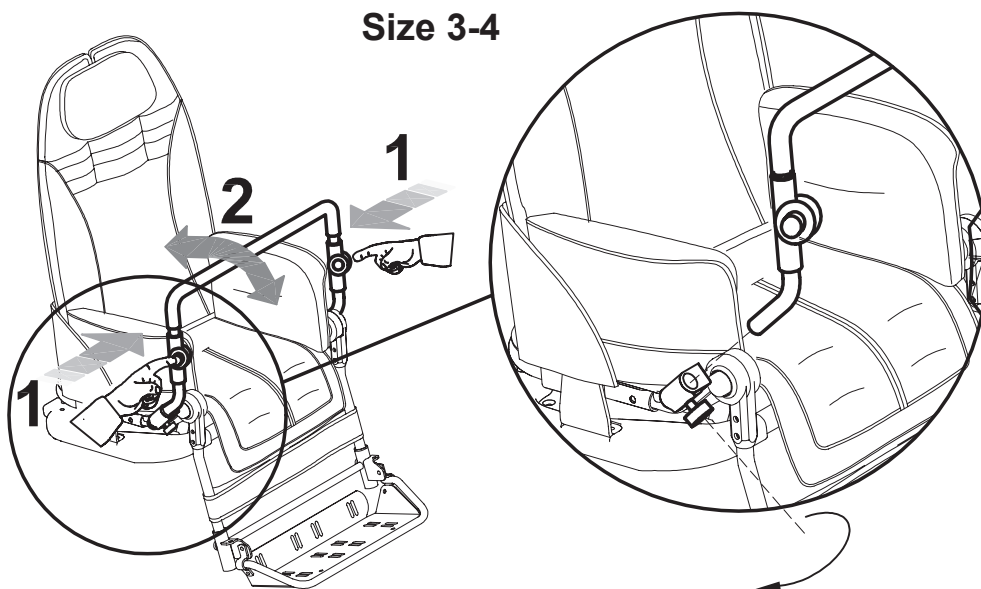


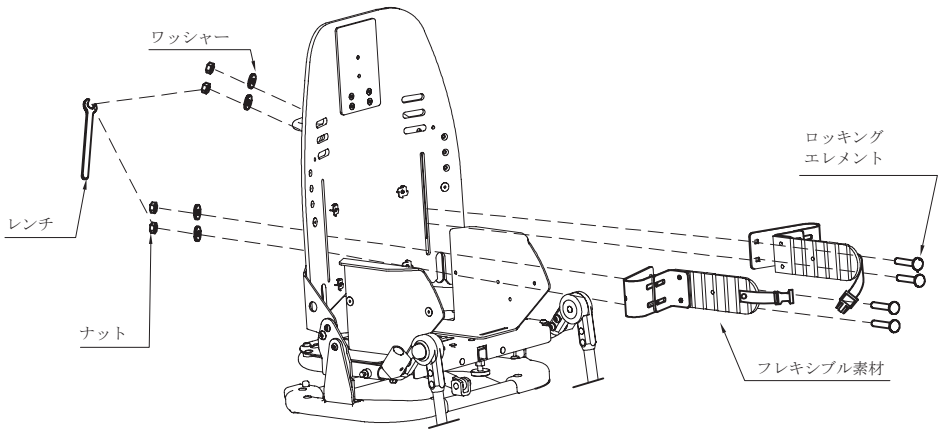
Size 1-2



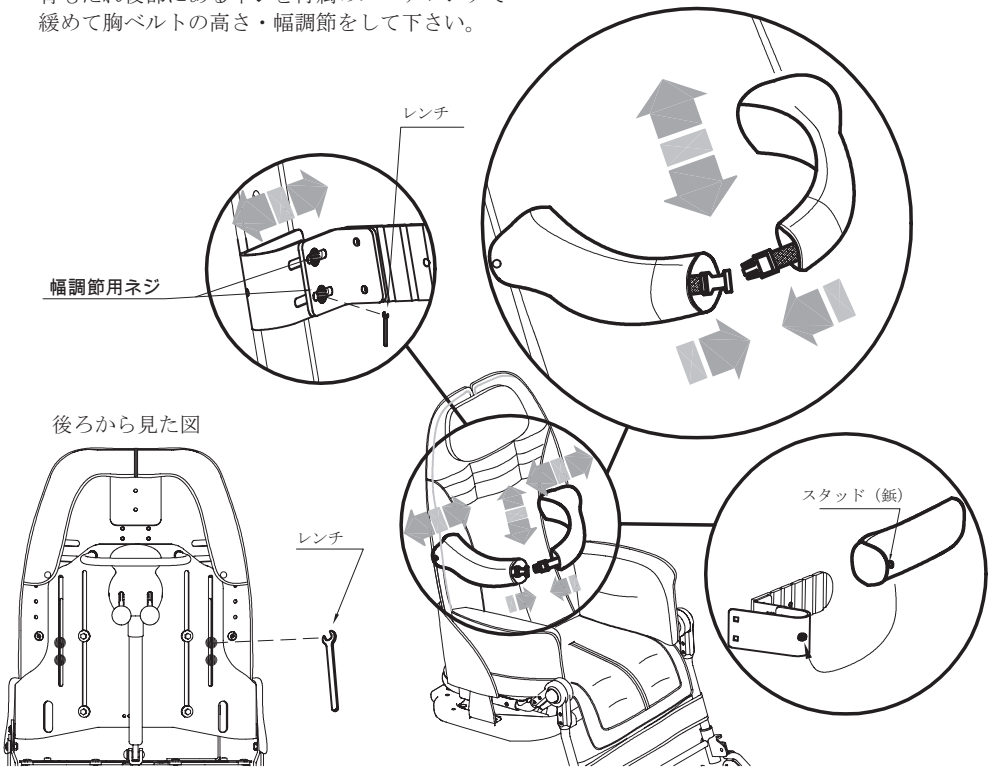
ノブネジを締めてください

Size 3-4





背もたれ後部にあるネジを付属のスパナレンチで緩めて胸ベルトの高さ・幅調節して下さい。

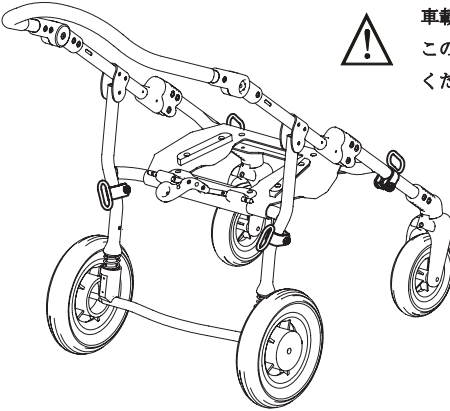


車載固定フック(4箇所止め)

891

4輪ストローラーベース 869 のみ選択可能

BUGの4輪ストローラーベースは輸送の安全必要条件に従ったISO7176-19とANTI RESNA WC/19基準に準じています。

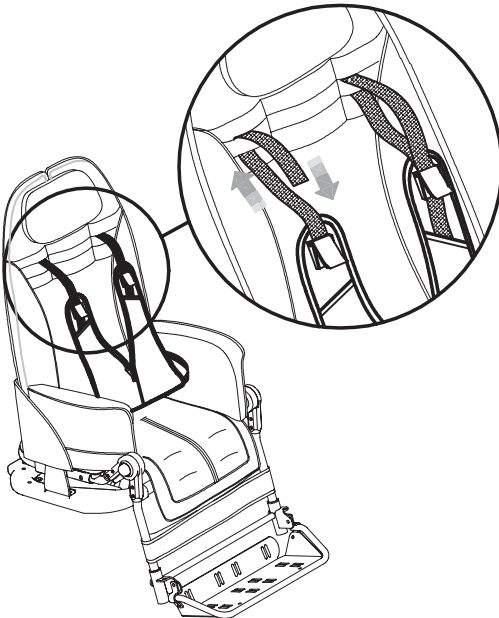


車載固定フックの取付方法とBUG本体を車への固定方法は、この取扱説明書の13～17ページの指示と通知をよく読んでください。

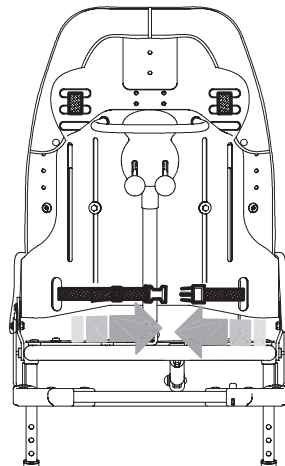
後ろから見た図

ベスト型 4点式ベルト

853



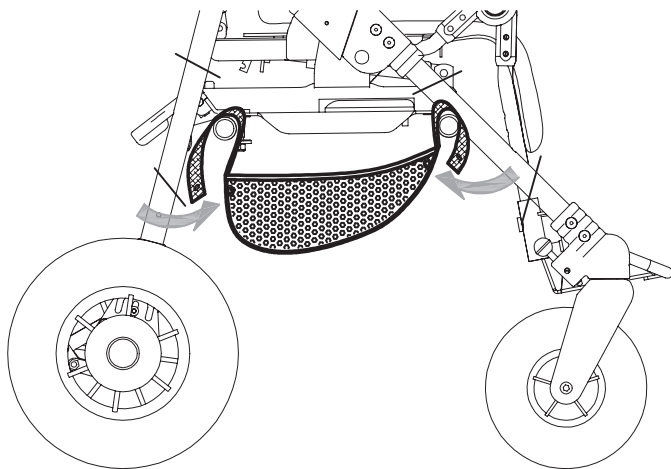
後ろから見た図



メッシュバスケット

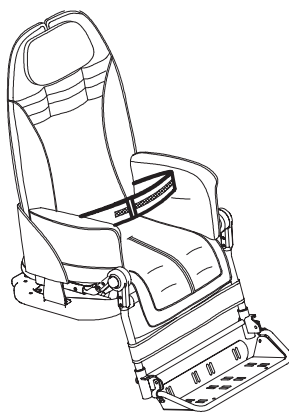
858

4輪・3輪ストローラーベースのみ選択可能

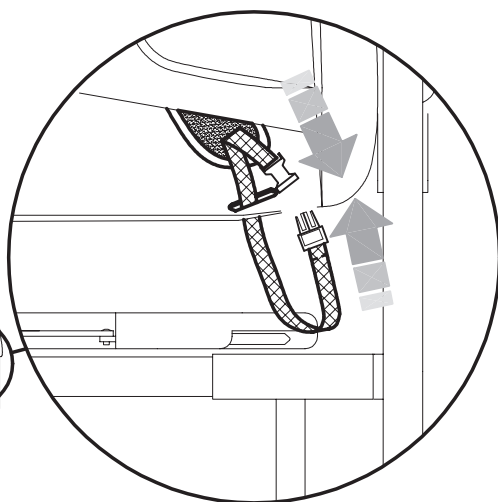
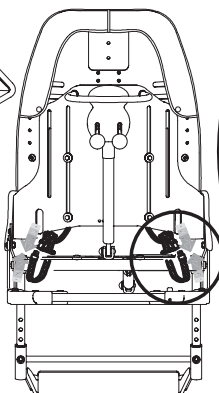


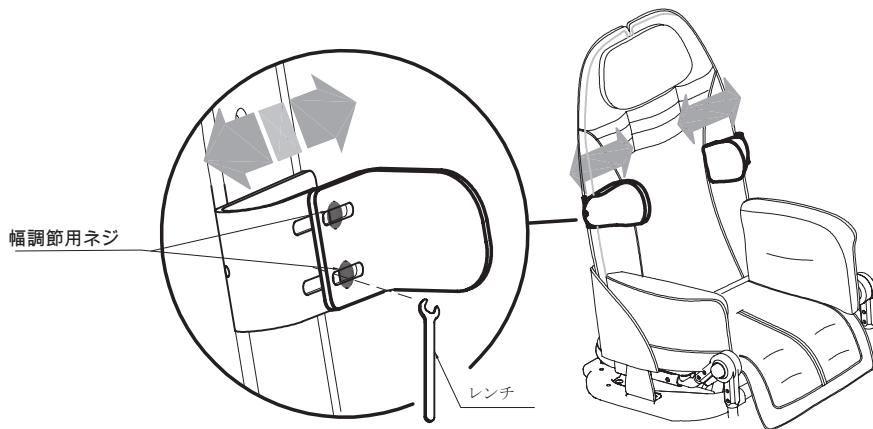
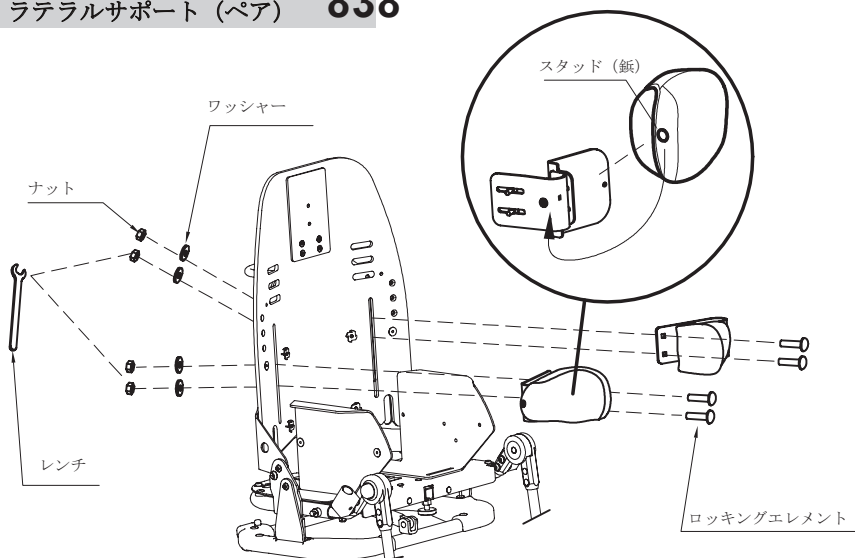
45° 腰ベルト

894

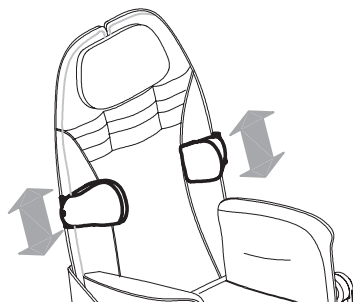
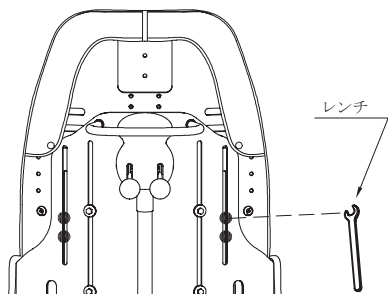


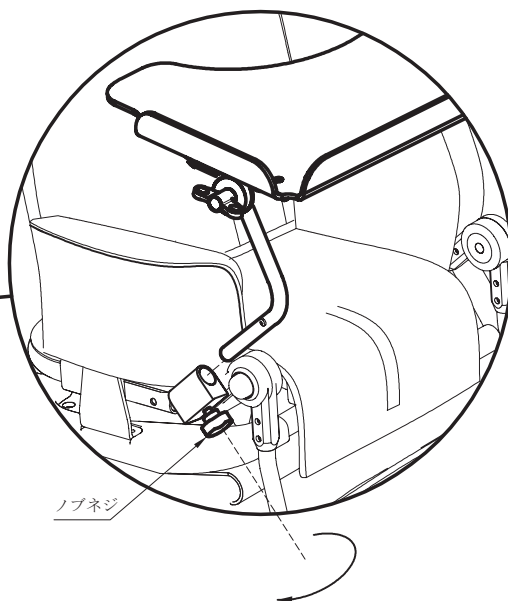
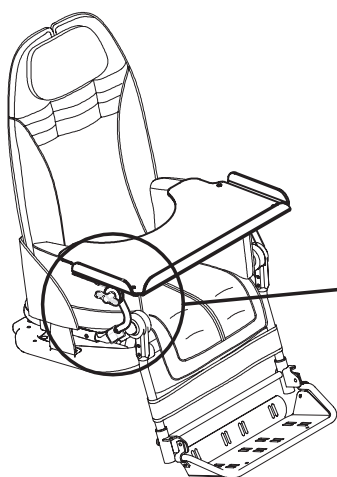
後ろから見た図



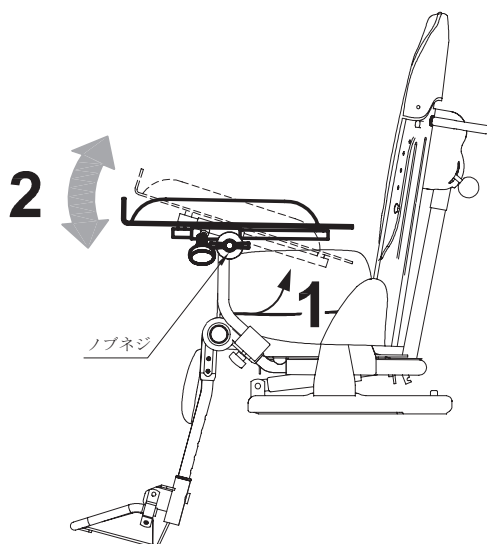
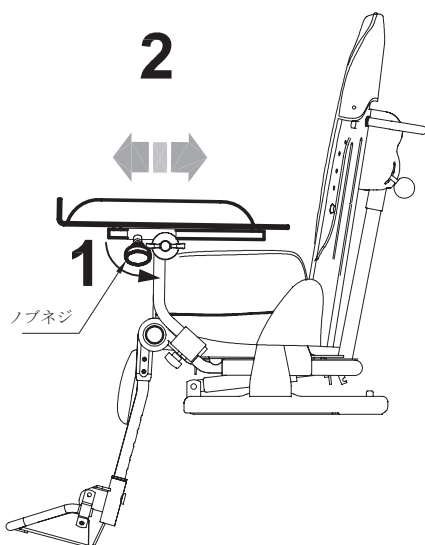


後ろから見た図

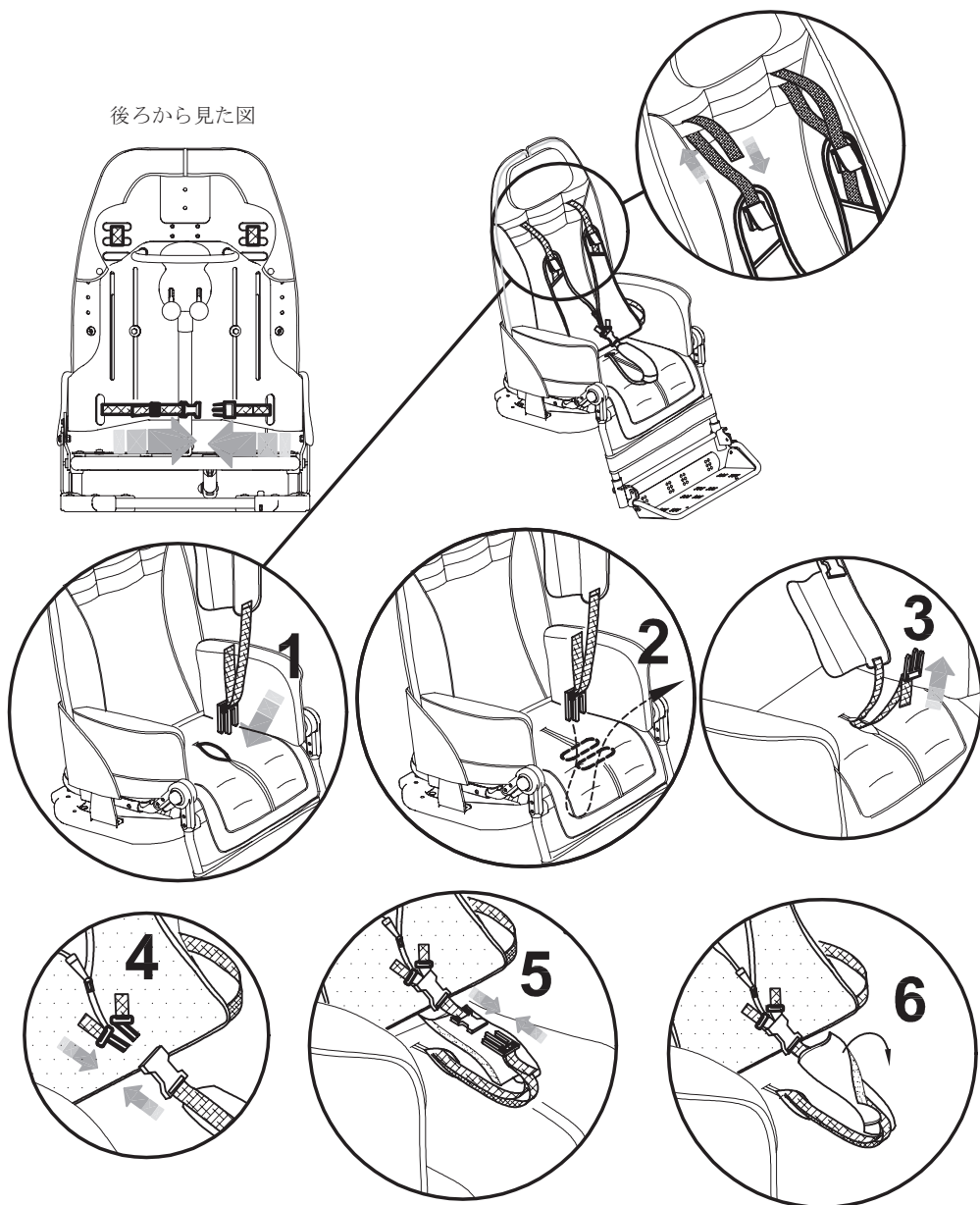




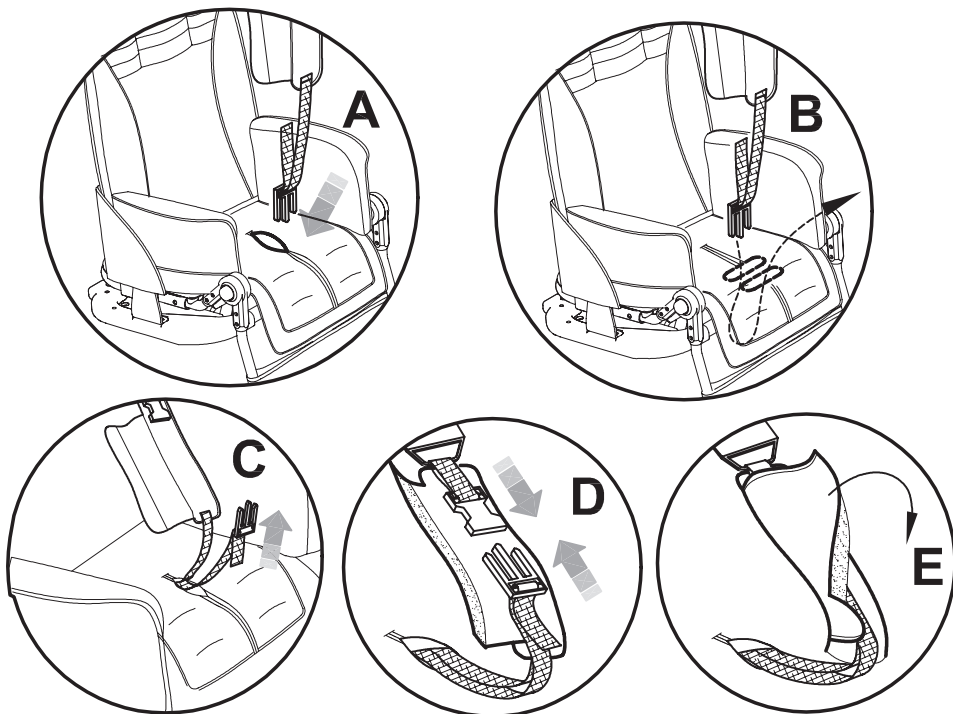
ノブネジとロックレバーを
締めてください



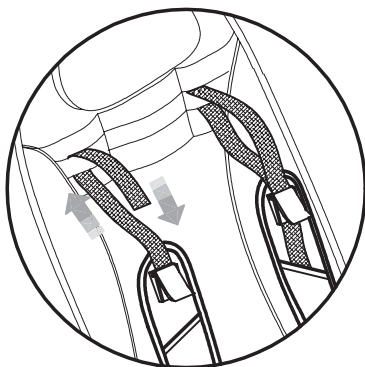
後ろから見た図



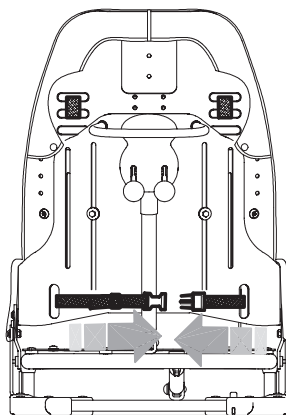
1 シート下でベルトを固定します



2 背もたれの上部でベルトを固定します

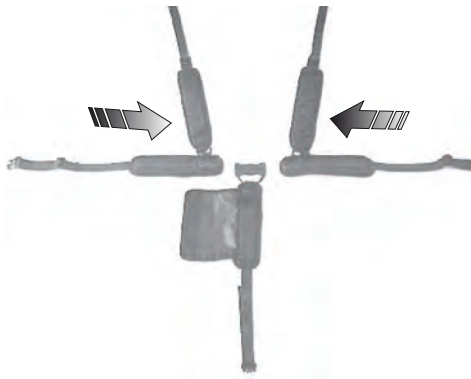


3 バックルを後部で固定します



後ろから見た図

4 バックルを前方で固定します



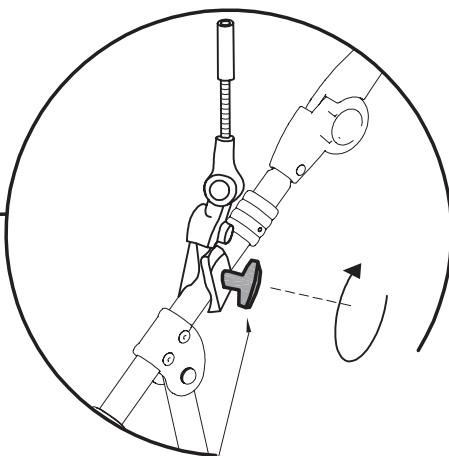
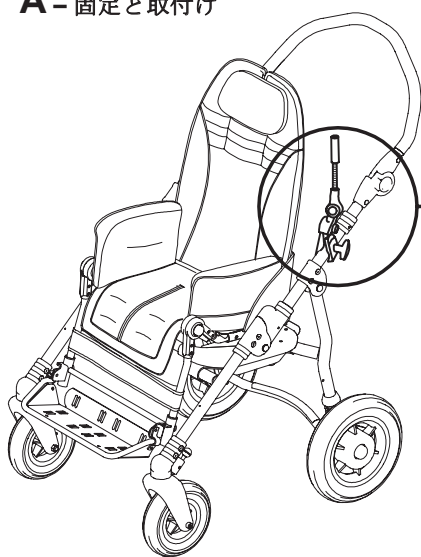
5 セットされた状態



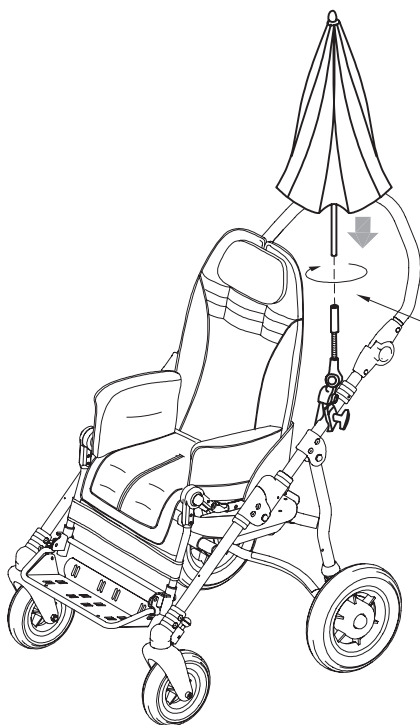
BUG sizes	周囲サイズ Min. max. (cm)
S(1-2)	57-84
M(3-4)	80-108

2つの寸法が記載されているものは調整できる最小と最大の数値です

A - 固定と取付け



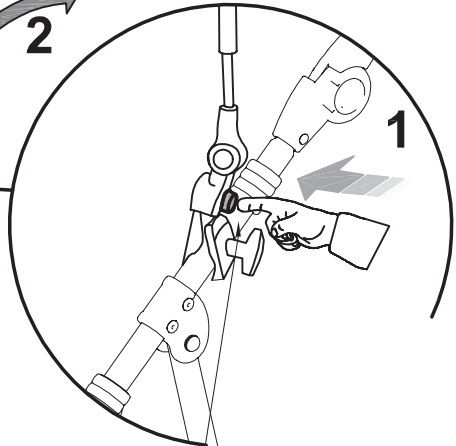
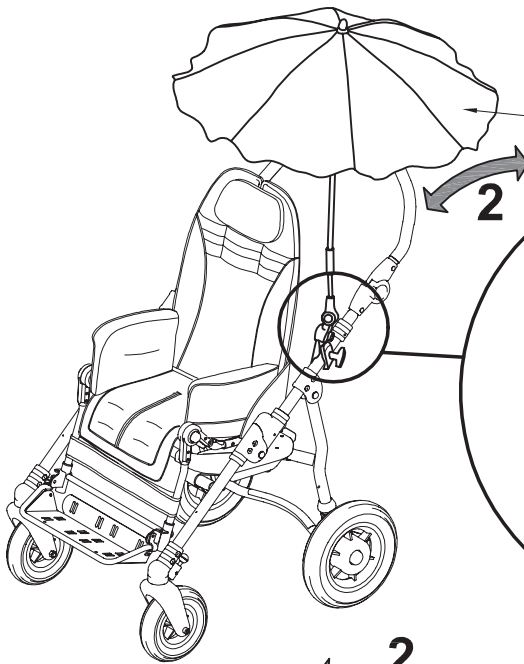
クランプをパイプに噛ませて
ノブネジを締めます



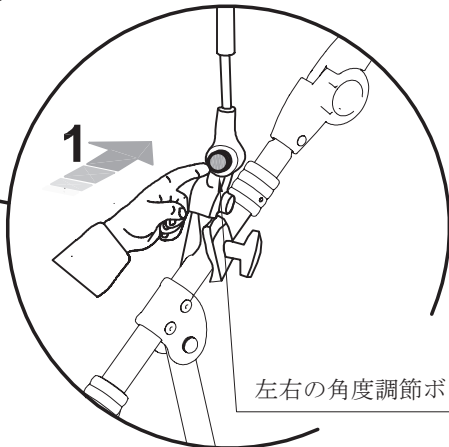
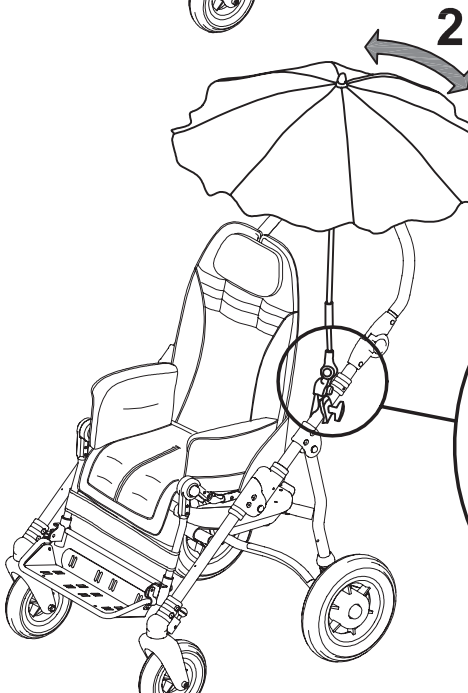
固定したクランプの上に傘を
まわして固定します

B - 角度調節ボタン

傘の開閉は一般的な傘の開閉と同じです

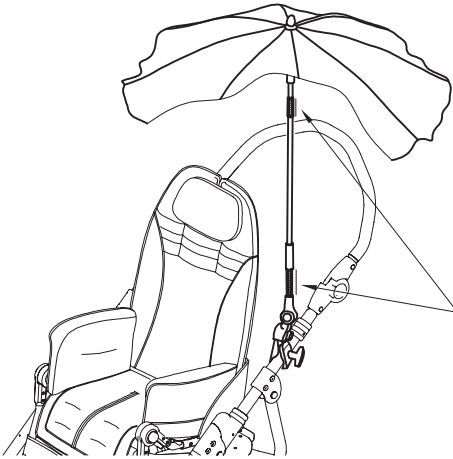


前傾・後傾の調節用ボタン



左右の角度調節ボタン

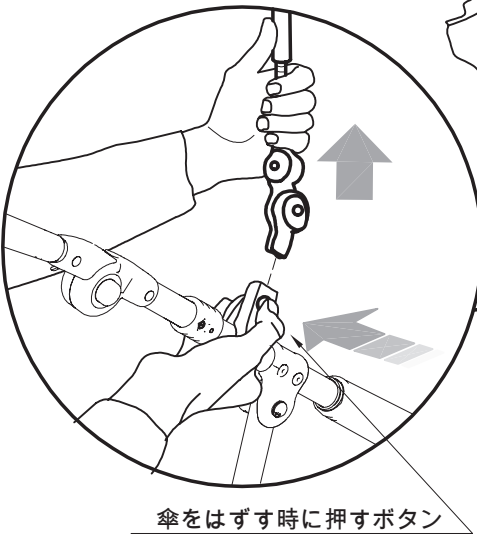
B - フレキシブルスプリング



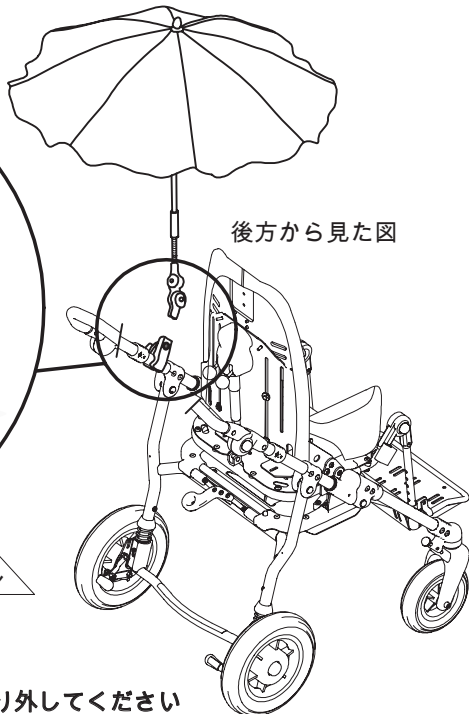
傘の支柱部分に可動性のある
スプリングが2箇所あり、
四方八方に傘が動きます

D - 傘の脱着

固定したクランプのボタンを押したまま傘を引き抜いてください
傘を装着する場合はボタンを押す必要はありません

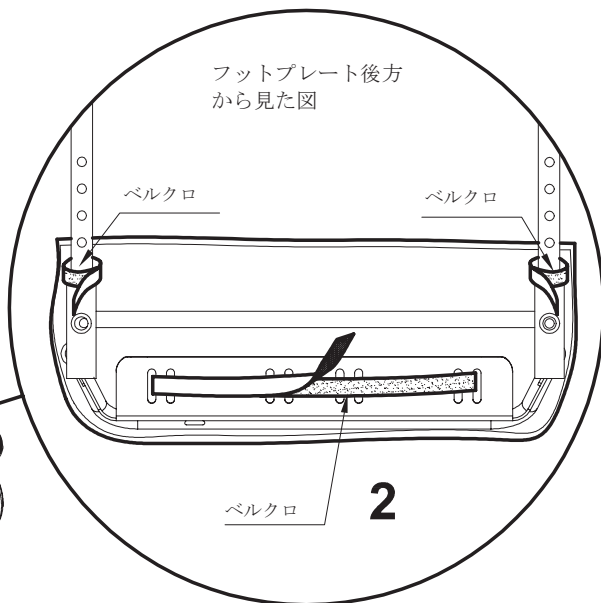
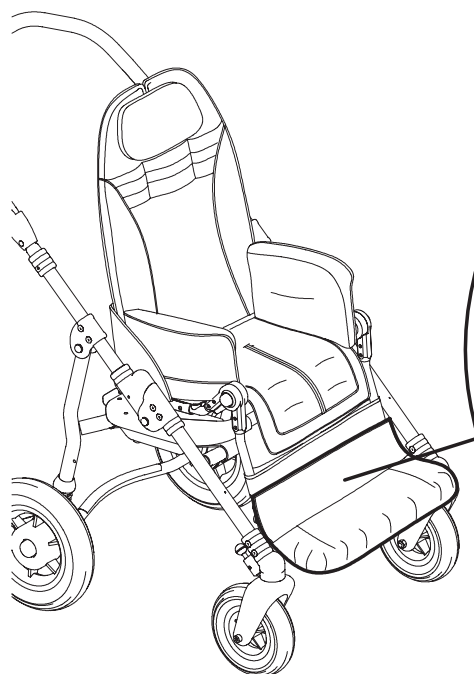
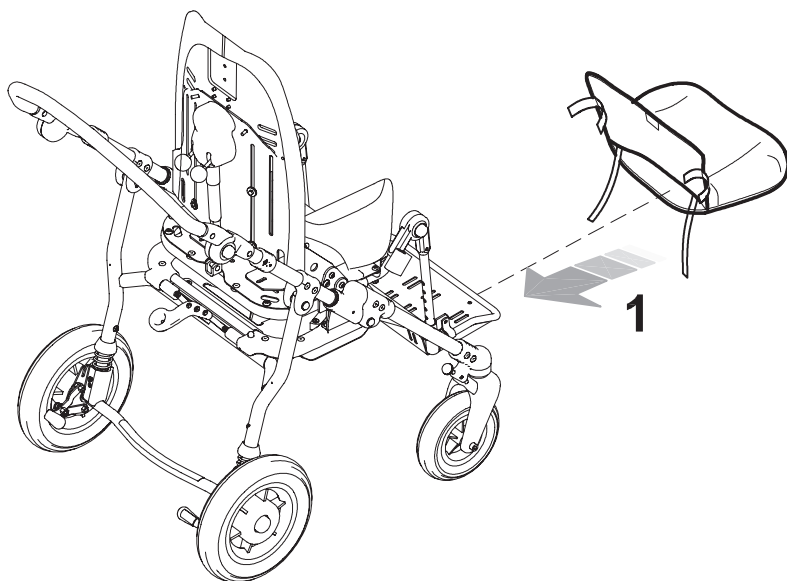


傘をはずす時に押すボタン



後方から見た図

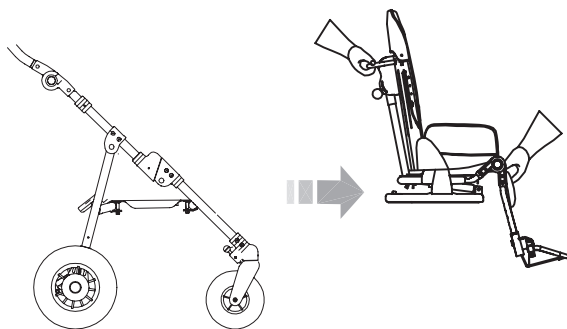
NOTE : BUG を折りたたむ前に傘は取り外してください



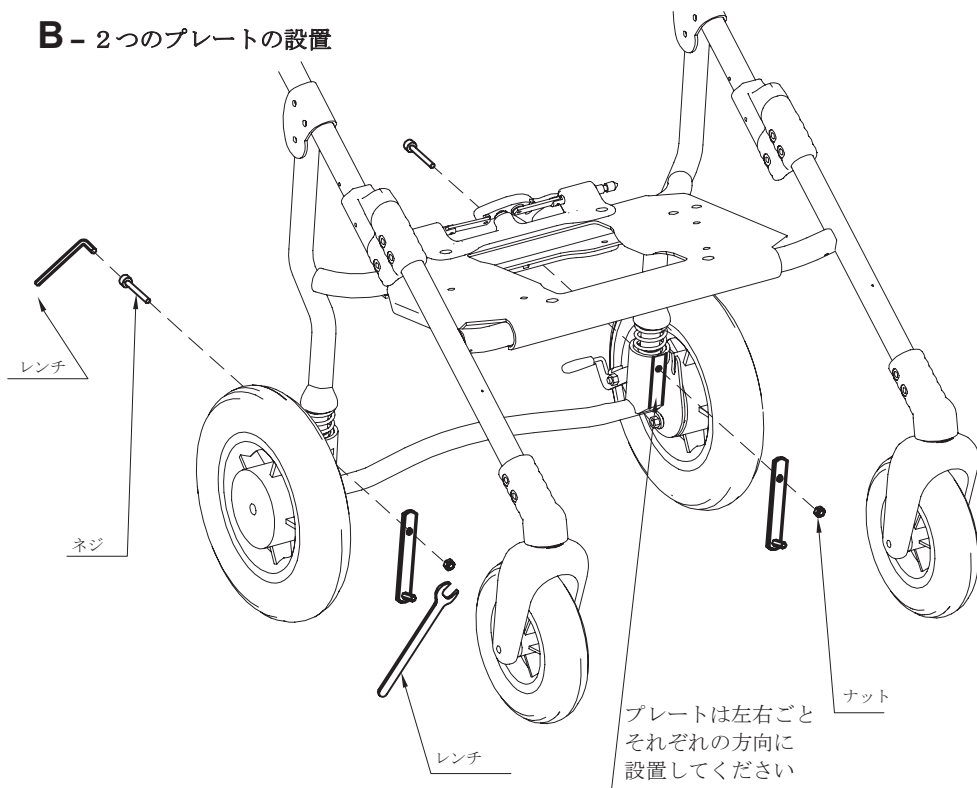
A - 本体フレームからシートを取り外します



注意！ キャリパーブレーキは専門の取扱事業者（例えば車椅子販売会社、正規販売店、等）によって取付けを行ってください。

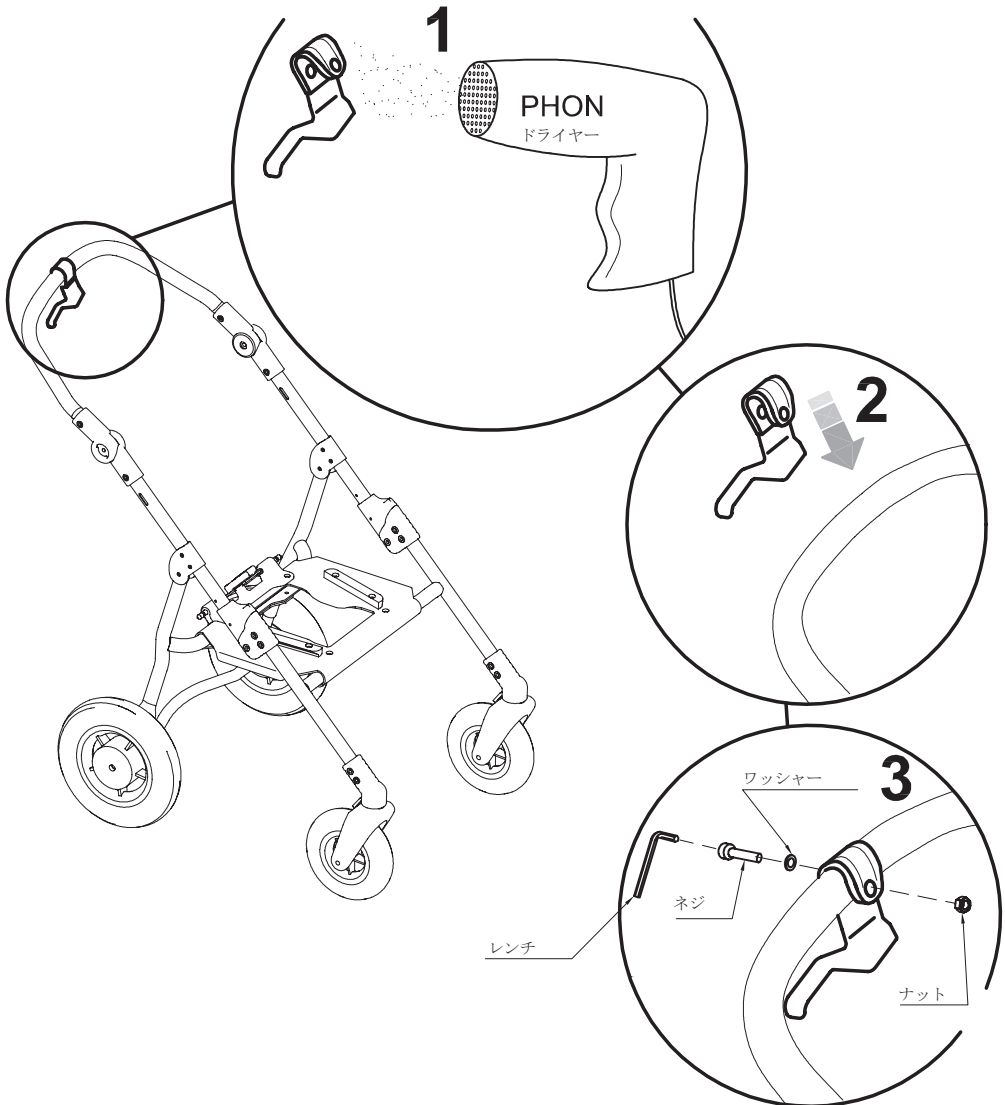


B - 2つのプレートの設置



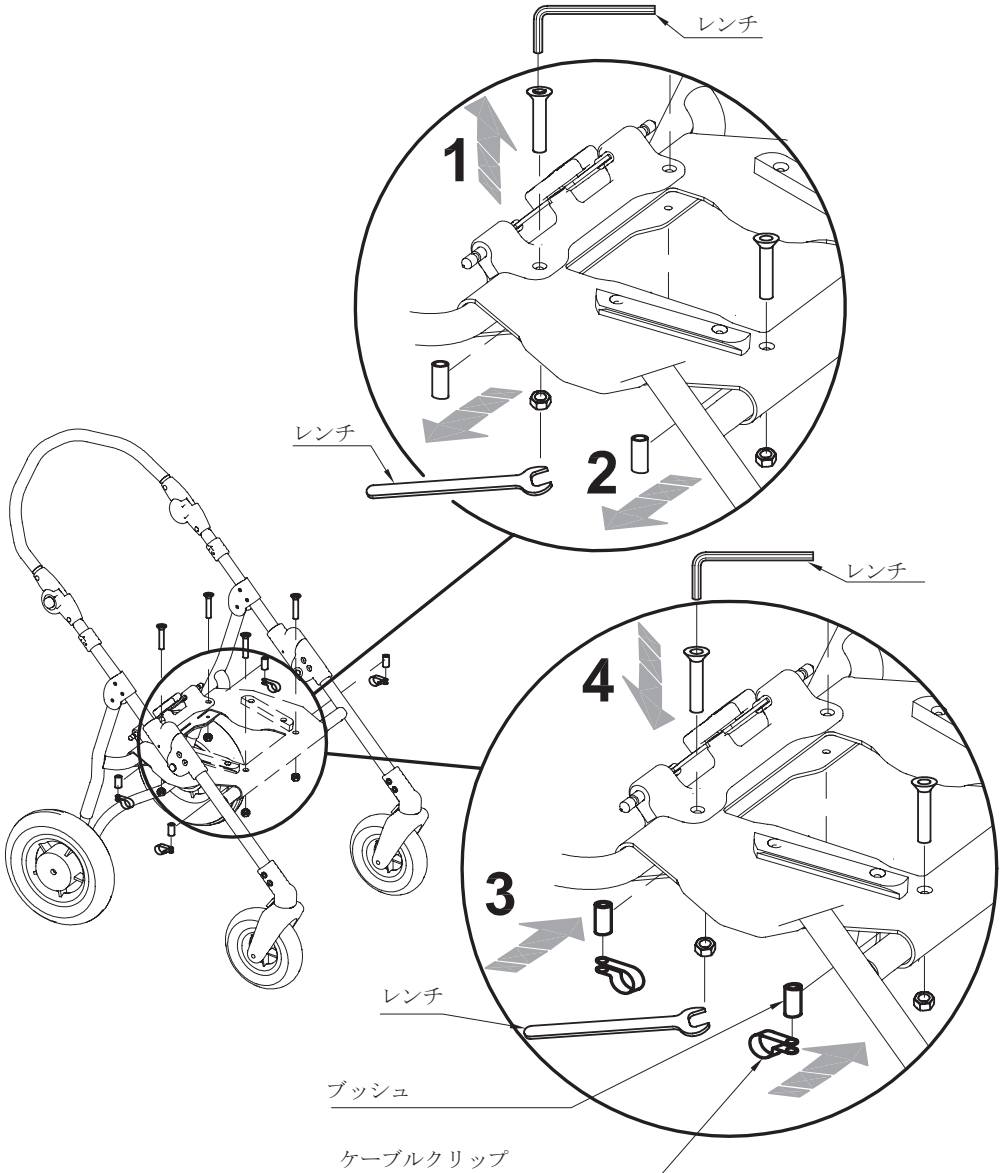
C- ハンドブレーキレバーの固定

- 1-ドライヤーを使ってブレーキレバーのプラスチック部分を温めます
- 2-プッシュハンドルにブレーキレバーを取り付けます
- 3-ネジで固定します



D - ケーブルクリップの固定

- 1- 4つのネジを緩めます
- 2- 4つのプラスチックブッシュを外します
- 3- 4つのプラスチックブッシュとケーブルクリップを固定します
- 4- ネジで固定します



E - ダブラーの固定

LET THE FREE END
OF THE CABLE,
PASS THROUGH
THE CABLE CLIPS

ダブラーカバー

LET THE FREE END
OF THE CABLE,
PASS THROUGH
THE CABLE CLIPS

ダブラー

レンチ

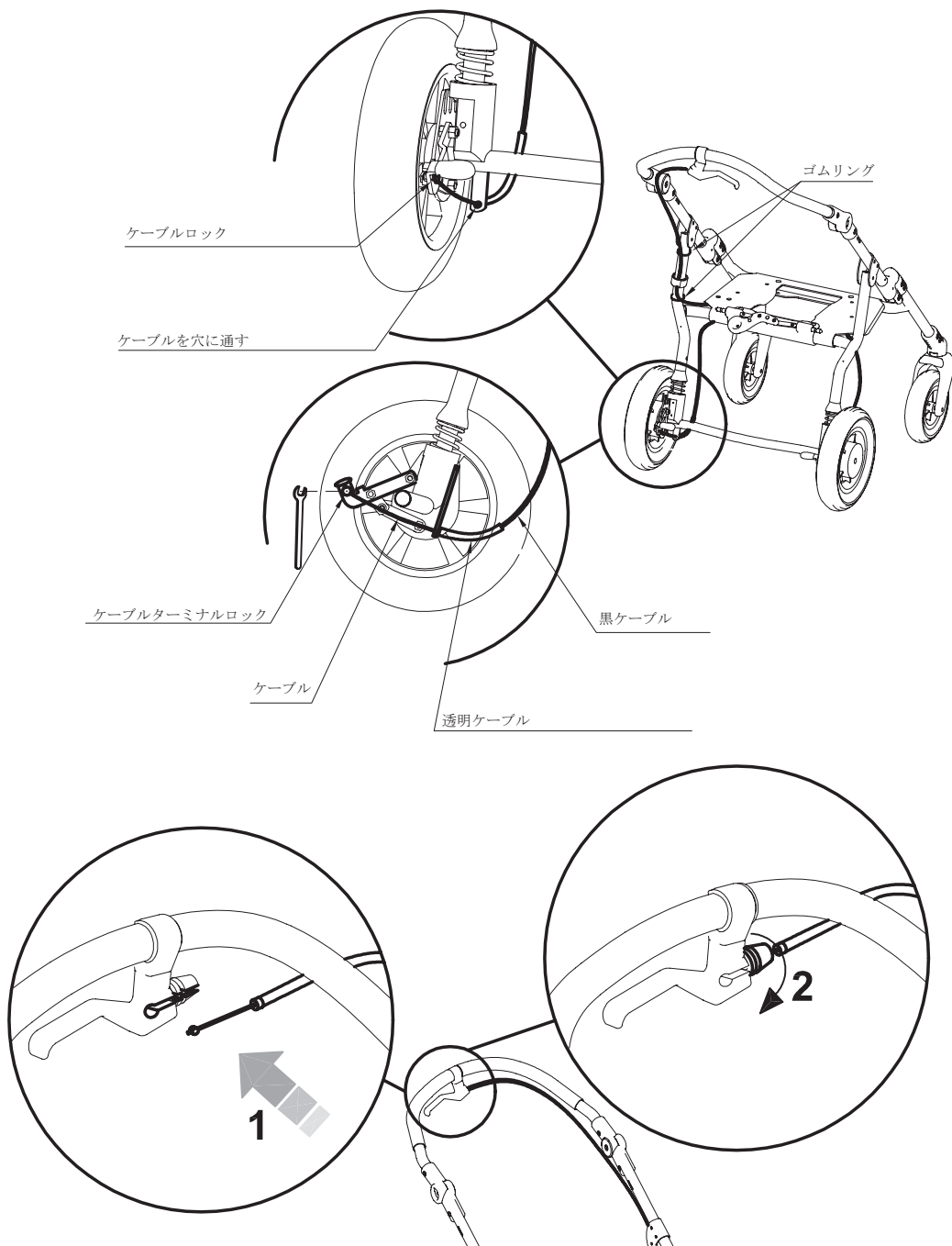
ネジ

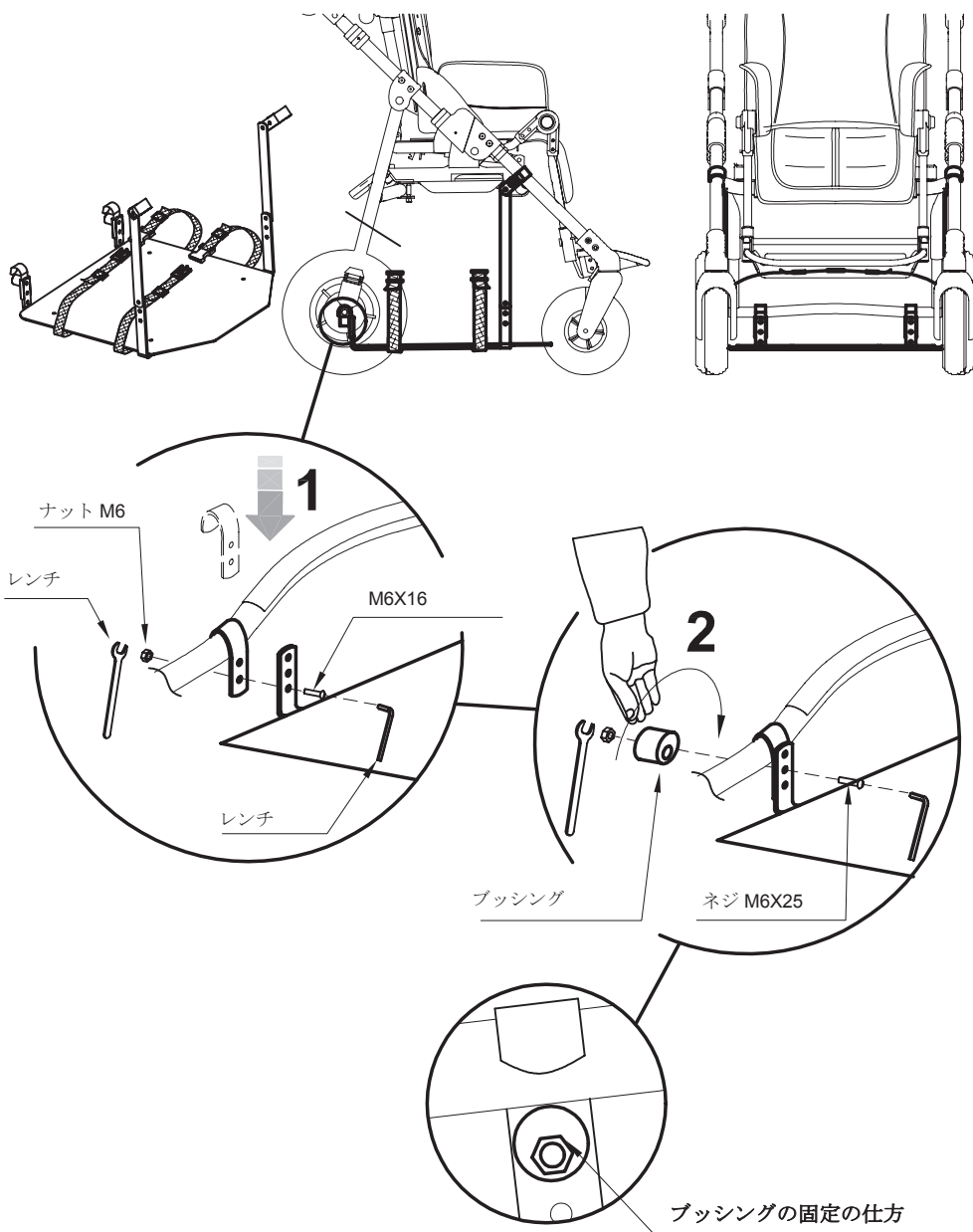
ナット

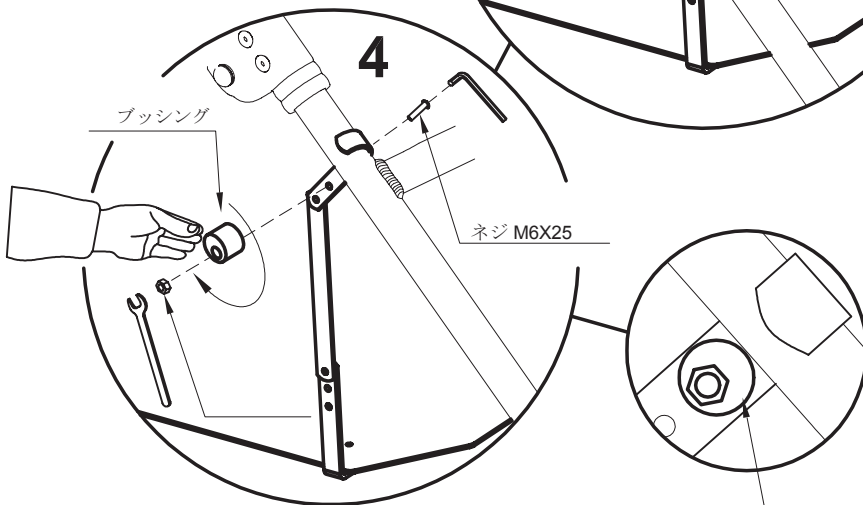
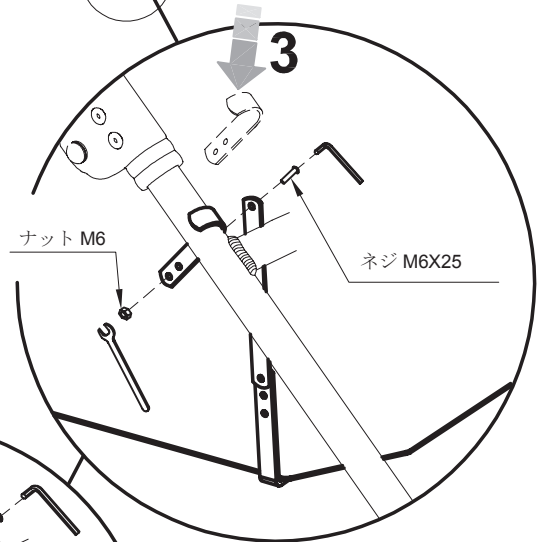
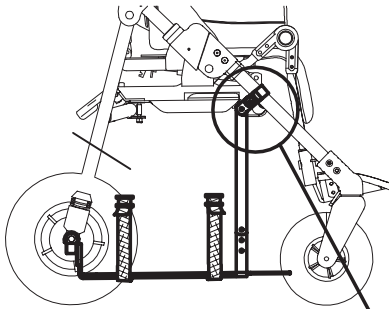
ケーブルクリップ

ケーブルクリップ

F - ケーブルの固定





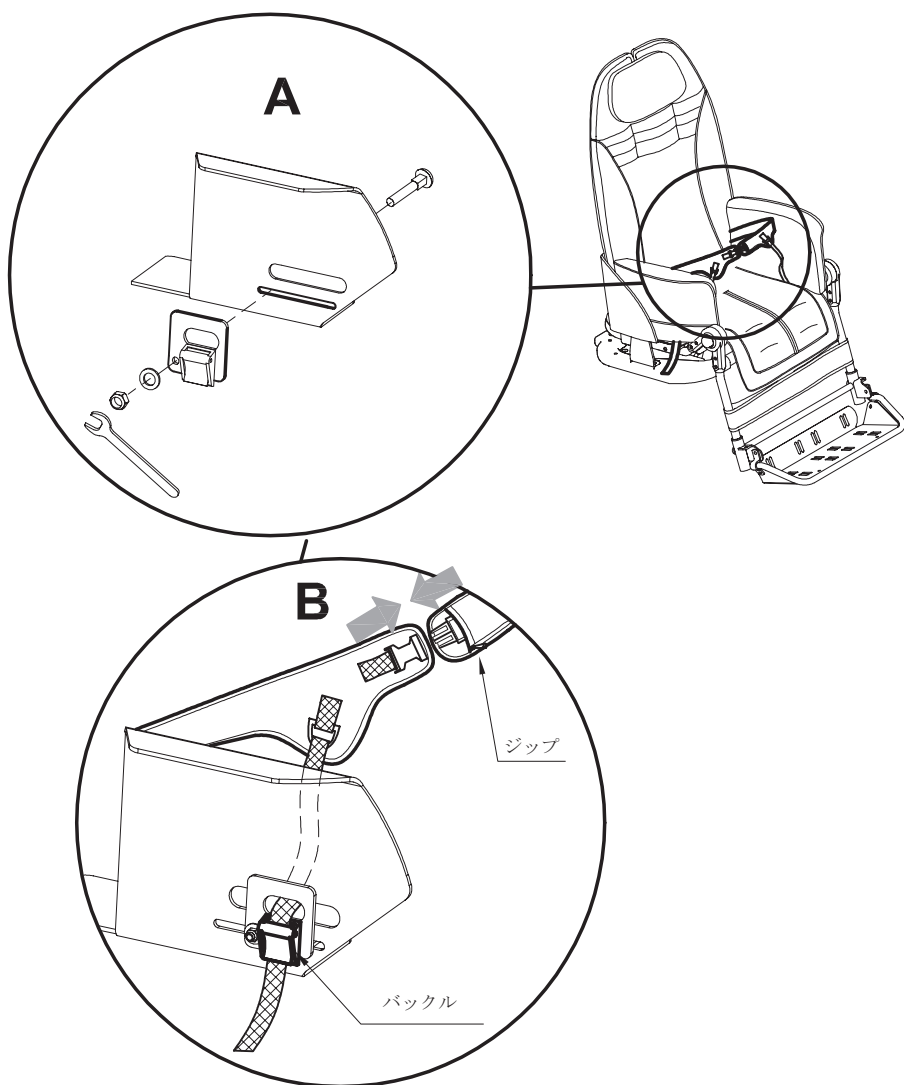


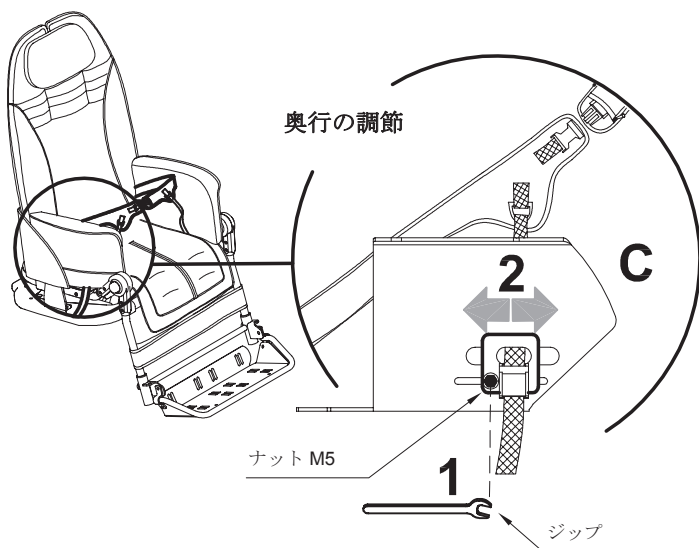
ブッシングの固定の仕方

4点式骨盤ベルト

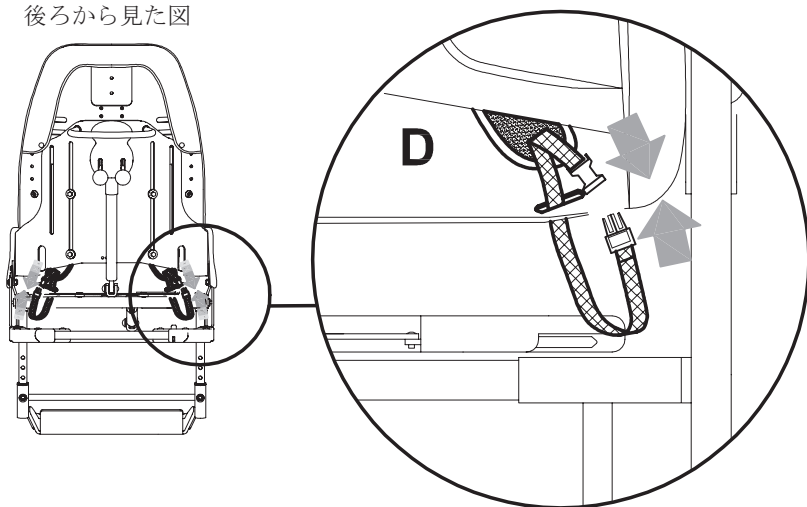
920

サイドパネル部クッションカバーをつける前に4点式骨盤ベルトを固定
(参照 P.88)





後ろから見た図



4 輪・3 輪ストローラーベースのみ選択可能

フットボードはプラスチックストラップによって BUG 本体の後方に取り付けます。奥行調節用テレスコピックアームと角度調節用ネジと 2 つの自在キャスターがついています。

このフットボードは 2～5 才の 20kg 以下の子供が乗るのに適します。

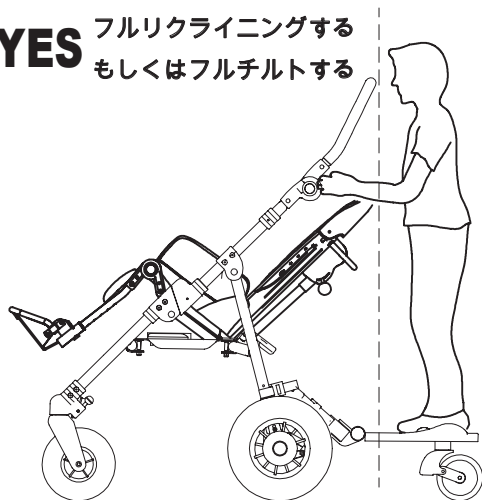
警告:

- 子供を一人で乗せないでください
- 使用前には全ての固定箇所が正しく設置されていることを確認してください
- 助けなく一人で歩けない子供はフットボードを使用することはできません
- フットボードは跳ね上げることができます (製品マニュアル参照) しかし製品を折りたたむ際はフットボードを取り外してください
- 子供はフットボード上に立った姿勢で移動してください
- 歩道の端、段差、急な坂道、悪路などを通る際、子供はフットボードから降りてください
- 子供が BUG 本体シートに乗っている場合はフットボードのみで使用してください
- この製品は走った状態での使用や滑る路面での使用に適しません

SIZE 1-2

YES

フルリクライニングする
もしくはフルチルトする



SIZE 3-4

YES

フルチルトする



注意!

フットボード使用時はチルトとリクライニングの併用角度に制限が出ます



注意!

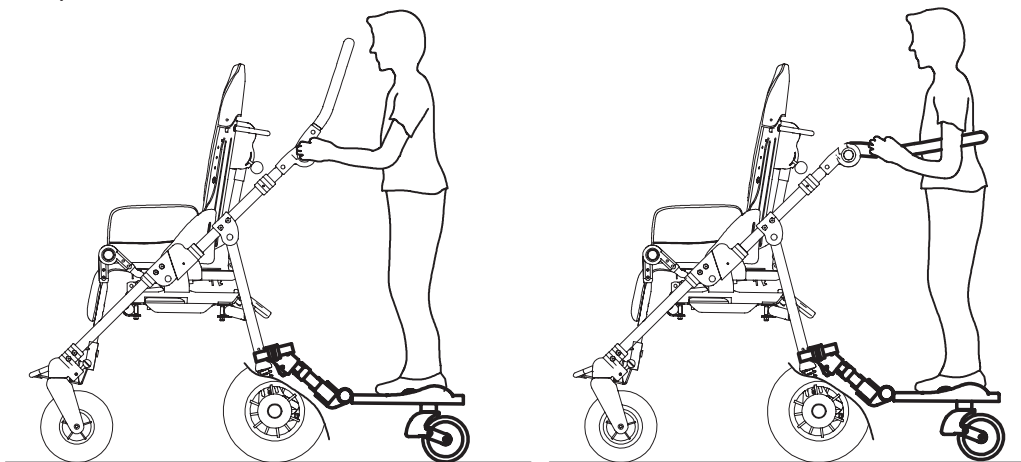
フットボード使用時はチルトとリクライニングの併用角度とリクライニング角度に制限がでます

Notes: フットボードの量み方、メンテナンス等の調整の詳細については付属のユーザーマニュアルを参照してください

A - 子供のフットボード上の立ち位置

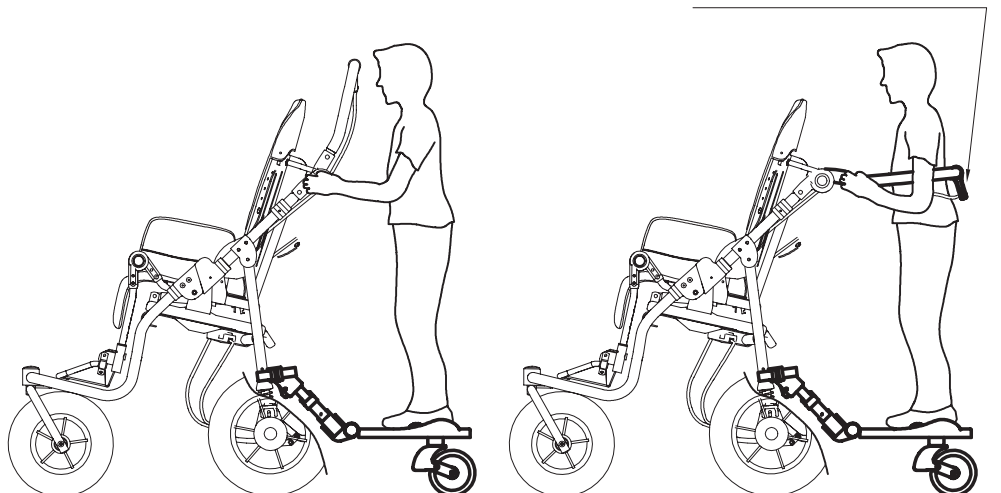
プッシュハンドルとテレスコピックアームをフットボード上の子供と運転者の両者に適当な位置に調節することをお勧めします。テレスコピックアームを最大拡張することはプッシュハンドル内に利用できるスペースを減らし、フットボードが運転者の邪魔になります。

a) 4 輪ストローラーベース 869



a) 3 輪ストローラーベース 901

プッシュハンドルの
ブレーキレバーを回転
させ位置を決めてください

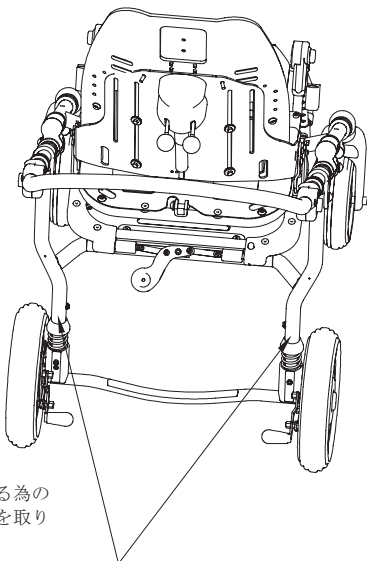


B - 固定方法

後ろから見た図

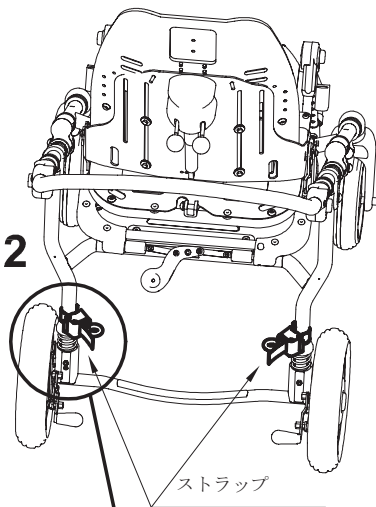
製品に付属されている
マニュアルの指示に従って
ストラップを固定します

1



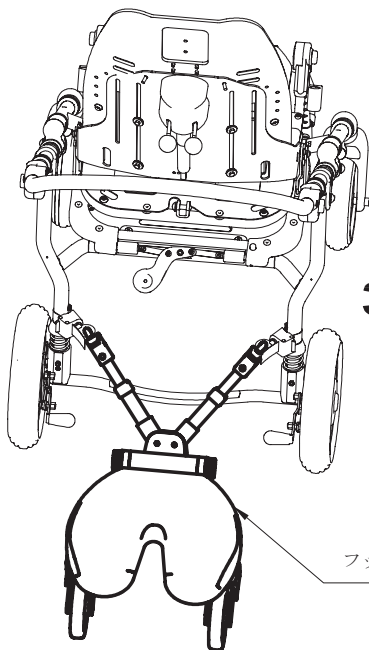
板を固定する為の
ストラップを取り
つけます

2



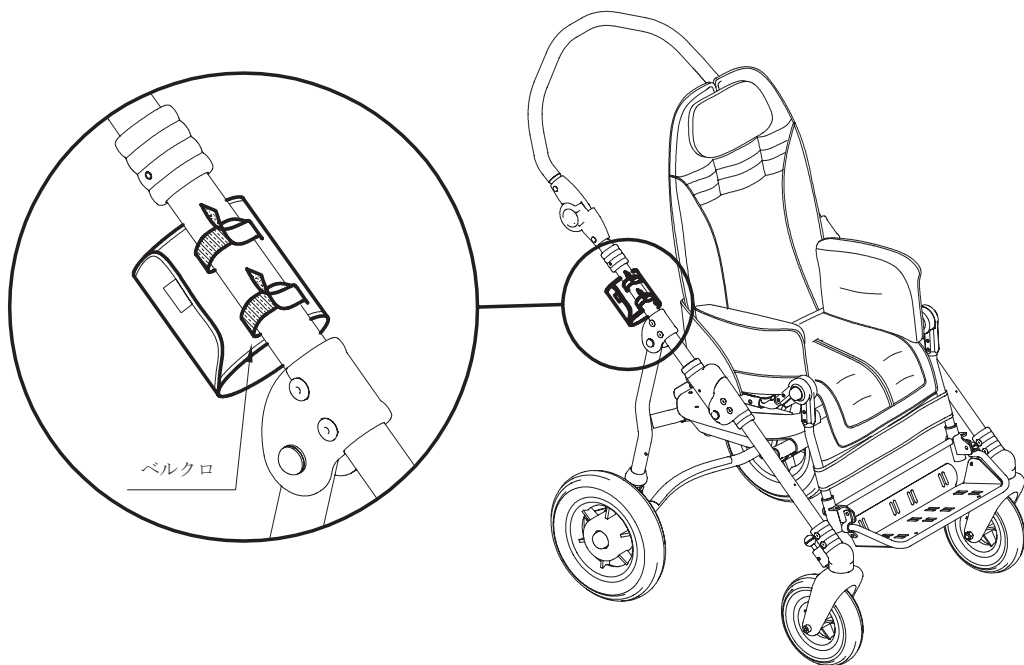
ストラップ

3

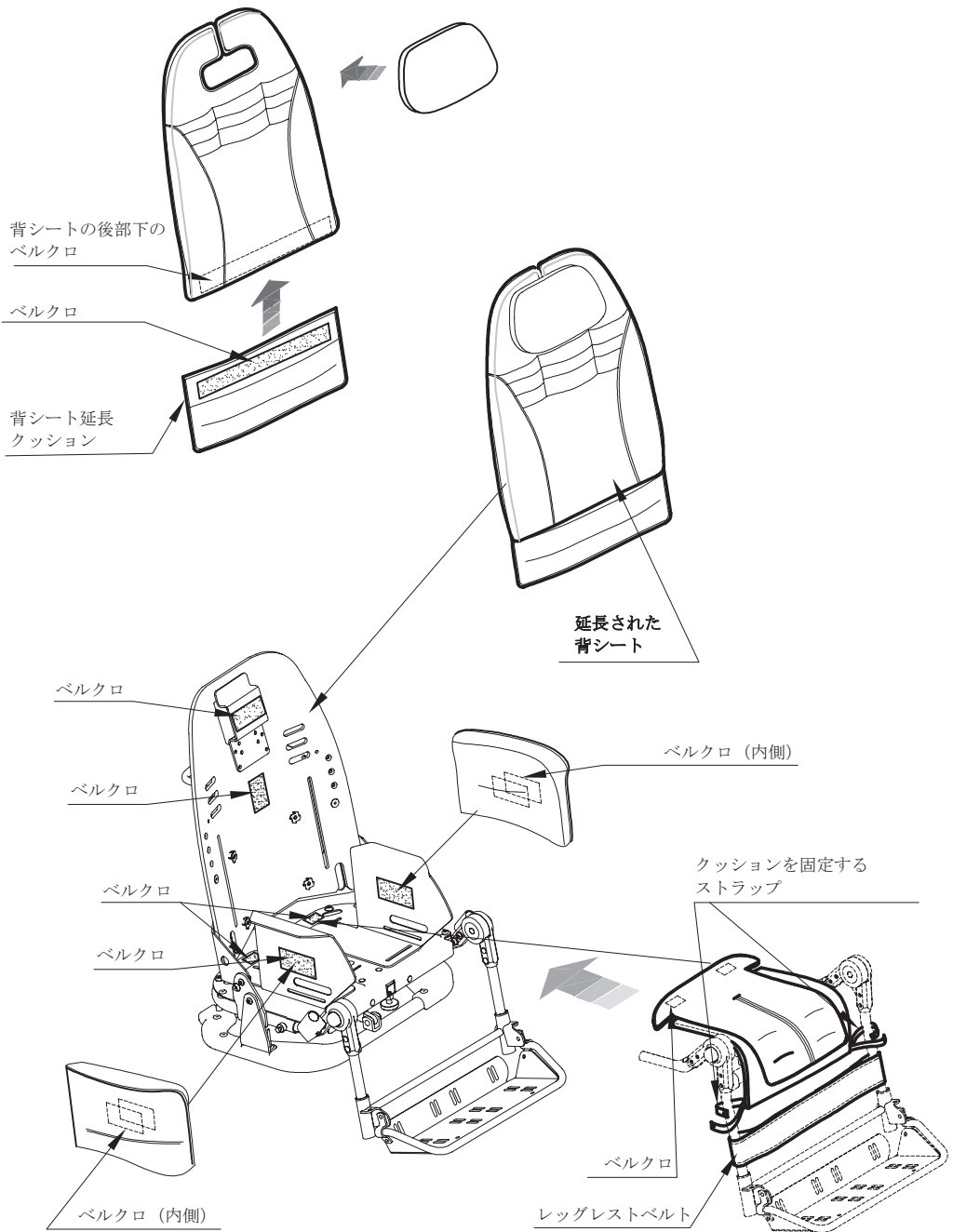


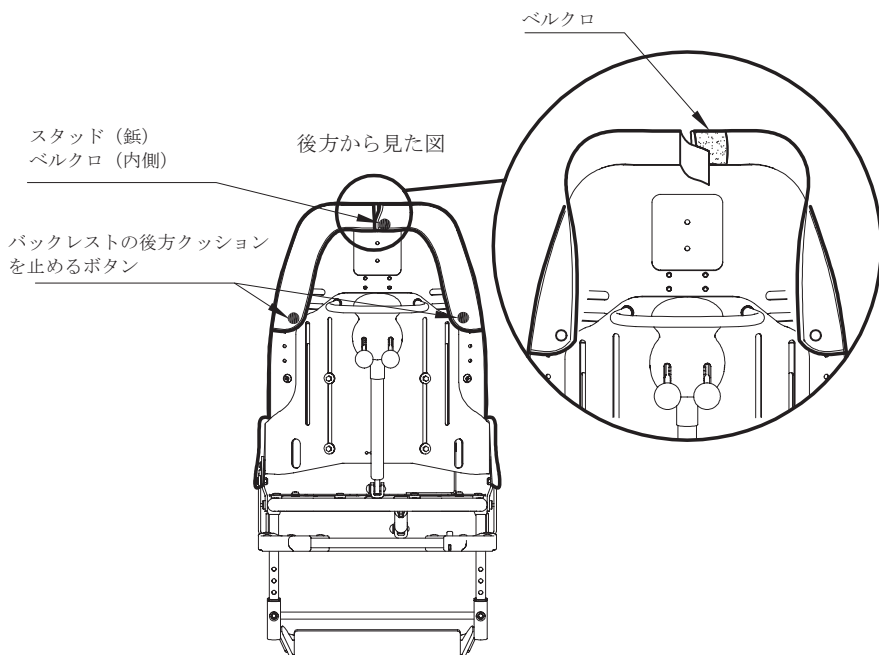
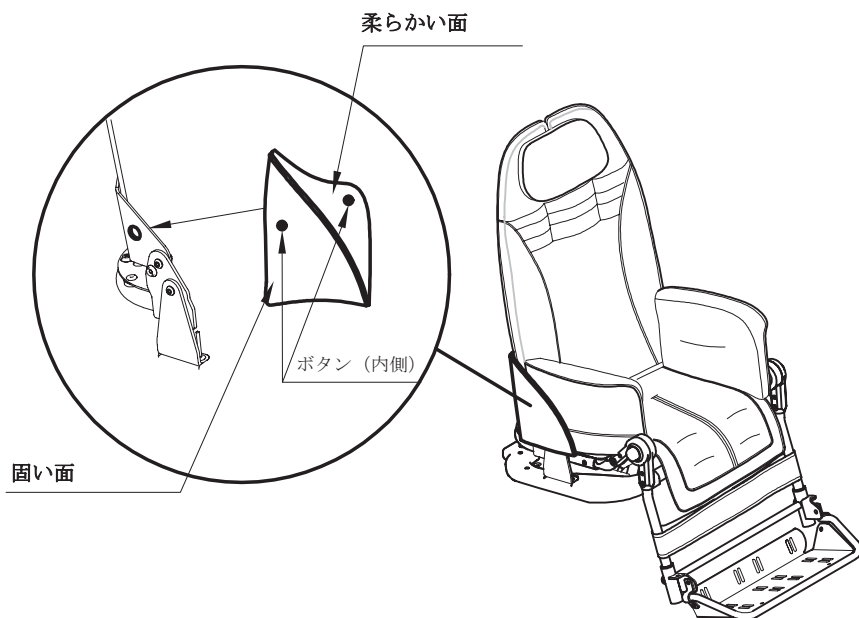
フットボード

製品に付属されている
マニュアルの指示に従って
ストラップを固定します



クッションの取付方法





メンテナンス・洗浄と消毒

定期的なメンテナンス（防止的な）

本体とそのアクセサリ類の一般的なメンテナンスは毎月行ってください。

定期的なメンテナンスは製品をきちんと、そして問題なく動かし続ける為に必要で、それはCEマークを保つ為に不可欠です。

定期的なメンテナンスが実行されない限り（ATTACHMENT I,DIRECTIVE2007/47/EC）メーカーは製品の性能に対して責任を負いません。

メーカーは介護者が製品の動きと安全性の確認を実行し、不具合を見つけたらメーカーもしくは販売店に連絡することを勧めます。確認は以下の頻度で行ってください。

- 1) 購入して3ヶ月;
- 2) 購入して半年;
- 3) 購入して1年以降は年に1回.

下記の指示に従って定期的に本体とそのアクセサリを消毒・掃除してください。

フレームの汚れをとり清潔にする

塗装されたシート部とベースフレーム部を柔らかい布で中性洗剤や除菌・消毒液（アルコール消毒液）などを使って消毒・掃除してください

シートの汚れをとり清潔にする

キャノピー、レインカバー、内転防止パッドの掃除は水で湿らせたスポンジで汚れをやさしく汚れき取ってください。シートのクッションとカバー類は中性洗剤で下記の指示に従ってやさしく汚れを取ってください。

- シート部からクッションの5パーツを取り外します
- アクセサリ：ヘッドレスト（863,852）、ラテラルサポート(868,838)のカバーを外します
- アクセサリ類の洗ひ方：下記のマークを尊重しカバー・クッションを洗ひます

 洗濯機で中性洗剤を 使う(最大温度 30℃) 乾燥機使用不可	 漂白不可	 テトラクロロエチレン ドライクリーニング	 アイロン使用不可	タンブル乾燥不可
---	---	---	---	-----------------

-洗濯後、乾燥したら本体にクッションを再び付けてください

トレイの清掃

洗剤または消毒液で濡らしたスポンジでトレイ(824)を掃除します。掃除後、柔らかい布で水気を拭き、よく乾かしてください

注油

製品はいかなる特別な注油も必要としません。

ブレーキ性能が悪くなるので決して後輪に油を差さないでください。

車輪のメンテナンス

少なくとも月 1 回は車輪の回転に伴う付着物（糸や髪など）を取り除き車輪を綺麗にしてください。空気タイヤは2.5気圧の定圧を維持してください。



もし車輪の一部分でも異常・不具合に気づいたら速やかに購入した販売店まで連絡して下さい（それらが事故の原因となりうる危険な状況避ける為に修理・交換の必要があるかを判断するため）



ユーザーがシートに座って使用している時に、パーツやアクセサリーの交換やメンテナンスをしないでください



海に近い環境で使用する場合、塩腐食にさらされるパーツ（例えばクロム、ボルト、ネジ）のチェックを多くし、こまめに清掃してください

不定期的なメンテナンス（矯正的な）

不定期的なメンテナンスとは前述で言及されない製品にされる全てを意味します

不定期的もしくは補正・修理的メンテナンスはユーザー・医療施設が行わず、ご購入された販売店またはメーカーに委託することをおすすめします

修理・メンテナンスの結果については、全ての責任においてユーザー、第三者の所有者に解決の責任が生じます。メーカーは初期の製品不良、素材不良に対してのみ責任を負います



製品の廃棄に関しましては、市町村の条例に準じて処分を行ってください

カスタマーサービスとスペアパーツ

ご購入いただいた製品のサービスパーツ、交換パーツ、スペアパーツは、製品をご購入いただいた販売店に連絡の上、ご購入してください

再利用時の耐久性について

仮にORMESA製品が選ばれ、評価され、ユーザーの必要性に合い再利用される場合、以下の条件によって再利用してください。

他の類似した製品の再利用の経験、製品の技術的進歩、ISO9001に従い1998年に確立された品質管理システムの保証に基づいて、それがユーザーマニュアルの指示に従って使用されるという条件で、BUGの平均寿命はおおよそ5年であるという十分な確信を持っています。

取扱説明書「保管・輸送方法」の章を参照にして保管・輸送を行い、製品が販売店へ保管される期間をその使用期間には入れません。

ユーザー、疾患、使用状況、周囲の環境の変化など、製品とは無関係な要因は、製品寿命をより短くする事があります。それと逆に、使用状況とメンテナンスに関する条件が整っていれば、製品の信頼性は上記の製品寿命を越えてさらにご使用できることがあります。

既に使い古したORMESA製品のリサイクル・リユースに関して必要なのは：

1. 医者またはセラピストが、この機器が新しいユーザーにとって機能的で姿勢保持の必要条件を満たし、全ての構成パーツがユーザーに適切であるか確認する必要があります。供給者は製品もしくはオリジナルのアクセサリやスペアパーツのみ使用された場合にも、CEマークと製品の安全性確保・供給責任が残ると考える必要があります。
2. 障害を持った人々のための機器を扱う専門会社のメンテナンス技術を持ったスタッフにより、製品の状態とシート等破損や詳細な技術点検を行い、どのようなパーツが破損し欠如しているかメンテナンスマニュアルをもとに確認し補修する必要があります。メンテナンスマニュアル、もしくはコピーは本製品の販売店もしくはメーカーまでお求めください。
3. 製品は取扱説明書「メンテナンス・洗浄と消毒」の章での指示を行い完全に綺麗に除菌してから使用してください。

新しいユーザーへの納品前に製品に施したすべての点検に関して書面にした記録を残すことをお勧めします。



製品の安全または部品や構成要素への損害に対する疑いがある場合、すぐに使用をやめて販売店またはメーカーに連絡してください。



Via A. Da Sangallo, 1 Paciana 06034 FOLIGNO PG ITALY

P.I. IT 00574020541 CCIAA Perugia 119215 Iscr. Trib. Perugia 11907 Tel. +39 0742 22927 (r.a.) Fax +39 0742 22637

[http:// www.ormesa.com](http://www.ormesa.com)

E-mail: info@ormesa.com



COMPANY WITH QUALITY MANAGEMENT
SYSTEM CERTIFIED BY DNV
= ISO 9001:2008 =



(製品保証)

PRODUCT CERTIFIED BY
CERAH FRANCE

(製品テスト)

PRODUCT TESTED
BY **BERLIN CERT** GmbH
AND LISTED IN THE GERMAN HMV (Technical Aids Listing)

(登録)

FDA REGISTERED - USA

(4輪ストローラーベース)

BUG WITH 869 BASE PASSES

CRASH TEST

ACCORDING TO THE ISO 7176-19 AND ANSI RESNA WC/19

Authorized Dealer

テクニカルデータとこのハンドブックで伝えられる情報は関連していません。
ORMESAは事前通知または交換品なしに必要な変更を行う権利を有します。